

別冊

藤沢市市政運営の総合指針2020

—郷土愛あふれる藤沢をめざして—

事業集

<平成29年度～令和2年度>
(令和2年度版)

藤 沢 市

はじめに

- 1 藤沢市の現状と見通し
- 2 藤沢市の特性

これまでの市政運営等を踏まえた、本市の現状と見通し、特性を確認

第1章 基本方針

- 1 策定の背景と意義
- 2 構成と期間
- 3 長期的な視点
 - (1) めざす都市像
 - (2) 基本目標

長期的な課題、視点に基づき、歴史、価値等を踏まえた都市の姿、長期的政策目標を展望

第2章 重点方針

- 1 取組の考え方
- 2 まちづくりテーマ
- 3 重点施策
- 4 重点施策実現に向けた財政見通し
- 5 評価
- 6 重点施策の実現に向けた重点事業

長期的な視点を踏まえた重要性、緊急性の高い課題に対して、重点的に取り組む施策等を展開

別冊 事業集

- 1 重点事業
- 2 地域づくり

別冊 資料集

- 1 藤沢市を取り巻く社会情勢
- 2 基本方針・重点方針等に関する現状
- 3 個別計画一覧

目 次

1	重点施策の実現に向けた重点事業	1
2	施策・事業の体系	2
3	事業概要	6
(1)	体系別事業数	6
(2)	体系別事業費見通し	7
(3)	款別事業費見通し	8
(4)	性質別事業費見通し	9
4	重点事業等	10
	体系別事業一覧	11
(1)	まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く	15
(2)	まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	30
(3)	まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	46
(4)	まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる	64
(5)	まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める	98
5	地域づくり	128
	○六会地区まちづくり事業	129
	○片瀬地区地域まちづくり事業	131
	○明治地区まちづくり事業	134
	○御所見地区地域まちづくり事業	136
	○遠藤まちづくり推進事業	138
	○長後地域活性化事業	140
	○辻堂地区地域まちづくり事業	142
	○善行地区まちづくり事業	144
	○湘南大庭地域まちづくり事業	145
	○湘南台地域まちづくり事業	147
	○鵠沼地区まちづくり事業	149
	○藤沢地区まちづくり事業	150
	○村岡いきいきまちづくり事業	151

1 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」として、別冊に示します。

重点事業

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策と重点事業を体系化しています。

まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

1 災害対策の充実

- 11 防災設備等整備事業費
- 21 危機管理対策事業費
- 31 建築物等防災対策事業費
- 51 橋りょう改修費
- 61 橋りょう架替事業費
- 71 一色川改修費

2 危機管理対策の推進

- 11 大規模震災等対策強化事業費

3 防犯・交通安全対策の充実

- 11 街頭防犯カメラ設置推進事業費
- 21 商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）
- 31 自転車駐車場整備費

まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する

1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

- 11 オリンピック開催準備関係費
- 21 （公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費
（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）
- 31 ビーチバレー大会開催関係費
- 41 都市親善費

2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

- 11 シティプロモーション関係費
- 21 誘客宣伝事業費
- 31 湘南藤沢フィルム・コミッション事業費
- 41 藤澤浮世絵館運営管理費
- 51 （公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費
（文化プログラム等事業費分）
- 61 文化行事費

- 71 アートスペース運営管理費
- 81 江の島地区周辺整備事業費
- 91 観光施設整備費

まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

- 21 校務支援システム構築事業費（小学校）
- 22 校務支援システム構築事業費（中学校）
- 23 校務支援システム構築事業費（特別支援学校）
- 31 教育情報機器関係費
- 41 教育情報化推進事業費

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

- 11 法人立保育所等施設整備助成事業費
- 31 法人立保育所運営費等助成事業費
- 41 放課後児童クラブ整備事業費
- 51 小児医療助成費

3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

- 11 子どもの生活支援事業費
- 21 子ども・若者育成支援事業費
- 31 就労支援事業費(ユースワークふじさわ)
- 41 奨学金給付事業費

まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる

1 多様な主体による支援の充実

- 11 藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費
- 21 生活困窮者自立支援事業費
- 31 地域生活支援事業費（相談支援事業）
- 41 介護人材育成支援事業費
- 51 成年後見制度等推進事業費（中核機関の設置）
- 61 包括的支援体制推進事業費（コミュニティソーシャルワーカーの配置の充実）
- 71 地域福祉プラザ運営事業費

2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

- 11 健康づくり推進事業費
- 21 がん検診事業費
- 31 公園改修費

3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

- 11 市民活動支援施設運営管理費
- 21 ミライカナエル活動サポート事業費
- 41 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費
- 51 六会地区まちづくり事業費
- 61 片瀬地区地域まちづくり事業費
- 71 明治地区まちづくり事業費
- 81 御所見地区地域まちづくり事業費
- 91 遠藤まちづくり推進事業費
- 101 長後地域活性化事業費
- 111 辻堂地区地域まちづくり事業費
- 121 善行地区まちづくり事業費
- 131 湘南大庭地域まちづくり事業費
- 141 湘南台地域まちづくり事業費
- 151 鵠沼地区まちづくり事業費
- 161 藤沢地区まちづくり事業費
- 171 村岡いきいきまちづくり事業費

まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

- 31 善行市民センター改築事業費
- 41 辻堂市民センター改築事業費
- 51 一般廃棄物中間処理施設整備事業費
- 61 鵠南小学校改築事業費
- 71 六会中学校屋内運動場改築事業費
- 81 公共施設再整備関係費
- 111 藤沢駅周辺地区再整備事業費
- 121 健康と文化の森整備事業費
- 131 長後地区整備事業費
- 141 市道新設改良費（藤沢 652 号線）
- 151 市道新設改良費（バリアフリー事業）
- 161 村岡公民館改築事業費
- 171 市民会館整備費

2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

- 11 総合交通体系推進業務費

3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

- 11 健康の森保全再生整備事業費
- 21 自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）
- 31 地球温暖化対策関係事業費

4 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備

- 11 住宅政策推進費
- 21 空き家対策関係費
- 31 新産業創出事業費
- 41 ロボット産業推進事業費
- 51 地域密着型商業まちづくり推進事業費
- 61 担い手育成支援事業費
- 71 藤沢ものづくりブランド応援事業費

3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。

(1) 体系別事業数

まちづくりテーマごとの重点事業数については次のとおりです。

表1 重点事業数一覧

まちづくりテーマ	重点事業数
1 安全で安心な暮らしを築く	10
2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	13
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	13
4 健康で豊かな長寿社会をつくる	26
5 都市の機能と活力を高める	24
合計	86

※ 重点事業には予算を伴わないものも含まれています。

※ 現在、一般会計事業のみを重点事業としていますが、重点施策、重点事業の強化を図るため、特別会計事業についても、今後の行財政改革の取組効果等を踏まえながら、毎年度の見直しの中で調整していきます。

(2) 体系別事業費見通し

まちづくりテーマ別の年度ごとの事業費見通しは、次のとおりです。

表 1 体系別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	1,095,602	959,697	1,152,682	1,034,195	4,242,176
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	347,243	496,986	664,471	600,265	2,108,965
3 笑顔と元気あふれる子どもた ちを育てる	2,149,726	2,350,993	3,892,919	5,387,889	13,781,527
4 健康で豊かな長寿社会をつく る	600,235	657,920	818,003	835,928	2,912,086
5 都市の機能と活力を高める	19,042,579	5,754,683	8,311,048	5,024,089	38,132,399
合 計	23,235,385	10,220,279	14,839,123	12,882,366	61,177,153

表 2 体系別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	434,319	342,348	320,985	369,218	1,466,870
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	322,903	370,599	422,724	494,248	1,610,474
3 笑顔と元気あふれる子どもた ちを育てる	1,787,325	1,819,256	2,925,333	3,609,821	10,141,735
4 健康で豊かな長寿社会をつく る	423,952	481,035	453,510	511,946	1,870,443
5 都市の機能と活力を高める	1,417,414	744,135	1,016,596	796,068	3,974,213
合 計	4,385,913	3,757,373	5,139,148	5,781,301	19,063,735

(3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 3 款別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	期間合計
総務費	15,766,181	1,107,757	5,307,554	2,220,703	24,402,195
環境保全費	26,717	19,733	13,087	16,834	76,371
民生費	2,261,501	2,455,847	3,452,915	3,836,107	12,006,370
衛生費	125,020	358,033	1,135,700	957,611	2,576,364
労働費	1,849,931	2,572,032	17,041	17,412	4,456,416
農林水産業費	24,240	22,190	25,161	25,188	96,779
商工費	178,317	192,819	340,419	236,666	948,221
土木費	2,571,937	2,624,324	2,753,443	2,464,371	10,414,075
消防費	14,637	25,318	11,406	49,686	101,047
教育費	416,904	842,226	1,782,397	3,057,788	6,099,315
計	23,235,385	10,220,279	14,839,123	12,882,366	61,177,153

表 4 款別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	期間合計
総務費	1,025,685	204,200	654,457	284,437	2,168,779
環境保全費	16,286	11,269	9,594	11,751	48,900
民生費	1,794,402	1,810,709	2,366,213	2,573,222	8,544,546
衛生費	109,873	98,586	112,401	91,016	411,876
労働費	23,197	66,302	17,041	17,412	123,952
農林水産業費	1,340	1,090	1,001	923	4,354
商工費	171,728	153,995	166,794	169,808	662,325
土木費	858,775	980,373	773,169	1,004,803	3,617,120
消防費	1,020	7,827	8,406	7,795	25,048
教育費	383,607	423,022	1,030,072	1,620,134	3,456,835
計	4,385,913	3,757,373	5,139,148	5,781,301	19,063,735

(4) 性質別事業費見通し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 5 性質別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	期間合計
消費的経費	5,189,450	6,128,626	5,055,181	6,955,486	23,328,743
投資的経費	18,045,935	4,091,653	9,783,942	5,926,880	37,848,410
合計	23,235,385	10,220,279	14,839,123	12,882,366	61,177,153

表 6 性質別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	期間合計
消費的経費	2,680,517	2,798,910	3,899,244	4,807,042	14,185,713
投資的経費	1,705,396	958,463	1,239,904	974,259	4,878,022
合計	4,385,913	3,757,373	5,139,148	5,781,301	19,063,735

4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。

事業の説明は令和2年度の予算事業に関する内容を記載しています。

なお、令和2年度当初予算は、義務的経費や継続的事業を中心にした骨格予算編成であったため、事業によっては当初予算と6月補正予算を記載しています。

- ※ 事業費については、平成29年度から令和2年度までいずれも事業予算額です。
- ※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分）]」中、金額が0となっているものは事業経費のないことを表しています。
- ※ 地域づくりに関する事業は、重点事業等と地域づくりの項目に記載しています。

藤沢市市政運営の総合指針2020体系別事業一覧

体系コード 事務事業名 課名 頁

まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

1 災害対策の充実

11	防災設備等整備事業費	防災政策課	15
21	危機管理対策事業費	危機管理課	17
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	18
51	橋りょう改修費	道路維持課	21
61	橋りょう架替事業費	道路維持課	22
71	一色川改修費	河川水路課	24

2 危機管理対策の推進

11	大規模震災等対策強化事業費	警防課	25
----	---------------	-----	----

3 防犯・交通安全対策の充実

11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	26
21	商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）	産業労働課	27
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	28

まちづくりテーマ2 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する

1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

11	オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	30
21	（公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）	スポーツ推進課	32
31	ビーチバレー大会開催関係費	スポーツ推進課	33
41	都市親善費	人権男女共同平和課	34

2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

11	シティプロモーション関係費	観光シティプロモーション課	35
21	誘客宣伝事業費	観光シティプロモーション課	36
31	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費	観光シティプロモーション課	38
41	藤澤浮世絵館運営管理費	郷土歴史課	39
51	（公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費（文化プログラム等事業費分）	文化芸術課	40
61	文化行事費	文化芸術課	41
71	アートスペース運営管理費	文化芸術課	42
81	江の島地区周辺整備事業費	道路整備課	43
91	観光施設整備費	観光シティプロモーション課	45

まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

21	校務支援システム構築事業費（小学校）	教育総務課	46
22	校務支援システム構築事業費（中学校）	教育総務課	46
23	校務支援システム構築事業費（特別支援学校）	教育総務課	46
31	教育情報機器関係費	教育総務課	47
41	教育情報化推進事業費	教育総務課	49

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	51
31	法人立保育所運営費等助成事業費	保育課	54
41	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	57
51	小児医療助成費	子育て給付課	59

3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

11	子どもの生活支援事業費	子ども家庭課	60
21	子ども・若者育成支援事業費	青少年課	61
31	就労支援事業費(ユースワークふじさわ)	産業労働課	62
41	奨学金給付事業費	教育総務課	63

まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる

1 多様な主体による支援の充実

11	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費	地域包括ケアシステム推進室	64
21	生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	65
31	地域生活支援事業費（相談支援事業）	障がい福祉課	67
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	69
51	成年後見制度等推進事業費（中核機関の設置）	地域包括ケアシステム推進室	70
61	包括的支援体制推進事業費 （コミュニティソーシャルワーカーの配置の充実）	地域包括ケアシステム推進室	71
71	地域福祉プラザ運営事業費	福祉健康総務課	73

2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

11	健康づくり推進事業費	健康増進課	75
21	がん検診事業費	健康増進課	76
31	公園改修費	公園課	77

3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

11	市民活動支援施設運営管理費	市民自治推進課	79
21	ミライカナエル活動サポート事業費	市民自治推進課	80
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	82
51	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	83
61	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	84
71	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	85
81	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	86
91	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	87
101	長後地域活性化事業費	長後市民センター	88
111	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	90
121	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	91
131	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	92
141	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	93
151	鵜沼地区まちづくり事業費	鵜沼市民センター	94
161	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	95
171	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	96

まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

31	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課	98
41	辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課	99
51	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	100
61	鵜南小学校改築事業費	学校施設課	102
71	六会中学校屋内運動場改築事業費	学校施設課	104
81	公共施設再整備関係費	企画政策課	106
111	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	107
121	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	108
131	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	109
141	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	110
151	市道新設改良費（バリアフリー事業）	道路整備課	110
161	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	111
171	市民会館整備費	文化芸術課	112

体系コード	事務事業名	課名	頁
2	誰もが移動しやすい交通体系の構築		
11	総合交通体系推進業務費	都市計画課	113
3	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進		
11	健康の森保全再生整備事業費	西北部総合整備事務所	115
21	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）	みどり保全課	116
31	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	117
4	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備		
11	住宅政策推進費	住宅政策課	119
21	空き家対策関係費	住宅政策課	120
31	新産業創出事業費	産業労働課	122
41	ロボット産業推進事業費	産業労働課	123
51	地域密着型商業まちづくり推進事業費	産業労働課	124
61	担い手育成支援事業費	農業水産課	125
71	藤沢ものづくりブランド応援事業費	産業労働課	127

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	232,672	15,964	17,341	0	7,474	191,893
令和元年度	268,342	35,623	21,716	72,300	6,524	132,179
対前年度	△ 35,670	△ 19,659	△ 4,375	△ 72,300	950	59,714
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				15,964
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				17,341
	(その他)	防災ラジオ売払収入				2,000
	(その他)	災害対応型自動販売機設置協力金				4,574
	(その他)	広告料収入				900

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設、ふじさわ防災ナビ等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実 127,039 千円
 - ・おかゆ、長期保存食（ビスケット）、粉ミルク、簡易トイレ処理袋、毛布等の購入費 125,158 千円
 - ・防災拠点管理業務委託料 1,881 千円
2. 防災ラジオの市民頒布 8,140 千円
 災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ1,000台の購入及び頒布
3. 津波避難対策の充実・強化 27,276 千円
 - ・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入費 3,260 千円
 - ・津波避難施設整備事業費補助金 5,000 千円
 - ・下藤が谷ポンプ場の敷地を活用した津波避難施設実施設計業務委託料 11,495 千円
 - ・津波ハザードマップ作成業務委託料等 7,521 千円
4. ふじさわ防災ナビの普及・充実 32,725 千円
 市民配布用の冊子「みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編」の改定
5. 防災対策の充実・強化 37,492 千円
 - ・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金 5,100 千円
 - (新) ・洪水・土砂災害・高潮ハザードマップ作成業務委託料等 32,392 千円

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	232,672	15,964	17,341		7,474	191,893
補正額	5,940	0	0		0	5,940
補正後の額	238,612	15,964	17,341		7,474	197,833

【補正事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材の整備を推進する。

1. 防災備蓄資機材の整備 5,940 千円
 藤沢市民病院に設置している災害対策用浄水器が経年劣化しており、災害時の断水時等に透析対応等のために大量に必要となる医療用水や飲料用水を確保するため、機器を更新する。
 最大浄水量 720リットル/時（淡水）



【災害対策用浄水器のイメージ】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
260,665	228,782	268,342	238,612	996,401	

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 07	危機管理課				
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,978	1,275	974			2,729
令和元年度	7,674	0	1,558			6,116
対前年度	△ 2,696	1,275	△ 584			△ 3,387
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,275
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				974

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所等への表示看板の設置や海拔表示公共小型看板の更新等の各種対策を実施する。また、想定されている津波及び洪水災害に備え、土地の海拔等をわかりやすく表示し、住民の避難指針の一つとするため、新たに市内郵便ポスト等に海拔等を表示したラベルを貼り付ける。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地として、関係機関との更なる連携強化を進め、万全の危機管理体制の構築を図る。

1. 指定緊急避難場所等表示看板の設置 3,644 千円

災害時の迅速かつ円滑な避難対策の推進にあたり、市内の公共施設等を災害種別ごとの指定緊急避難場所及び指定避難所に順次指定することに伴い、指定緊急避難場所等について、災害発生時のみならず、日常的に周知・啓発を行うため、指定する施設の入口等に避難場所等であることを示す蓄光型の表示看板の設置を行う。

・令和2年度設置予定数 36カ所

2. 海拔表示公共小型看板の更新 1,034 千円

津波避難対策の一環として、平成23年度に東京電力パワーグリッド(株)所有の電柱に設置した、海拔及び津波注意喚起を表示した公共小型看板(市内1,000カ所)について、経年劣化に伴い、平成29年度から計画的に更新を行っており、令和2年度も順次更新を行う。

・令和2年度更新予定数 200カ所

(新) 3. 海拔・洪水浸水深等表示ラベルの貼付け 300 千円

令和元年7月に日本郵便株式会社藤沢市内郵便局と締結した包括連携協定に基づき、JR東海道線以南の区域及び引地川、境川等の洪水浸水想定区域に所在する郵便ポストに海拔や洪水浸水深等を表示したラベルを貼り付ける。加えて、同区域に所在する水害避難所、避難施設にも同様のラベルを貼り付ける。

・令和2年度貼付け予定数 200カ所



指定緊急避難場所等表示看板(イメージ)



海拔表示ラベル
(イメージ)



洪水浸水深表示ラベル
(イメージ)

【事業費(事務事業中の重点事業分)】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
4,556	6,564	7,674	4,978	23,772	

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03	建築指導課				
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	60,698	23,326	10,916			26,456
令和元年度	50,045	17,530	11,449			21,066
対前年度	10,653	5,796	△ 533			5,390
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				23,326
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				7,794
	(県支出金)	沿道建築物耐震化支援事業費補助金				3,122

【事業概要】

災害対策を充実するため、市内の建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組構法2階建て木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者及び非木造の分譲マンションの管理組合、耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物の所有者を対象に、既存建築物の耐震化促進事業を行う。

1. 木造住宅耐震診断補助 2,700 千円
 対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。
 ・一般診断（補助上限 60,000円） 4 5 件

2. 木造住宅耐震改修工事補助 26,520 千円
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。
 ・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 2 8 件
 ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 2 2 件

3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド設置補助 200 千円
 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。
 ・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） 1 件

4. 分譲マンション耐震診断補助 1,800 千円
 昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。
 ・予備診断（補助上限 150,000円） 2 件
 ・本診断（補助上限 1,500,000円） 1 件

5. 分譲マンション耐震改修工事等補助 13,200 千円
 耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された分譲マンションの管理組合を対象に、耐震改修設計及び耐震改修工事に要する費用の一部を補助する。
 津波浸水予測区域内の津波避難ビルについては、補助率及び補助限度額を引き上げる。
 ・耐震改修設計（補助率 2/3、補助上限 100,000円/戸） 1 件

6. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震診断補助 13,896 千円
 耐震改修促進計画に基づき、耐震診断が義務付けられた緊急輸送道路沿道の旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、診断に要する費用の一部を補助する。
 ・本診断（補助率 5/6） 1 4 件

- | | |
|--|----------|
| 7. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修工事等補助 | 1,400 千円 |
| 耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された緊急輸送道路沿道の、旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、耐震改修設計、耐震改修工事及び除却に要する費用の一部を補助する。 | |
| ・耐震改修設計（補助率 2／3、補助上限 1,400,000円） | 1 件 |
| 8. 耐震アドバイザー講師謝礼 | 200 千円 |
| 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。 | |
| ・講師謝礼（20,000円／回） | 10 回 |
| 9. 建築物等防災対策事務経費 | 782 千円 |

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03			建築指導課		
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	60,698	23,326	10,916			26,456
補正額	14,289	7,144	0			7,145
補正後の額	74,987	30,470	10,916			33,601
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				7,144

【補正事業概要】

災害対策を充実するため、市内の建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための計画を推進する。

1. 委託料 14,289 千円

・藤沢市耐震改修促進計画改定業務委託

耐震改修促進法第6条の規定に基づき、令和2年度までを計画期間としている藤沢市耐震改修促進計画について、平成31年1月に改正された政令の内容を考慮するとともに、計画期間を令和7年度までとした改定を行う。

<今後のスケジュール>

令和2年 7月 藤沢市耐震改修促進計画改定業務委託開始

12月 改定計画素案議会報告

令和3年 1月 パブリックコメント実施

2月 改定計画(案)議会報告

3月 改定計画の決定

4月 改定計画に基づく施策の推進(令和8年3月まで)

[事業費(事務事業中の重点事業分)]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
45,004	63,041	50,045	74,987	233,077	

土木費

事業名	橋りょう改修費					
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			道路維持課		
指針体系コード	1-1-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	371,537	127,270		172,900		71,367
令和元年度	470,305	140,800		241,900		87,605
対前年度	△ 98,768	△ 13,530		△ 69,000		△ 16,238
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				127,270
	(地方債)	橋りょう整備事業債				172,900

【事業概要】

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、定期点検等の委託及び塗装塗替、伸縮装置補修等の維持補修工事を行う。また、地震発生時の避難路確保を図るため、境川に架かる境橋と新藤沢（山崎）跨線橋北側の耐震化工事及び、鶴沼歩行者専用道の国道を跨ぐ箇所の耐震化設計委託を行う。

1. 委託料 75,317 千円

- ・鶴沼歩行者専用道耐震化設計委託
- ・長寿命化修繕計画に基づく橋りょう定期点検委託等

2. 工事請負費 296,220 千円

- ・境橋、新藤沢（山崎）跨線橋耐震化工事
- ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づく塗装塗替、伸縮装置補修、断面修復等維持補修工事（町屋橋、清水橋、大塚川橋、稲荷橋、大庭大橋、石川陸橋、新藤沢跨線橋等）

境橋（境川）【耐震化工事】 新藤沢（山崎）跨線橋 北側エリア【耐震化、塗装塗替等工事】



町屋橋（柏尾川）【塗装塗替工事】



石川陸橋【伸縮装置交換等工事】



（この事業は令和元年度12月補正で増額した事業）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
346,364	341,575	470,305	371,537	1,529,781	

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	187,379		164,939		30	22,410
令和元年度	175,757		156,070		1,639	18,048
対前年度	11,622		8,869		△ 1,609	4,362
特定財源の内訳	(県支出金)	蓼川橋りょう架替事業費負担金				164,939
	(その他)	蓼中橋添架負担金				30

【事業概要】

神奈川県が実施する河川改修事業にあわせて、蓼川の蓼中橋及び蓼中人道橋の架替事業を行う。

1. 工事請負費 161,176 千円
 令和2年度は左岸側の護岸の築造及び上部工製作・架設、取付道路工事等を実施する。
 また、蓼中人道橋の上部工撤去を実施する。
 ・ 蓼中橋架替工事（左岸護岸工）
 ・ 蓼中橋架替工事（鋼上部製作・架設工）
 ・ 蓼中橋架替工事（取付道路工等）

<継続費>

(1) 蓼中橋架替工事（左岸護岸工） (単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	51,840	61,792	113,632

(2) 蓼中橋架替工事（鋼上部製作・架設工） (単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	5,552	71,085	76,637

2. 委託料 12,023 千円
 工事箇所周辺の家屋調査委託を実施する。
 ・ 家屋調査（事後）委託
3. 補償費及び負担金 12,572 千円
 ・ 移設していた橋りょう添架管及び、架空線の復旧作業に伴う補償費と負担金
4. 橋りょう架替事務経費 1,608 千円
 ・ 需用費（施設修繕費）、賃借料

蓼中橋【左岸橋台完成】



蓼中橋【左岸護岸築造】



事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	187,379		164,939		30	22,410
補正額	4,433		4,433		0	0
補正後の額	191,812		169,372		30	22,410
特定財源の内訳	(県支出金)	蓼川橋りょう架替事業費負担金				4,433

【補正事業概要】

蓼中橋架替工事（左岸護岸工）において、大雨時の河川増水により既設護岸背面土砂の一部が流失し、その復旧に要した仮設備の追加に伴う工事請負費の増額補正及び継続費の変更を行う。

1. 工事請負費【継続費の変更】 4,433 千円

蓼川橋りょう架替（左岸護岸工）に伴う工事請負費

(単位：千円)

年度	年割額			変更後の財源内訳		
	変更前	変更後	増減	国県支出金	地方債	一般財源
元	51,840	51,840	0	51,840	—	—
2	61,792	66,225	4,433	66,225	—	—
計	113,632	118,065	4,433	118,065	—	—



【河川増水状況】



【復旧状況】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
200,858	171,277	175,757	191,812	739,704	

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	82,625	9,000		58,600		15,025
令和元年度	131,851	10,000		98,000		23,851
対前年度	△ 49,226	△ 1,000		△ 39,400		△ 8,826
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				9,000
	(地方債)	河川改修事業債				58,600

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減し、流域住民の安全・安心を確保するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、稲荷山橋架替工事を行うとともに、河川改修に必要な事業用地の取得及び補償等を行う。

1. 工事請負費 59,700 千円

- ・ 稲荷山橋架替工事（左岸下部工・護岸工）
- ・ 稲荷山橋架替工事（右岸下部工・上部工）

<継続費>

(1) 稲荷山橋架替工事（左岸下部工・護岸工） (単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	74,891	12,000	86,891

(2) 稲荷山橋架替工事（右岸下部工・上部工） (単位：千円)

年割額	令和2年度	令和3年度	合計
	47,700	54,000	101,700

2. 公有財産購入費及び補償金 15,100 千円

- ・ 事業用地取得費
- ・ 事業用地取得に伴う補償

3. 委託料 5,000 千円

- ・ 稲荷山橋架替に伴う安全施設点検委託

4. 一色川改修事務経費 2,825 千円

- ・ 旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料

【稲荷山橋架替工事】



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
100,924	44,481	131,851	82,625	359,881	

消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 06				警防課	
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	危機管理対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	49,686	38,691		3,200		7,795
令和元年度	11,406	0		3,000		8,406
対前年度	38,280	38,691		200		△ 611
特定財源の内訳	(国庫支出金)	消防・救急体制整備費補助金（東京2020オリパラ大会）				38,691
	(地方債)	消防施設整備事業債				3,200

【事業概要】

近年中に発生が懸念されている大規模地震や台風及び集中豪雨等による風水害、また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や大規模イベントにおけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、災害対応資機材等の整備を行う。

- 災害対応資機材等の整備 10,995 千円
 - ・浸水害対応救助ボート（FRP製ボート） 5艇 3,575 千円
 - ・土砂災害対応資機材（レスキューサポート） 1セット 2,640 千円
 - ・特殊災害対応資機材の更新（化学防護服、検知資機材等） 3,413 千円
 - ・特殊災害対応資機材の点検 1,367 千円
- 大規模イベントにおける特殊災害対応資機材等の整備 38,691 千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における消防対策基本計画及び消防特別警戒計画に基づき、オリンピック関連施設及びオリンピック重点警戒施設におけるテロ災害等の発生に備え、特殊災害対応資機材等を整備する。

 - ・特殊災害対応資機材（化学防護服、検知器等） 31,006 千円
 - ・使用料及び賃借料（映像監視用システム、待機所等） 7,685 千円



【化学防護服】



【化学剤検知器】



【特殊災害対応訓練中の隊員】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
14,637	25,318	11,406	49,686	101,047	

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,528		1,500			8,028
令和元年度	9,380		788			8,592
対前年度	148		712			△ 564
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				1,500

【事業概要】

市による街頭防犯カメラの設置と維持管理や、自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費と修繕費の補助を行う。

1. 街頭防犯カメラ設置等 2,096 千円
 藤沢駅北口4台
 ・防犯カメラ設置費 1,980 千円
 ・防犯カメラ維持管理費 116 千円
2. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 6,932 千円
 自治会・町内会が設置する防犯カメラ50台について設置費の一部を補助する。
 ・補助率：設置費の4分の3、又は1台当たり375千円の低い額を補助

(単位：千円)

自治会・町内会名	台数	補助金額
大鋸東町町内会	4	947
緑が丘町内会	6	1,533
一照会	4	1,039
表郷町内会	2	470
湘南スカイハイツ自治会	30	1,443
台谷町内会	4	1,500
合計	50	6,932

3. 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助 500 千円
 ・補助対象：防犯カメラ本体及び周辺機器
 ・補助について：修繕費の4分の3、補助限度額200千円、1団体につき申請は年2回までとし、1回目の申請で補助限度額となった場合は年1回とする。



藤沢駅北口街頭防犯カメラ設置計画箇所



街頭防犯カメラ設置 (イメージ)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
17,366	9,516	9,380	9,528	45,790	

商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	1-3-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	29,082					29,082
令和元年度	39,503					39,503
対前年度	△ 10,421					△ 10,421

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 11,289 千円
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車減少を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の一部を助成する。
 - ・提携駐車場に対する助成 10,794 千円
 14カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 ほか12商店街
 - ・借上駐車場に対する助成 495 千円
 1カ所 片瀬竜の口商店街振興組合

2. 商店街街路灯電灯料補助金 11,085 千円
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料を全額助成する。
 - ・街路灯 2,706灯 本町白旗商店街振興組合 ほか33商店街

3. 商店街共同施設設置事業補助金 6,708 千円
 商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設の設置または改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その設置費用または改修、修繕費用の一部を助成する。
 - ・街路灯等改修 辻堂元町商店会 ほか2商店街 5,708 千円
 - ・防犯カメラ修繕 1,000 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
13,294	10,647	1,000	1,000	25,941	

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02			道路河川総務課		
指針体系コード	1-3-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,070			0		7,070
令和元年度	26,922			12,800		14,122
対前年度	△ 19,852			△ 12,800		△ 7,052

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備を進める。

- 1. 使用料及び賃借料 5,990 千円
 - ・片瀬江ノ島駅第1自転車駐車場管理設備機器賃借料
- 2. 自転車駐車場整備事務経費 1,080 千円
 - ・旅費、需用費

(この事業は令和元年度12月補正で増額した事業)
 (1の事業は令和元年度12月補正で債務負担行為を設定)

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02			道路河川総務課		
指針体系コード	1-3-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	7,070					7,070
補正額	2,360					2,360
補正後の額	9,430					9,430

【補正事業概要】

自転車の利用者の利便性の向上や歩行者の安全かつ円滑な通行の確保を図るため、民間自転車駐車場の新設に対する補助を行う。

1. 補助金 2,360 千円
 江ノ島駅付近における民間自転車駐車場の新設費用に対する補助



【位置図】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
27,318	58,496	26,922	9,430	122,166	

事業名	オリンピック開催準備関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室					
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	475,741		14,569			461,172
令和元年度	116,601		15,605			100,996
対前年度	359,140		△ 1,036			360,176
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				12,771
	(県支出金)	市町村スポーツ施策推進補助金				1,798

【事業概要】

東京2020大会の開催を目前に控え、大会に向けた気運を高める取組や、市民が喜びや感動を分かち合うための様々な事業を実施する。また、市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現するため、おもてなしの顔となるシティキャストフジサワ（藤沢市・都市ボランティア）の運営を行うほか、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」を核に市民参加を促進する事業に取り組み、大会後のレガシーとしてボランティア文化の醸成・定着につなげていく。

- (括) 1. 気運を高める取組 355,354千円
 - (1) 聖火リレー等の大会関連イベント、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会などを通じて気運の盛り上げを図るほか、会場関連自治体として、暑さ対策グッズやパンフレットの作製等を行う。 19,996千円
 - (2) 市民の心に残る大会とするため、大会終了後におけるアスリート報告会、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室、セーリング競技に関連する体験イベントを実施する。 15,608千円
 - (3) 市民が喜びや感動を分かち合うための取組として、シティドレッシング（都市装飾）の実施、東京2020ライブサイトの開催、ポルトガルパラリンピック委員会の事前キャンプ受入れを行う。（令和元年度12月補正で債務負担行為を設定） 319,750千円

- (括) 2. ボランティアに関する取組 104,570千円
 - (1) ボランティアwebサイトの運用をはじめ、大会期間中におけるシティキャストフジサワの運営、聖火リレー・ライブサイト等の大会関連イベントにおける独自ボランティアの運営、大会終了後の感謝祭等を実施する。 55,996千円
 - (2) 市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現するため、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」による情報発信や、応援団員の事業参加推進、応援団員による自主イベントを支援するとともに、応援団の取組を大会後に残すため、関連する事業・団体等への引継ぎを行う。 10,650千円
 - (3) オールジャパンとして一体感のあるおもてなしの実現を図るため、シティキャストフジサワの大会公式ユニフォームを購入する。（令和元年度当初で債務負担行為を設定） 37,924千円

- 3. その他事務経費 15,817千円



(東京2020大会で江の島が会場となるセーリング競技)



(事前キャンプ協定締結式でおもてなしをするシティキャストフジサワ)

事業名	オリンピック開催準備関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室					
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	475,741		14,569			461,172
補正額	△ 334,794		0			△ 334,794
補正後の額	140,947		14,569			126,378

【補正事業概要】

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、東京2020大会が1年間延期されたことに伴い、今夏の開催に向けて予算化した各種事業費について減額補正を行う。

また、大会の延期に伴う開催準備業務の人員を確保するため、人材派遣契約を延長（10月～3月分）する経費について増額補正を行う。

1. 減額補正 △ 343,857 千円

(単位：千円)

No.	名称	予算現額	執行見込額	補正額
1	東京2020ライブサイト運營業務委託	198,618	15,000	△ 183,618
2	シティドレッシング業務委託	77,603	3,256	△ 74,347
3	事前キャンプ受入れ業務委託	43,529	8,616	△ 34,913
4	ボランティア等関連業務委託	48,978	24,123	△ 24,855
5	セーリングワールドカップシリーズ 江の島大会実行委員会負担金	10,000	800	△ 9,200
6	アスリート報告会業務委託	7,793	0	△ 7,793
7	2020応援団藤沢ビッグウェーブ事務局 運營業務委託	9,286	5,275	△ 4,011
8	ウェブサイト運用業務委託	7,018	4,598	△ 2,420
9	暑さ対策グッズ購入	2,200	0	△ 2,200
10	聖火リレーセレブレーション出演謝礼	500	0	△ 500

2. 増額補正 9,063 千円

(単位：千円)

名称	予算現額	執行見込額	補正額
開催準備業務に係る人材派遣契約	13,167	22,230	9,063

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
35,438	74,984	116,601	140,947	367,970	

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	47,342		4,854			42,488
令和元年度	44,353		6,000			38,353
対前年度	2,989		△ 1,146			4,135
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				4,854

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機としたセーリング競技に関する体験会、障がい者スポーツに関連する事業及び子ども達の夢や希望を育むための各種事業を展開することで、両大会に対する市民の興味・関心を高めるとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。

また、健康寿命日本一を目指し、市民が「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」健康で豊かなスポーツライフが過ごせるよう各種事業を開催する。

1. スポーツ事業業務委託

47,342 千円

(1) 東京2020オリンピック競技大会関連業務

- ・ふじさわセーリングフェスタ2020の開催
- ・ビーチバレー中学生県大会及び全国大会の開催
- ・ジュニアのためのスポーツ栄養講座の開催
- ・気運醸成のための市民参加型スポーツ大会等の開催
- ・セーリングサポートプログラムの支援業務

(2) 東京2020パラリンピック競技大会関連業務

- ・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会と連携したふじさわボッチャ競技大会をはじめとする各種イベントの開催
- ・障がい者スポーツを推進するための支援協力者の育成

(3) 藤沢市健康増進関連業務

- ・「おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2020」の開催
- ・健康、体力づくりに関連する各種イベントの開催

(4) 藤沢市スポーツ推進計画関連業務

- ・ビーチレクリエーションゾーンの管理運営
- ・子どもの体力テスト事業の実施
- ・藤沢市駅伝競走大会の開催
- ・スポーツ施設マップの作成



(ふじさわセーリングフェスタ2019)



(ふじさわボッチャ競技大会)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,201	16,375	16,896	10,324	44,796	

教育費

事業名	ビーチバレー大会開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 06			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	10,900				3,000	7,900
令和元年度	11,000				3,000	8,000
対前年度	△ 100				0	△ 100
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸ビーチバレーコートにおいて「第34回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の盛り上がりを生かし、中学生の夢や希望を育むためのビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を同会場にて開催する。

- 第34回ビーチバレージャパン（開催負担金） 6,000 千円
開催月：8月（3日間）（予定）
主 管：ビーチバレージャパン実行委員会
- 第14回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 900 千円
開催月：7月（1日間）（予定）
主 管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 第11回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 4,000 千円
開催月：8月（2日間）（予定）
主 管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



(第33回ビーチバレージャパン)



(第10回湘南藤沢カップ
全国中学生ビーチバレー大会)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
11,000	11,000	11,000	10,900	43,900	

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	12,736				12,736	
令和元年度	22,137				22,137	
対前年度	△ 9,401				△ 9,401	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				12,736

【事業概要】

姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 9,460 千円
 姉妹友好都市をはじめとする諸都市との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。
 - (1) マイアミビーチ市との交流
 - (2) 昆明市との交流
 ・公式訪問団派遣 8月(予定)
 - (3) ウィンザー市との交流
 - (4) 保寧市との交流
 ・公式訪問団派遣 7月(予定)
 - (5) 東京2020大会への姉妹友好都市招待
 江の島における東京2020大会セーリング競技の開催に合わせて、姉妹友好都市の方々を招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。
 - (6) 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待
 姉妹友好都市の方々を湘南藤沢市民マラソンへ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。

2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 881 千円
 外国人市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会へ委託して実施する。
 ・開催時期：10月(予定)

3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円

4. 事務経費 2,145 千円
 - ・旅費 1,030 千円
 - ・報償費、需用費、役務費 1,115 千円



湘南藤沢市民マラソン
ステージセレモニー



ふじさわ国際交流フェスティバル

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
4,156	3,181	5,660	6,932	19,929	

商工費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 8 項 2 目 5 細目 01 説明 01	観光シティプロモーション課				
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	16,448		1,833			14,615
令和元年度	18,293		1,332			16,961
対前年度	△ 1,845		501			△ 2,346
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,833

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、藤沢のブランド価値を高め藤沢を発展させていくため、「ふじさわシティプロモーション推進方針（第2期）」に基づき、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、市民や企業（団体）等を巻き込んだ、「市民参加型」のプロモーションを展開する。

市外に対しては、市民からの発信力強化による「クチコミ」「SNS」の拡散効果によるブランド力の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機ととらえ、藤沢の魅力を発信するための取組を推進する。

1. ふじさわシティプロモーション推進事業業務委託 5,500 千円
市民自らが拡散性の強いSNSを活用し、まちの魅力を発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託 2,018 千円
藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」の自発的活動の支援を行う。
3. 公式キャラクター運營業務委託 1,000 千円
公式マスコットキャラクター（ふじキュン♡）を活用したプロモーションを行う。
4. 公式WEBサイト運用管理業務委託 2,497 千円
ふじさわシティプロモーション公式WEBサイトの運用管理を行う。
- (拡) 5. ダンスプロモーション業務委託 963 千円
キュンダンスの普及を目的として、講習会やイベントの企画・実施を行うとともに、公認指導者「アンバサダー」の育成及び認定を行う。
- (新) 6. フォトブックの制作 765 千円
藤沢の良好なロケーションやライフスタイルを視覚的にPRするフォトブックを作成する。
- (新) 7. 市制80周年記念事業Instagram写真展の実施 119 千円
Instagramで写真を募集し、入選作品の決定・表彰後、市民ギャラリーに展示を行う。
8. 市民アンケート調査の実施 423 千円
藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。
9. シティプロモーション関係事務経費 3,163 千円
 - ・報償費（講師謝礼、記念品等） 252 千円
 - ・旅費 219 千円
 - ・委託料（イラストデザイン作成） 99 千円
 - ・その他（啓発品、消耗品、Wi-Fi回線使用料等） 2,593 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
14,926	14,396	18,293	16,448	64,063	

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-21		まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	68,379		4,773		22,625	40,981
令和元年度	51,819		2,698		19,345	29,776
対前年度	16,560		2,075		3,280	11,205
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				4,773
	(その他)	江の島岩屋使用料				15,941
	(その他)	片瀬東浜駐車場使用料				6,684

<拡充事業> 外国人観光客誘致対策事業、観光客実態調査事業、宝探し事業（エノシマトレジャー）の実施

【施策等を必要とする背景】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も、国内外から更なる誘客を図るため年間を通じた施策を展開する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

国はインバウンドを推進し、現状として訪日外国人は大幅に増加している。

また、観光振興計画では、外国人観光客数を数値目標に掲げており、この推計には、県が実施していたビッグデータの集計システムを利用していた。しかしながら、県は既に運用を廃止していることから、外国人観光客数の実数を正確に把握し、今後の施策を展開する上で、ビッグデータの導入は不可欠である。

宝探し事業（エノシマトレジャー）は、冬の閑散期の誘客施策として、2005年度から開催し、第14回目の開催となった2018年度には、過去最高の参加人数となった。

宝探し事業を軸に、年間を通じて観光客の市内の回遊性を高めるため、新規展開を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

観光振興計画において、観光客数の調査・把握をし、今後の観光振興施策の戦略データとして活用するため、「観光に関する調査の実施」及び外国人観光客誘致の推進に向け、「ビッグデータを活用した外国人観光客数及び観光行動の把握」を戦略プログラムと位置付けている。

また、藤沢の観光魅力づくりの実現に向け、「歴史や文化を活用した事業の推進」を戦略プログラムと位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

客観的で、より実態に即したKPIの設定や効果検証によるPDCAが可能。

東京2020大会の開催を契機に、今後ますます増加が見込まれる観光客に対し、継続的な誘致活動を行うとともに、回遊性のあるイベントを実施することで、本市の更なる観光振興及び地域経済の活性化に繋がる。

2. 将来にわたる費用

保守・更新費用が必要経費として継続的に生じる。

【事業概要】

国内外から広く観光客を誘客するため、県外での観光キャラバンによるキャンペーン、海外旅行博への参加などによる外国人観光客誘致対策事業の実施、観光ホームページによる情報発信、メディアを活用した観光情報の提供、民間団体等が実施するイベントへの参画等により、誘客宣伝事業を行う。

1. 観光宣伝事業委託	63,802 千円
<主な事業>	
・観光キャラバン事業	4,600 千円
・メディアによる観光宣伝事業	1,485 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	1,790 千円
・松本市交流事業	220 千円
・観光用土産袋の製作事業	326 千円
・北部観光振興事業	200 千円
・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	11,738 千円
・江の島イラストマップの作成	1,397 千円
・外国語版江の島イラストマップの作成	3,718 千円
(拡) 外国人観光客誘致対策事業	26,386 千円
外国人観光客を対象として、ビッグデータの収集・分析を行う。	
(拡) 宝探し事業（エノシマトレジャー）	9,517 千円
秋・冬の観光誘客事業として、藤沢宿エリアを含めて実施する。	
(拡) 観光客実態調査事業	1,485 千円
観光施策推進のため、観光客の実態・回遊状況を把握する。	
・観光親善大使関連事業	601 千円
2. 海と山との市民交歓会開催委託	1,091 千円
姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	
3. 地域観光振興事業補助金	500 千円
8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	
4. 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金	530 千円
1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	
5. 全日本ライフセービング選手権大会補助金	300 千円
10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	
6. サイクルチャレンジカップ藤沢事業補助金	2,000 千円
市内北部地域で開催されるサイクルロードレース大会への助成	
7. 誘客宣伝事業事務経費	
講師謝礼、特別旅費	156 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
44,157	44,028	51,819	68,379	208,383	

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	27,745					27,745
令和元年度	26,236					26,236
対前年度	1,509					1,509

【事業概要】

本市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通して観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の来藤による直接的・間接的な経済効果を図る。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッション事業負担金 27,745 千円
- ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など）
 - ・撮影許可申請の案内
 - ・ロケの立ち会い
 - ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
 - ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配
 - ・市民向けフォーラムの開催
 - ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
23,729	25,759	26,236	27,745	103,469	

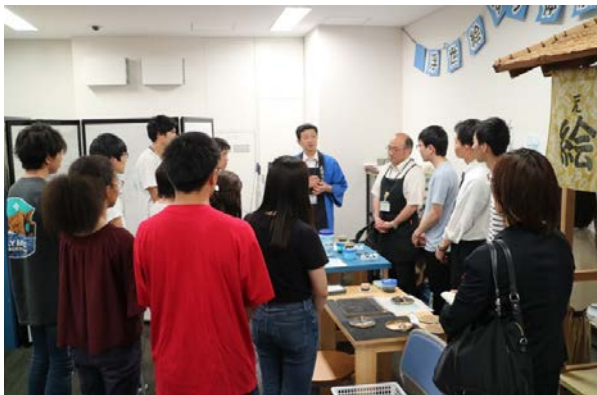
教育費

事業名	藤澤浮世絵館運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 07 説明 02			郷土歴史課		
指針体系コード	2-2-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	51,361				1,200	50,161
令和元年度	64,830				1,200	63,630
対前年度	△ 13,469				0	△ 13,469
特定財源の内訳	(その他)	浮世絵館関連グッズ売上収入				1,200

【事業概要】

本市所蔵の浮世絵をはじめとする郷土歴史及び文化に関する資料を展示公開することにより市民の郷土への愛着を育み、文化の向上に寄与するため藤澤浮世絵館の運営管理を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催及び市制施行80周年を迎えることを契機とし、さらに藤沢市の歴史や文化を発信していくよう取り組む。

1. 藤澤浮世絵館の運営管理 51,361 千円
- ・ 藤澤浮世絵館運営員会委員報酬等 229 千円
 - ・ 講演会、資料調査等講師謝礼 570 千円
 - ・ 展示用消耗品、備品購入費、修繕費 4,132 千円
 - ・ 印刷製本費（展示ガイド・ポスター・チラシ作成等） 6,067 千円
 - ・ マット加工、浮世絵修復等手数料、翻訳料、運搬料 4,366 千円
 - ・ ココテラス湘南賃借料、共益費、光熱水費 33,970 千円
 - ・ その他経費（パソコン賃借料、動画制作委託料等） 2,027 千円



(大学生を対象としたワークショップ)



(有識者による展示関連講演会)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
60,787	64,233	64,830	51,361	241,211	

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-51	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	149,239					149,239
令和元年度	132,311					132,311
対前年度	16,928					16,928

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化活動の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し補助を行う。

- (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 149,239 千円

ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、芸術鑑賞事業や体験発表事業等を実施する。また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに関連する事業を行う。

 - 音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供
藤沢にゆかりのある音楽家たちシリーズ等
 - 市民オペラ公演の実施
演目：園田隆一郎芸術監督 2018-2020 シーズン
第24回藤沢市民オペラ「ナブッコ」
 - 芸術文化の創造の機会の提供
学校訪問事業、演劇ワークショップ等
 - 芸術文化の普及
ロビーコンサート、ワンコインコンサート等
 - 地域における芸術文化及び伝統文化の継承
藤沢市展 日程：5月26日～6月14日
会場：藤沢市民ギャラリー
ふじさわ合唱祭、市民短歌大会等



(G. ロッシーニ「湖上の美人」演奏会形式)



(令和元年度第69回藤沢市展)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
78,496	61,771	54,700	78,299	273,266	

教育費

事業名	文化行事費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 03			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-61	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,653				1,320	8,333
令和元年度	7,730				1,242	6,488
対前年度	1,923				78	1,845
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				1,320

【事業概要】

文化芸術の振興のため、鑑賞機会の充実を図り、将来の本市の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして位置づける文化芸術事業の実施主体となる団体に対して補助を行うことにより、大会開催に向けて気運の醸成を図る。

1. 文化団体への補助金の交付 5,720 千円
 - ・ 郷土芸術文化推進事業補助金 3,420 千円
藤沢市文化団体連合会が実施する、児童生徒を対象とした伝統文化の体験事業「ワクワク体験ひろば」や、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムの取組の一つとして実施する、外国人観光客等を対象とした日本の伝統文化を紹介する「おもてなし」等の事業に対する補助を行う。
 - ・ 市民シアター第九演奏会事業補助金 2,300 千円
「市民シアター第九を唱う会」が実施する東京2020大会の気運醸成のための事業や、イルミネーション湘南台での演奏会に対する補助を行う。

2. 「こころの劇場」招待事業 2,500 千円
市内小学校35校の6年生等を対象に、優れた演劇に触れるきっかけを与え、豊かな感性と創造性を育むことを目的に劇団四季が実施するミュージカル「こころの劇場」への招待事業を行う。
日程：6月4日、5日（予定）
会場：市民会館大ホール
招待児童数：約4,000人

3. セイジ・オザワ松本フェスティバル事業 1,320 千円
松本市で開催される「セイジ・オザワ松本フェスティバル」のオーケストラコンサートを生中継で鑑賞するスクリーンコンサートを行う。

4. 藤沢市文化芸術振興計画の進行管理 113 千円
本市の文化芸術振興計画について、学識経験者、文化団体関係者等により進行管理を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
5,797	8,488	7,730	9,653	31,668	

教育費

事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-71	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	74,986				1,522	73,464
令和元年度	73,816				1,749	72,067
対前年度	1,170				△ 227	1,397
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				507
	(その他)	文化振興基金繰入金				1,000
	(その他)	アートスペース関連グッズ売上収入				15

【事業概要】

藤沢市アートスペースの運営管理を行い、藤沢にゆかりのある若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける文化芸術事業として、アートスペースを活用した企画展を開催する。

- 1. 施設管理、運営管理 36,721 千円
 建物賃借料、共益費、光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等
- 2. 事業運営費 38,265 千円

- ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援
 藤沢市や湘南地域で活動する若手芸術家や、全国からの公募により選出した芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
- ・身近な美術鑑賞の機会の提供
 藤沢ゆかりの作家や湘南地域で活動する若手芸術家を中心とした絵画、彫刻、写真等の作品や、本市所蔵の美術作品の企画展を開催する。
- ・美術作品の展示・発表の場の提供
 個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、作品発表の場を提供する。
- ・美術学習の場の提供
 子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。
- ・藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける事業の開催
 前回の東京オリンピックにゆかりのある芸術家や国際的に活躍する若手芸術家による企画展、姉妹・友好都市の芸術家と本市の若手芸術家による交流企画展を開催する。
- ・パブリックアート紹介冊子の作成
 市内に設置されているパブリックアートについて、平成30年度から開始した調査結果を冊子にまとめて刊行する。



(令和元年度企画展Ⅱ姉妹友好都市間文化交流事業「木目をつくる」)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
66,752	67,516	73,816	74,986	283,070	

事業名	江の島地区周辺整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 01	江の島地区周辺整備担当 (新課名：道路整備課)				
指針体系コード	2-2-81	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	72,048			19,500		52,548
令和元年度	16,435			0		16,435
対前年度	55,613			19,500		36,113
特定財源の内訳	(地方債)	江の島地区周辺整備事業債				19,500

【事業概要】

片瀬・江の島周辺における回遊性の向上及び交通機能の強化を図るため、片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間の整備及び周辺道路の交通安全対策として鵜沼海岸10号踏切の改良工事等を行う。

- 1. 賃借料 1,932 千円
 - ・道路用地（交通空間の一部）
- 2. 工事請負費【継続費】 26,000 千円
 - ・片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備工事

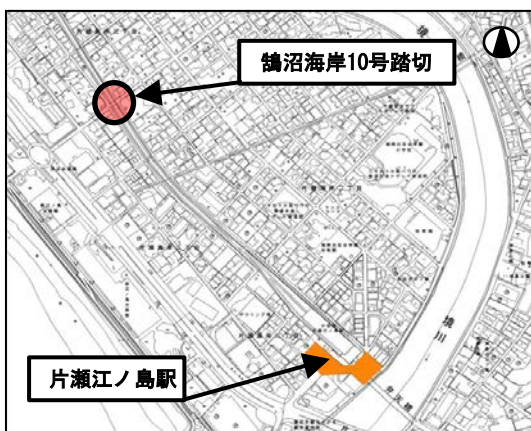
(単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	25,000	26,000	51,000

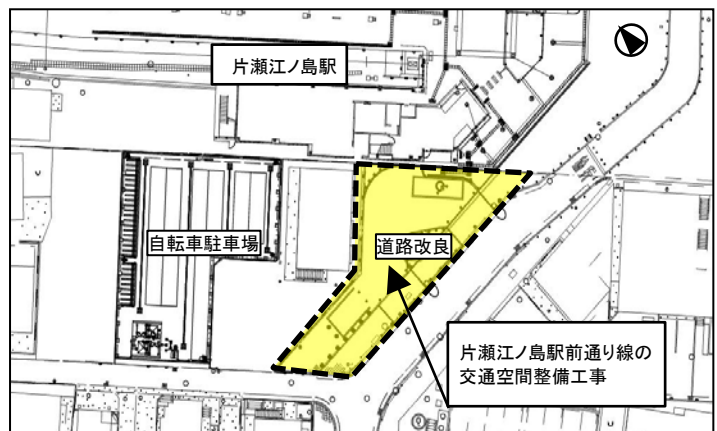
- 3. 負担金 41,968 千円
 - ・鵜沼海岸10号踏切の改良工事に伴う負担金
- 4. 江の島地区周辺整備事業事務経費 2,148 千円

<スケジュール>

	令和元年度		令和2年度	
片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備		自転車駐車場 道路改良	2020 東京大会	
鵜沼海岸10号踏切の改良		踏切改良	軌道調整	



【位置図】



【交通空間の計画平面図】

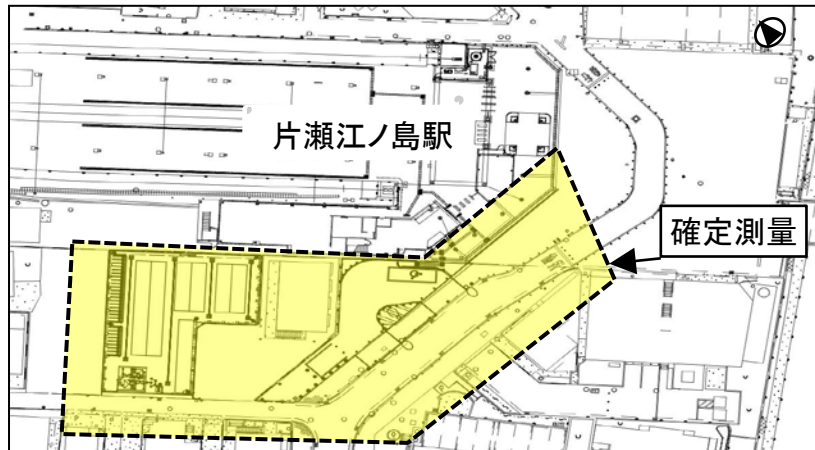
(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業及び債務負担行為を設定)

事業名	江の島地区周辺整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	2-2-81	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	72,048			19,500		52,548
補正額	3,500			0		3,500
補正後の額	75,548			19,500		56,048

【補正事業概要】

片瀬・江の島周辺における回遊性の向上及び交通機能の強化を図るため、片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備工事に伴う用地境界確定測量を行う。

1. 委託料 3,500 千円
 用地境界確定測量委託 A=2,500m²



【位置図】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
804	21,229	16,435	75,548	114,016	

商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-91	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	28,743		7,297	15,900	5,546	
令和元年度	148,916		20,568	88,600	39,748	
対前年度	△ 120,173		△ 13,271	△ 72,700	△ 34,202	
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				7,297
	(地方債)	観光施設整備債				15,900
	(その他)	江の島サムエル・コッキング苑使用料				4,546
	(その他)	観光案内サイン整備事業寄付金				1,000

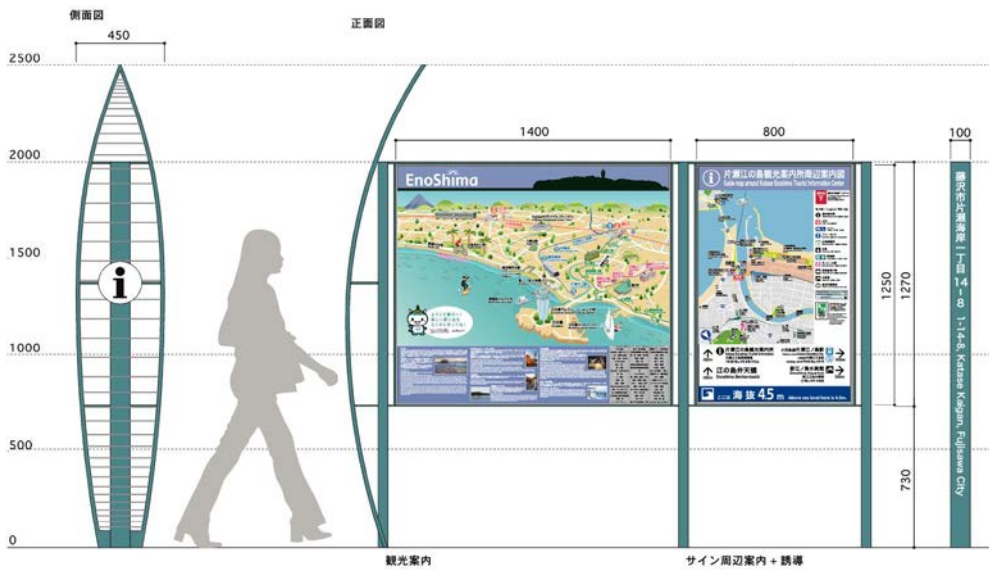
【事業概要】

本市を訪れる観光客に円滑に観光地を回遊してもらうため、観光案内サイン整備工事を行う。
また、観光案内サイン整備事業の実施にあたり、市内外から幅広い支援・協力を募るため、クラウドファンディングを活用する。

1. 観光案内サイン整備事業

28,743 千円

国内外から本市を訪れる多くの観光客に対し円滑に観光地を回遊してもらうため、湘南海岸公園内及び江ノ電江ノ島駅前に統一感がある観光案内サインの整備を行う。



(観光案内サイン整備事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
	16,849	148,916	28,743	194,508	

教育費

事業名	校務支援システム構築事業費（小・中・特別支援学校）					
予算科目	2 款 1 1 項 3 目 1 細目 03 説明 01 4			教育総務課		
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
	3-1-22 3-1-23	重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	175,085					175,085
令和元年度	211,159					211,159
対前年度	△ 36,074					△ 36,074

【事業概要】

小・中・特別支援学校において、成績処理や教材作成など校務を適切かつ効率的に行うため、教職員一人ひとりが個々で使用するパソコンの維持管理を行う。

1. 校務用パソコン等賃貸借 173,831 千円
 - ・小学校分 125,491 千円
 - ・中学校分 44,651 千円
 - ・特別支援学校分 3,689 千円

2. 校務用パソコンサポート業務委託 1,254 千円
 校務用パソコンを円滑に活用できるようヘルプデスク等の業務委託を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
小学校	85,856	110,515	126,684	125,491	448,546	
中学校			82,250	45,905	128,155	R元年度か
特別支援学校			2,225	3,689	5,914	ら重点事業
計	85,856	110,515	211,159	175,085	582,615	

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04	教育総務課				
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	404,733					404,733
令和元年度	417,136					417,136
対前年度	△ 12,403					△ 12,403

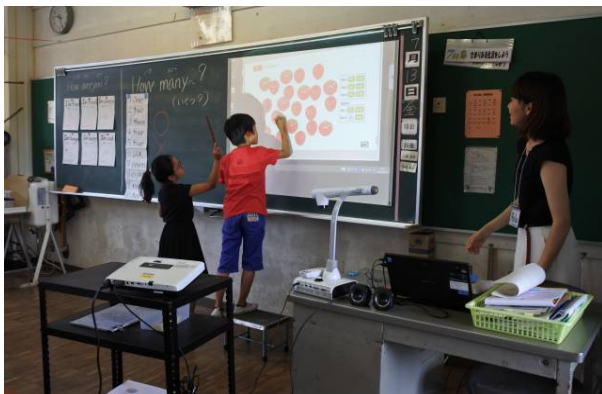
【事業概要】

文部科学省が公表している「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針について」及び「GIGAスクール構想」に基づき、ICT環境の整備を行う。

1. 学習用端末等整備事業 344,036 千円
 学習で使用するためのICT環境の整備を行う。
 - ・ネットワーク管理費 13,551 千円
 - ・デジタル教科書使用料 11,000 千円
 - ・既存端末等賃借料 319,485 千円

2. ICT機器活用サポート業務委託 38,398 千円
 ICT機器の活用をサポートするICT支援員の派遣や、さまざまな契約により導入された機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務を行う。

3. ICT周辺機器等整備事業 22,299 千円
 体育館用プロジェクターやプログラミング教材等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



(ICT機器を活用した授業)



(タブレット端末の実用例)

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04			教育総務課		
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	404,733	0				404,733
補正額	1,202,511	698,625				503,886
補正後の額	1,607,244	698,625				908,619
特定財源の内訳	(国庫支出金)	公立学校情報機器整備費補助金				698,625

【補正事業概要】

令和2年4月に、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に基づき、市立小学校35校に、学習用端末を前倒しで1人1台整備するとともに、オンライン学習の支援として、ネットワーク環境がない家庭に貸し出すためのWi-Fiルーターの整備に必要な事業費について増額補正を行う。

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 需用費 | 1,130,786 千円 |
| 学習用端末整備（22,982台） | 1,127,497 千円 |
| 電源キャビネット設置のための電源工事（小学校8校） | 3,289 千円 |
| 2. 使用料及び賃借料 | 71,725 千円 |
| 電源キャビネット整備（1,165台） | 28,165 千円 |
| Wi-Fiルーター利用料（1,100台×6カ月分） | 43,560 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
		417,136	1,607,244	2,024,380	R元年度から重点事業

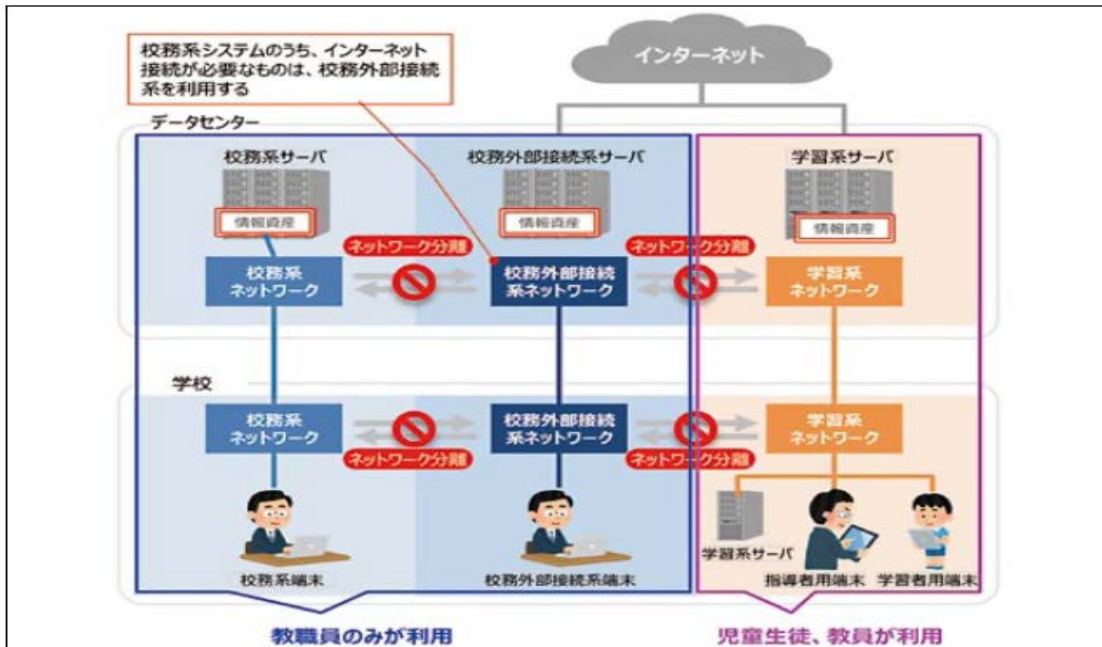
事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10			教育総務課		
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	107,277					107,277
令和元年度	37,089					37,089
対前年度	70,188					70,188

【事業概要】

令和元年度に再構築した学校ICT基盤を活用することで、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則した情報セキュリティ対策を行いながら、学校ICT機器を円滑に利用できるようなICT環境の実現を図る。

また、学校グループウェアを使い、校内外の連絡を円滑にすることで、教職員の働き方改革を推進する。

1. 学校ICT基盤の運用 87,724 千円
2. セキュリティ対策ソフトの運用 5,280 千円
3. 学校グループウェアの運用 7,315 千円
 学校グループウェアを活用し、学校内、学校間、学校と教育委員会の情報連携を円滑にして校務の効率化を推進する。
4. 学校ホームページの運用 6,930 千円
 保護者や地域住民等へ学校の活動状況を報告するとともに、緊急時の連絡ツールとして活用する。
5. 先進ICT整備研究旅費 28 千円



ネットワーク分離イメージ図

(文部科学省：「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」ハンドブックから引用)

事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10			教育総務課		
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	107,277					107,277
補正額	40,457					40,457
補正後の額	147,734					147,734

【補正事業概要】

令和2年4月に、文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に基づき、市立中学校に整備する1人1台の学習用端末を早期に使用するために必要な事業費について増額補正を行う。

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 報償費 | 180 千円 |
| 学習用端末活用促進のための教職員用研修講師謝礼 | |
| 2. 使用料及び賃借料 | 40,277 千円 |
| ネットワーク・サーバー増強整備 | 29,410 千円 |
| ソフトウェア使用料 | 10,867 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
		37,089	147,734	184,823	R元年度から重点事業

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 08			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費	重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	288,402	177,860	16,596			93,946
令和元年度	662,933	0	411,356			251,577
対前年度	△ 374,531	177,860	△ 394,760			△ 157,631
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				46,666
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				16,596
	(国庫支出金)	保育所等整備交付金				114,598
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				16,596

【事業概要】

既存保育施設における保育環境の向上及び保育需要への対応として、法人立認可保育所等の整備及び病児保育施設の新設にかかる経費を補助する。

1. 既存保育所等の再整備 212,173千円
 - (1) 遠藤保育園（認可保育所） 185,923千円
 築51年が経過する当該園舎について、保育環境の維持・向上を図るため、敷地内で建て替えを行う。
 - ・設置運営法人 社会福祉法人 六会・遠藤福祉会
 - ・所在地 遠藤2469
 - ・定員 114人（建て替え後、120人に増員予定）
 - ・整備期間 令和2年4月～令和3年9月（予定）
 - (2) 保育ルーム フロール（小規模保育事業） 26,250千円
 定員拡大を図るため、近接地へ移転を行う。
 - ・設置運営法人 一般社団法人 望英
 - ・所在地 善行7-6-10
 - ・定員 13人（移転後、19人に増員予定）
 - ・整備期間 令和2年4月～9月（予定）
2. 認可保育所分園の本園化 26,250千円
 第2湘南まるめろ保育園について、本園化による定員拡大を図るため、園舎の改修を行う。
 - ・設置運営法人 社会福祉法人 永寿会
 - ・所在地 城南1-21-17
 - ・定員 60人（本園化後、108人に増員予定）
 - ・整備期間 令和2年6月～9月（予定）
- (新) 3. 病児保育施設の新設 49,789千円
 多様な保育ニーズに対応するため、病児保育施設の整備を行う。
 - ・施設名 (仮称) 病児保育室湘南
 - ・実施医療機関 長後中央医院
 - ・所在地 下土棚444-8
 - ・定員 4人
 - ・整備期間 令和2年4月～9月（予定）
4. 保育所等設置運営者選考委員会委員報酬 190千円
 公募の審査選定を行う保育所等設置運営委員会の専門委員に対する報酬

（この事業は令和元年度6月補正、9月補正及び12月補正で増額した事業）

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 08			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	288,402	177,860	16,596			93,946
補正額	545,202	477,348	0			67,854
補正後の額	833,604	655,208	16,596			161,800
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				477,348

<新規事業> 幼稚園送迎ステーション事業の実施

【施策等を必要とする背景】

北部地区では、湘南台駅を中心に0歳児から2歳児までを保育する小規模保育事業所や企業主導型保育事業所が多く設置されているため、これらの施設を卒園した児童の受け皿となる3歳以上児の保育施設の不足により、卒園後の受入施設の確保が課題となっている。

令和元年5月に実施した「利用希望把握調査」の結果において、約6割の保護者が幼稚園の利用を希望している実情を踏まえたうえで、より効率的な待機児童対策の展開と多様な保育ニーズに応える受け皿を確保する観点からも、本施策の実施が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

- ・令和元年12月 湘南台駅周辺で小規模保育事業所と企業主導型保育事業所を運営する事業者が、園を卒園した児童の受入施設が見つからない実情を受け、幼稚園を活用した送迎保育ステーション事業を実施することで3歳以上児の保育の受け皿を確保する提案を市に行う。
- ・令和元年12月～令和2年1月 提案事業者や提携幼稚園との協議を進める。
- ・令和2年3月 藤沢市議会定例会・子ども文教常任委員会にて令和2年度～令和6年度までを計画期間とした藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）への位置付けを報告

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】 藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- ・これまで不足していた3歳以上児の受け皿整備が図られることにより、小規模保育事業所や企業主導型保育事業所の卒園児が引き続き保育サービスを受けることができる環境が整備され、待機児童の解消が図られる。
- ・幼稚園を利用したくても利用できなかったフルタイム勤務の共働き世帯の児童が利用できるようになる等、保育サービスの選択肢が広がる。
- ・既存資源である幼稚園を保育の受け皿として活用することで、3歳以上児に特化した効率的な待機児童対策を図ることができる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政見込負担額は次のとおり

- ・令和3年度以降 6,167 千円

【補正事業概要】

待機児童に対応するため、令和3年4月開所に向けた認可保育所設置運営法人及び小規模保育事業設置運営事業者を公募し、選定された事業者に対して施設整備費等の助成を行う。また、認可保育所の定員拡大を図るため、再整備を行う運営法人に対し、施設整備費等の助成を行う。

さらに、小規模保育事業所等を卒園した児童の受け皿不足の対応として実施する幼稚園送迎ステーション事業の開設経費及び運営費に係る助成を行う。

1. 認可保育所整備 378,000 千円

○東南地区

運営法人名	設置場所	整備手法	予定定員
ドリームワールド(株)	弥勒寺3丁目	新築物件を賃借して改修	78人
(株) KAKA	朝日町		64人
(有) HARMONIE	藤沢		70人
(株) ストーブカンパニー	鶴沼石上2丁目		61人
(株) クローバーホールディングス	鶴沼石上1丁目	既存物件を賃借して改修	90人

○西南地区

運営法人名	設置場所	整備手法	予定定員
(株) こどもの森	辻堂1丁目	新築物件を賃借して改修	60人

○北部地区

運営法人名	設置場所	整備手法	予定定員
(株) モード・プランニング・ジャパン	湘南台7丁目	新築物件を賃借して改修	60人
(株) セリオ	湘南台4丁目		60人

2. 小規模保育事業所整備 131,250 千円

○東南地区

運営事業者名	設置場所	整備手法	予定定員
(株) SacraFelice	鶴沼桜が岡1丁目	新築物件を賃借して改修	19人

○西南地区

運営事業者名	設置場所	整備手法	予定定員
(株) スクルドアンドカンパニー	辻堂元町5丁目	新築物件を賃借して改修	19人
(株) ソーシエ	辻堂元町1丁目		19人
(株) ソリッドワン	辻堂新町1丁目	既存物件を賃借して改修	19人
	辻堂新町1丁目		19人

※ (株) ソリッドワンは2施設整備

3. 既存認可保育所の再整備 17,250 千円

- ・運営法人 (有) 藤沢ベビーセンター
- ・所在地 藤沢145
- ・定員 56人(15人増)
- ・開所予定 令和3年4月

(新) 4. 幼稚園送迎ステーション事業 18,702 千円

- ・運営法人 (株) オフィスエム
- ・所在地 湘南台2丁目
- ・開所予定 令和2年10月
- ・開所時間 (通常) 7時～9時30分・18時～19時(延長: 19時～20時)
(幼稚園休業期間) 7時～20時(延長含)
- ・定員 21人(3歳児7人、4歳児7人、5歳児7人を予定)
- ・提携施設 湘南台幼稚園

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
87,277	212,836	662,933	833,604	1,796,650	

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05			保育課		
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費	重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,338,992	168,470	135,442		90,480	1,944,600
令和元年度	2,021,550	124,793	131,822		89,659	1,675,276
対前年度	317,442	43,677	3,620		821	269,324
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				81,578
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				86,892
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金				14,131
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				81,578
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				12,642
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				19,696
	(県支出金)	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金				4,845
	(県支出金)	短時間保育士雇上事業費補助金				2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				90,284
	(その他)	法人立保育所用地賃貸料収入				196

＜拡充事業＞ 保育士人材確保策の強化（就職支援補助金の新設、奨学金返済補助金及び宿舍借り上げ支援事業補助金の対象拡大）

【施策等を必要とする背景】

現在、本市では待機児童が生じていることから、藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）に基づき、保育所の新設整備や既存保育施設の定員拡大等の取組を進めている。しかしながら、待機児童の解消を図るためには、施設整備等による受け皿の確保だけでなく、そこで働く保育士の確保が不可欠であることから、これらを待機児童対策の両輪として取組を進めている。

近年、全国的に保育士不足が顕著となる中、本市においても保育士不足により平成31年4月の保育施設入所選考において83人の児童の受け入れに影響が生じており、保育士確保に向けた取組が急務となっている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
- 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
- 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
- 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
- 平成30年10月 現在、保育に従事していない保育士資格保有者（潜在保育士）の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業を実施
- 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数を拡大
- 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布

これまで保育士の安定確保に向けて様々な事業を実施してきたが、依然として保育士不足の状況が続いていることから、保育所で働く現役保育士や関係団体の意見等を踏まえ、新たな支援事業の実施や既存事業の対象拡大等について検討を進めた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）＜令和2年度～令和6年度＞（案）

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

保育士が安定的に確保されることにより、施設整備等による保育の受け皿確保と相まって、待機児童の解消が図られるとともに、保育の質の確保とその向上につながる。

2. 将来にわたる費用

事業の拡充に要する費用については、待機児童数の動向に応じて継続的な支出が必要となる。

【事業概要】

法人立認可保育所の保育内容の向上及び施設運営の安定を図るため、認可保育所設置者に対し、保育所の運営費等を助成する。併せて、特別保育や保育士確保に向けた各種補助事業等を実施する。

1. 法人立保育所運営等業務委託等 1,890,795 千円
市内法人立認可保育所に対する人件費及び安定した施設運営を図るための管理費のほか、一時預かりや病児・病後児保育、年度限定保育などの特別保育の実施に要する経費等
2. 保育士確保に向けた事業 84,736 千円
＜保育士への支援事業＞
 - (新) ・保育士就職支援補助金 1,350 千円
本市の認可保育施設への就職を希望する県外在住の保育士が、市内の法人立認可保育所等に面接等で来所する際に要する交通費（上限5万円）及び就職に至った場合の引っ越し費用等（上限10万円）を補助する。
 - (拡) ・保育士奨学金返済補助金 6,075 千円
奨学金制度を利用して保育士資格を取得し、市内の法人立認可保育所等に就職した保育士に対し、奨学金の返済に要した費用の1/2（上限20万円）を3年間補助する。令和2年度から補助対象者を新卒者のみから採用後5年目の職員まで拡大する。
 - ・潜在保育士保育体験費用補助金 50 千円
市内保育施設への復職を希望する潜在保育士に対し、公立保育所での保育体験に要する交通費及び検査費を補助する。＜保育所等への支援事業＞
 - (拡) ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 51,660 千円
保育士のための宿舍借り上げを行う市内の法人立認可保育所等に対し、当該費用の3/4（月額上限61,500円）を雇用開始後10年間補助する。令和2年度から対象となる宿舍の所在地要件を拡大するとともに、1施設当たりの補助対象者数を3人から5人へ拡大、また補助対象施設を法人立認可保育所のみから小規模保育事業所まで拡大する。
 - ・保育士等確保事業補助金 25,003 千円
市内で認可保育所を設置運営する法人に対し、保育士等の人材確保を図るために要した広告経費、出張旅費及び人材派遣手数料の一部を補助する。＜その他の事業＞
 - ・保育士募集案内用リーフレット及びチラシの作成等 598 千円
3. 法人立保育所特別経常費補助金 54,822 千円
施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、償還元金の一部を補助する。
4. 法人立保育所の設置運営に係る経費の補助 176,875 千円
土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。
 - ・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金 14,285 千円
 - ・分園設置運営補助金 10,000 千円
 - ・保育所建物設置賃借料補助金 152,590 千円
5. 認可保育所事務負担軽減補助金 16,498 千円
6. 湘南C-X内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料等 103,422 千円
7. 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費 8,912 千円
8. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費等 2,932 千円

（この事業は令和元年度9月補正で増額した事業）

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05			保育課		
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	2,348,582	178,060	135,442		90,480	1,944,600
補正額	13,247	0	0		0	13,247
補正後の額	2,361,829	178,060	135,442		90,480	1,957,847

【補正事業概要】

新型コロナウイルス感染症対策として実施した市内認可保育施設利用者への登園自粛要請に伴い、各施設が行った給食食材料費の減免に係る経費の一部を補助する。

1. 給食食材料費の減免に係る経費の補助 13,247 千円
- ・対象者 市内法人立認可保育所（66施設）の代表者
市内小規模保育事業所（3歳児の受入れを実施する8事業所）の代表者
 - ・対象月 令和2年4月から登園自粛要請期間の終了日が属する月まで
 - ・対象経費 給食食材料費（2号認定児（3～5歳児））の減免に伴う食材購入経費の損失額
 - ・補助額（対象児童1人・1月当たり）
当該月の減免額 × 食材購入経費の損失割合
※損失割合は、保育料の算定基準日数（25日）に対し、緊急事態宣言の発令日及び継続決定日から1週間（6日）は食材購入計画への影響があったものとして「25分の6」を基本とし、各施設における減免の実施方法に応じて次のとおりとする。
 - ①減免額を開所日数の2分の1単位で算出した場合：25分の6
 - ②減免額を開所日数の4分の1単位で算出した場合：25分の9
 - ③減免額を開所日数に対して日割りで算出した場合：25分の12

（参考1）各施設における減免の実施方法

減免額の算出は、登園自粛日数に応じて区分した減免割合によるものとし、各施設において最低限行うべき減免の基準を「1カ月当たりの登園自粛日数が開所日数の2分の1以上となった場合、月額2分の1を減免」とし、実施方法の詳細は施設ごとに定めることとする。

（参考2）公立保育所の減免額の算出方法（開所日数の4分の1単位での減免）

1カ月当たりの登園自粛を行った日数	減免割合 (減免額)			減免後の額
	4月	5月	6月	
0日から 開所日数の1/4未満	0～6日	0～5日	0～6日	なし (▲0円) ※減免なし
開所日数の1/4以上 1/2未満	7～12日	6～11日	7～12日	1/4 (▲1,125円)
開所日数の1/2以上 3/4未満	13～18日	12～17日	13～19日	1/2 (▲2,250円)
開所日数の3/4以上 (全日自粛した場合を除く)	19～24日	18～22日	20～25日	3/4 (▲3,375円)
全日（全開所日を自粛）	25日	23日	26日	全額 (▲4,500円)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,824,398	1,802,689	2,021,550	2,361,829	8,010,466	

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,618	2,266	2,266	0	0	4,086
令和元年度	242,010	55,362	27,140	96,800	24,439	38,269
対前年度	△ 233,392	△ 53,096	△ 24,874	△ 96,800	△ 24,439	△ 34,183
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,266
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,266

【事業概要】

第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、設置運営事業者の公募を行うとともに、(公財)藤沢市みらい創造財団と連携して放課後児童クラブを整備する。
また、大越小学校区の放課後児童クラブ新設のため、元医師公舎の解体撤去工事を行う。

- 1. 放課後児童クラブの整備 2,000 千円
第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき移転1カ所の整備を行う。

小学校区	整備手法	備考
大道	藤が岡二丁目地区再整備事業の複合施設に移転	チンチロ児童クラブ

- 2. 元医師公舎解体撤去工事 4,000 千円
- 3. 移転クラブの旧施設の原状回復 2,500 千円
- 4. 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 118 千円
令和3年4月開所に向け放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者等に対し選考委員会委員報酬を支払う。

(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	8,618	2,266	2,266			4,086
補正額	23,579	14,332	4,033			5,214
補正後の額	32,197	16,598	6,299			9,300
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				600
		子ども・子育て支援整備交付金				13,732
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				600
		子ども・子育て支援整備交付金				3,433

【補正事業概要】

第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、大越小学校区において設置運営事業者の公募を実施し、選定した事業者に対して整備に係る費用の一部を負担する。

1. 放課後児童クラブの整備 23,579 千円
- ・整備小学校区 大越小学校
 - ・定員 60人
 - ・開所予定 令和3年4月

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
77,525	115,997	242,010	32,197	467,729	

民生費

事業名	小児医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,819,803		238,848		136	1,580,819
令和元年度	1,796,455		233,910		139	1,562,406
対前年度	23,348		4,938		△ 3	18,413
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				238,773
	(県支出金)	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業費補助金				75
	(その他)	高額療養費還付金				111
	(その他)	第三者行為損害賠償金				25

【事業概要】

小児の健康増進と子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生までの児童の入通院に係る医療費を助成する。なお、中学生についてのみ児童手当と同基準の所得制限を設ける。また、小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活用具を給付する。

1. 医療費助成（扶助費） 1,760,905 千円
 対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。
 未就学児分 840,327千円 受診件数見込み 485,618件
 小学生分 741,428千円 受診件数見込み 342,501件
 中学生分 179,150千円 受診件数見込み 64,505件
2. 審査支払手数料 56,164 千円
 小児医療証取扱分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料
 件数見込み 887,832件
3. 小児医療助成費事業事務経費 2,584 千円
 旅費、需用費、委託料、賃借料
4. 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付 150 千円
 件数見込み 2件

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
	43,448	210,241	185,022	438,711	

民生費

事業名	子どもの生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,276	3,784				4,492
令和元年度	9,508	0				9,508
対前年度	△ 1,232	3,784				△ 5,016
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				3,784

【事業概要】

経済的に困難を抱えるなど、養育環境に課題がある家庭の子どもに、夕方から夜までの時間を安心して過ごすことができる場を提供し、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行うことで、子どもの豊かな人間性や社会性を育む事業を実施する。

1. 子どもの生活支援事業業務委託 8,276 千円
 <実施場所> 市内2カ所
 <実施日数> 月12日以上（平日の夜間等に実施）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
8,124	8,124	9,508	8,276	34,032	

民生費

事業名	子ども・若者育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 06 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-3-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,490		676			10,814
令和元年度	11,385		676			10,709
対前年度	105		0			105
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				676

【事業概要】

ニート・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、きめ細かな相談により若者一人ひとりと向き合い、それぞれの状況に応じた自立を支援する事業を実施する。

また、学校教育相談センター等と連携し、中学校卒業後の進路未決定者等について相談等の引き継ぎを行い、切れ目ない支援を実施することで、社会的自立を支援する。

1. 若者サポート事業業務委託 11,490 千円

困難を有する若者や家族からの相談に対して専門スタッフがきめ細かな面談（カウンセリング）を行い、個々の状況に応じた自立に向けて、ユースワークふじさわや関係機関等と連携を図りながら継続的に支援を実施する。

(1) 対象者

市内在住・在勤・在学の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族

(2) 支援内容

- ・ 専門スタッフによる電話・来所・Eメールによる相談、地域出張相談
- ・ 自立に向けた具体的な個別支援計画の作成
- ・ 福祉、保健・医療、就労的自立支援等の個別機関・団体等への引き継ぎ及び同行支援
- ・ 学校教育相談センターや各学校との連携による切れ目ない支援

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
11,666	11,320	11,385	11,490	45,861	

労働費

事業名	就労支援事業費						
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02			産業労働課			
指針体系コード	3-3-31		まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	29,006						29,006
令和元年度	28,532						28,532
対前年度	474						474

【事業概要】

就労支援事業として、困難を有する若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」及び求職者や勤労者を対象とした就労支援・資格取得講座を実施する。また、地域の雇用状況の改善を図るため、求職者を対象として、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,412 千円
 ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若者を対象に、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加、就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。また、その保護者を対象にセミナーや相談を実施する。
 - (1) 対象者
市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から39歳の若者とその家族
 - (2) 支援内容
 - ①各種相談
・専門スタッフによる相談
・個別継続支援
 - ②就労準備応援
・社会参加プログラム（コミュニケーションワークショップ、生活・金銭管理講座等）
・就労準備セミナー、職業訓練プログラム（職業適性検査、マナー講座等）
 - ③就労応援
・就労支援プログラム（パソコン教室、職業人セミナー等）
・社会体験（ボランティア体験）・就労体験
 - ④就労後応援・家族応援
・電話・来所・Eメールによる相談・定着支援
・家族交流会やセミナーの実施

2. 就労支援・資格取得講座 11,305 千円
 就職氷河期世代、女性、障がい者などに向けた就労支援セミナー、資格取得講座、キャリアデザインセミナーなど就労支援事業を実施する。

3. 湘南合同就職面接会 289 千円
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
16,884	16,884	17,041	17,412	68,221	

教育費

事業名	奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 11			教育総務課		
指針体系コード	3-3-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,996				7,680	316
令和元年度	5,837				5,520	317
対前年度	2,159				2,160	△ 1
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				7,680

【事業概要】

意欲と能力のある高校生等が、経済的理由により進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られるよう、給付型奨学金制度を実施するとともに、医学部・歯学部を進学対象とした白石敬子奨学金についても継続して実施する。

また、令和2年4月から始まる国の高等教育修学支援新制度において、大学等における授業料等減免制度の創設と給付型奨学金の拡充が実施されることから、本市独自の給付型奨学金を見直し、対象世帯と給付人数を拡充する。

- (拡) 1. 奨学金の給付 7,680 千円
 これまでに選考した奨学生に対し、学費奨学資金を給付するとともに、面談等により入学後のアフターフォローを行う。
 また、新たな奨学生を募集し、入学準備奨学資金を給付する。
 ・学費奨学資金 6,480 千円
 ・入学準備奨学資金 1,200 千円
2. 奨学金給付審査委員会委員報酬 148 千円
 奨学生の選考等に関する審査を行う奨学金給付審査委員会委員に対して、日額報酬を支払う。
3. 奨学金関係事務経費 168 千円
 奨学金給付事業に必要な事務用品等

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
963	3,403	5,837	7,996	18,199	

民生費

事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 23 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-1-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,115	582				1,533
令和元年度	2,205	582				1,623
対前年度	△ 90	0				△ 90
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				582

【事業概要】

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまちをめざし、市民、地域で活動する団体・事業者等と行政との協働により、13地区ごとの特性を活かした支えあいの地域づくりと、その取組を支える仕組み・連携体制づくりを中心とした、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。

- 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777 千円
市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る（年4回）。
- 藤沢型地域包括ケアシステムの普及啓発 744 千円
藤沢型地域包括ケアシステムの基本理念を共有し、市民一人ひとりが地域社会の一員として地域づくりについて考え、取り組むきっかけづくりとして、身近なテーマを切り口としたシンポジウムやワークショップを開催し、啓発リーフレット等の作成・配布による普及啓発を図る。
- 認知症に関するVR体験の実施 594 千円
地域住民へ認知症等の当事者の視点や感情を自分事として強く実感できる機会をつくるため、各地区でのVR体験会及び講義を実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,091	1,135	2,205	2,115	6,546	

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	44,901	27,080				17,821
令和元年度	49,561	27,897				21,664
対前年度	△ 4,660	△ 817				△ 3,843
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				1,478
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				25,602

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

1. 自立相談支援事業（必須事業） 351 千円
 《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら、相談支援を一体的かつ計画的に行う。
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
 本庁（福祉総合相談支援センター）及び北部福祉総合相談室で実施

2. 住居確保給付金の支給（必須事業） 1,056 千円
 《事業内容》離職者の住居を確保し、就職活動を支えるため、家賃相当額を支給する。
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）

3. 就労準備支援事業（任意事業） 14,569 千円
 《事業内容》就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立の段階から支援を行う。
 《実施方法》委託事業として実施

4. 家計改善支援事業（任意事業） 9,019 千円
 《事業内容》家計管理に関する相談と指導、及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付のあっせん等の支援を行う。
 《実施方法》委託事業として実施

5. 子どもの学習・生活支援事業（任意事業） 18,104 千円
 《事業内容》市内3地区（北部・東部・西部）を拠点にして、生活困窮家庭の子どもへの学習支援、居場所づくり、及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を、学校等の支援機関と連携して行う。また、保護者を対象とした相談等による生活環境の向上を図るための支援を行う。
 《実施方法》委託事業として実施

6. 一時生活支援事業（任意事業） 1,802 千円
 《事業内容》住居のない生活困窮者であって、所得が一定水準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。
 《実施方法》県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	44,901	27,080				17,821
補正額	25,920	19,440				6,480
補正後の額	70,821	46,520				24,301
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				19,440

【補正事業概要】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金の対象者が拡大されたことにより、申請件数が当初見込みを上回ることから増額補正を行う。

1. 住居確保給付金の支給 25,920 千円
 離職又は廃業と同程度の状況にある者の住居を確保するため、家賃相当額を支給する。

<支給基準>

世帯人数	収入基準額	支給上限額
1人	125,000円	41,000円
2人	179,000円	49,000円
3人	225,000円	53,000円
4人	267,000円	53,000円
5人	308,000円	53,000円

住居確保給付金のご案内

休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれが生じている方々について、原則3ヶ月、最大9ヶ月、家賃相当額を自治体から家主さんに支給します。

市役所 → 家主さんに直接家賃をお支払い!

申請できる方は

これまで
離職・廃業から2年以内の方

令和2年4月20日以降
離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、住居を失うおそれがある方

4月30日からはさらに使いやすく

ハローワークへの求職申込みが不要に

住居確保給付金申請のご相談は
最寄りの自立相談支援機関まで

※藤沢市にお住いの方
バックアップふじさわ：0466-50-3533

【藤沢市 住居確保給付金パンフレット】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
100,309	119,821	49,561	70,821	340,512	

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	565,413	135,324	79,925		5,868	344,296
令和元年度	605,393	144,786	86,985		7,914	365,708
対前年度	△ 39,980	△ 9,462	△ 7,060		△ 2,046	△ 21,412
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				135,324
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				67,663
	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				12,262
	(その他)	障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,868

<拡充事業> 相談支援事業の充実

【施策等を必要とする背景】

発達障がいの相談に対応するためには専門的な知識や経験を必要とし、当事者や支援者等の相談に対し早期対応ができる体制が求められているが、年々相談件数が増加しており、相談支援専門員等相談従事者の人的不足のため必要時、直ちに相談が受けられない現状がある。

迅速な相談対応と発達障がいに関する事業所支援を行い、地域での市民・支援者に対する発達障がいの理解を促進するため、相談支援事業所リートの人員を増員し、専門相談支援事業所としての相談支援・ネットワーク構築・普及啓発事業等を効率的に実施する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

平成29年度に「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」策定のために実施した「パブリックコメント」において、発達障がいの専門的な支援体制の強化が求められている。また、平成30年度に藤沢市障がい者総合支援協議会で実施したライフステージにおける支援課題についての調査において、発達障がい者及びその家族等への相談支援体制強化に対する要望が出ている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」策定における「パブリックコメント」及び藤沢市障がい者総合支援協議会で協議された「ライフステージにおける支援課題についての調査」

【市の策定する計画や条例との整合性】

「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」第6章「第5期ふじさわ障がい福祉計画」

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- ・早期対応できる体制を整備することにより、当事者やその家族、支援者が必要なタイミングでアドバイスを受けられるようにする。
- ・地域のサービス提供事業所や相談支援事業所が発達障がいに関する知識を獲得することで専門相談につながるまでの事前アセスメントが進み、地域での対応が可能となる。
- ・地域の支援者がより発達障がいについての知識を有することで、地域における発達障がいの理解促進につながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込み額は次のとおり

令和3年度以降 障がい者相談支援事業（発達） 24,225千円

【事業概要】

障がい児者の自立のため、障がい者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の状況に応じた事業（地域生活支援事業）を実施する。

- | | |
|---|------------|
| 1. 手話通訳等の派遣・設置 | 3,834 千円 |
| 聴覚障がい者等に対し、手話通訳者又は要約筆記者の派遣及び配置を行う。 | |
| (拡) 2. 障がい者相談支援事業の実施 | 95,854 千円 |
| 障がい児者及びその家族の地域生活を支援するための相談支援事業を実施するほか、発達障がいに関する相談支援体制を強化し、関係機関のネットワーク構築を図る。 | |
| 3. 日常生活用具の給付 | 117,564 千円 |
| 重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。 | |
| 4. 移動支援事業の実施 | 140,032 千円 |
| 屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。 | |
| 5. 日中一時支援事業の実施 | 29,480 千円 |
| 障がい児者の日中活動の場を確保し、一時的な支援を行う。また、夕方以降の支援の場を確保することで、障がい者の日常生活の安定と介護者の負担軽減を図る。 | |
| 6. 訪問入浴事業の実施 | 53,004 千円 |
| 自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。 | |
| 7. 手話講習会事業等の実施 | 1,837 千円 |
| 手話講習会、要約筆記体験会を実施する。 | |
| 8. 障がい児者一時預かり事業 | 33,814 千円 |
| 緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。 | |
| 9. 障がい者虐待防止センターの運営等 | 424 千円 |
| 障がい者虐待防止法にかかる普及啓発等を行う。 | |
| 10. 地域活動支援センターへの運営費等の助成 | 86,030 千円 |
| 11. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 | 2,100 千円 |
| 12. 居室確保事業 | 1,440 千円 |
| 介護者の不在等、緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の一時的な居室を提供する。 | |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
81,986	89,452	90,588	95,823	357,849	

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01	介護保険課				
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	14,317		84			14,233
令和元年度	15,023		0			15,023
対前年度	△ 706		84			△ 790
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分) 事業費補助金				84

【事業概要】

高齢者一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスを継続的に提供できる環境づくりに向け、介護職員初任者研修等の受講者及び特別養護老人ホーム、地域密着型サービス事業所等の介護職員等の資格取得や研修参加などへの支援を行うことで、介護人材の確保と技能の向上を図る。

(拡) 1. 介護職員等研修受講料助成事業 400 千円
 介護職員初任者研修又は介護支援専門員実務研修の修了後、市内の介護事業所等に6カ月以上就労した市民に対し、当該研修受講料の一部を助成する。
 (研修受講料の2分の1以内・上限2万円)

(拡) 2. 特別養護老人ホーム等人材育成定着事業 10,267 千円
 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び介護老人保健施設を運営する法人に対し、介護職員等の資格取得や研修への参加、職員募集に関する事業及び介護ロボット・ICT導入に係る費用の一部を助成する。(1施設当たり上限100万円)
 ※ICT導入については、Wi-Fi設備の環境整備を補助対象とする。

(拡) 3. 地域密着型サービス事業所人材育成定着事業 2,148 千円
 地域密着型サービス事業所を運営する法人に対し、介護職員等の資格取得や研修への参加及び介護ロボット・ICT導入に係る費用の一部を助成する。
 (1事業所当たり上限10万円)
 ※ICT導入については、Wi-Fi設備の環境整備を補助対象とする。

(新) 4. 外国人留学生又は技能実習生への住居・生活必需品費支援事業 1,320 千円
 介護福祉士資格の取得をめざす外国人留学生又は技能実習生を新たに受け入れる特別養護老人ホームやグループホーム等を運営する法人に対し、住居及び生活必需品に係る費用の一部を助成する。
 ・住居費 (1人当たり上限月額1万円・6カ月)
 ・生活必需品費 (1人当たり上限5万円)

(新) 5. その他の介護人材育成支援事業 182 千円
 (1) 介護事業所の見学&しごと相談会(バスツアー事業)
 バスで市内介護事業所を巡り、事業所内見学と就職相談会を行う事業を、ハローワーク藤沢との共催により実施する。
 (2) 介護のしごと出前授業
 市内中学校からの依頼により、介護事業所の職員が学校を訪問して、介護の仕事内容や体験、やりがい等についての講演会などを実施する。
 (3) 介護労働環境の改善プロジェクト事業
 経済部主導による「藤沢市ロボット未来社会推進会議」の部会に位置づけられている介護労働環境プロジェクト事業を進めるにあたって、介護事業所の職員とともに、介護ロボット・ICTを先進的に導入している施設の視察研修等を行う。

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
12,046	15,023	15,023	14,317	56,409	

民生費

事業名	成年後見制度等推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-1-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	38,150	6,293	6,175			25,682
令和元年度	37,433	3,875	6,441			27,117
対前年度	717	2,418	△ 266			△ 1,435
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				4,197
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				2,096
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				2,098
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				4,077

【事業概要】

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制の充実を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援事業の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

1. 市民後見人養成事業業務委託 4,234 千円
適正かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
2. 成年後見制度利用促進事業業務委託 6,857 千円
中核機関としての機能である権利擁護の地域連携ネットワークの充実やチーム支援の実施、さらに成年後見制度の周知や情報発信を目的とした広報活動など、成年後見制度利用促進に向けた体制整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
3. ふじさわあんしんセンターに対する補助等 19,625 千円
成年後見制度利用支援体制の構築に係る補助及び日常生活自立支援事業に対する事業費補助
4. 後見人に対する報酬等 7,000 千円
成年後見人等への報酬助成
5. その他旅費等 434 千円
市長申立てによる審判請求
親族等の申立てによる審判請求に係る手続費用の支援

※ 成年後見制度相談事業業務委託及び高齢者を対象とする成年後見制度利用支援事業は、介護保険事業費特別会計にて実施

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
		7,591	6,857	14,448	R元年度から重点事業

民生費

事業名	包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-1-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	94,866	69,583				25,283
令和元年度	84,140	60,683				23,457
対前年度	10,726	8,900				1,826
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				44,631
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				24,952

<拡充事業> コミュニティソーシャルワーカーの配置拡充（13地区への配置）

【施策等を必要とする背景】

「藤沢型地域包括ケアシステム」では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等すべての市民を対象とすることを基本理念の一つとし、13地区の特色にあわせそれぞれの地域の課題に対するきめ細かな対応を掲げている。そのため、平成28年度から生活困窮者自立支援事業を活用し、各地区においてその特色を生かし、地域のニーズに即した支えあいの地域づくりを関係機関・地域団体等と協力して進めていくコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置を進めてきた。CSWが、民生委員・児童委員をはじめ地域に根差した活動を行う団体や専門支援機関等と顔の見える関係をつくり連携体制を充実させることで、既存の相談窓口には来所できずにいた困りごとを抱えている人や世帯の早期把握、インフォーマルな活動への支援などを配置地区において順次進めており、顕在化していなかった支援ニーズが明らかになってきたこと等、地域の関係者からはより一層の体制の充実などが求められている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成28年4月 藤沢市社会福祉協議会に自立相談支援事業を委託し、「バックアップふじさわ社協」を開設するとともに、3地区（六会、湘南大庭、鶴沼）にモデル配置
- 平成29年4月 新たに2地区（村岡、長後）に配置し、計5地区に配置
- 平成30年4月 新たに3地区（善行、辻堂、御所見）に配置し、計8地区配置
- 平成31年4月 新たに3地区（明治、片瀬、遠藤）に配置し、計11地区配置

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）】

「地域福祉を推進するためのコーディネーターとなりうる人材の育成・確保」「地域における福祉相談窓口の充実」にCSWの配置、活動を位置づけている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

CSWの配置を拡充することにより、困難を抱えた人の早期把握と各地区のさまざまな支援機関との連携による包括的な相談支援が可能となるとともに、支えあいの地域づくりにもつながり地域の特性を生かした藤沢型地域包括ケアシステム推進の一助となる。

2. 将来にわたる費用

現体制を維持した場合においても、人件費上昇分の増額が見込まれる。

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を藤沢市社会福祉協議会への業務委託により実施する。
 なお、本事業の実施により、CSWを13地区に配置する。

- (拡) 1. 自立相談支援事業 (必須事業) 59,509 千円
 《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、地域の中で孤立する世帯に対し専門的な支援につなげる個別支援を行うとともに、地域のさまざまな活動団体に対する支援を行うことで、地域の特性を生かした地域づくりを行う。
2. 共助の基盤づくり事業 (任意事業) 6,256 千円
 《事業内容》身近な地域で誰もが安心して生活していくために、住民相互の支えあいによる共助の取組を活性化し、これらを地域全体で支える基盤を構築する。
3. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業 (任意事業) 19,154 千円
 《事業内容》多分野にわたる相談支援機関の連携体制及び多職種間の連携・協働の体制を構築し、複合的な課題を抱える者に対する支援をコーディネートする。
4. 地域力強化推進事業 (任意事業) 9,947 千円
 《事業内容》住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援し、その活動を通して把握された個別課題を包括的に受け止め、必要に応じて支援機関につなぐことができる体制を構築する。

(参考) 本委託業務の実施体制

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
主任相談支援員 (※)	1人	1人	1人	1人	1人
相談支援員 (※)	3人	5人	8人	11人	13人
CSW配置地区数	3地区	5地区	8地区	11地区	13地区

※ 相談支援員はCSWとして配置し、令和2年度は主任相談支援員をCSW統括として配置するため、14人で13地区の体制となる。
 また、令和元年度からCSWは第2層生活支援コーディネーター（介護保険事業費特別会計）を兼務する。

[事業費 (事務事業中の重点事業分)]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
		84,140	94,866	179,006	R元年度から重点事業

事業名	(新) 地域福祉プラザ運営事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 08 説明 02			福祉健康総務課		
指針体系コード	4-1-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	91,295	1,795				89,500
令和元年度	0	0				0
対前年度	91,295	1,795				89,500
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				1,795

【施策等を必要とする背景】

藤沢型地域包括ケアシステムの取組を推進し、本市がめざす、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けることができる「地域共生社会」を実現するため、地域づくりに参加する多様な主体への支援や、地域活動の担い手の育成、交流の場の整備等を目的とした地域福祉の推進拠点が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

福祉拠点の整備については、市の総合計画への位置付けを行った経過、また「藤沢市地域福祉計画2020」の基本目標2「お互いが見守り、支えあい、つながる地域づくり」の「障がい者団体等の活動支援や人材育成を行う拠点の整備」、さらに「藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）」の「福祉団体の活動場所の整備・活動支援」として位置付けられ、公共施設再整備を進める中で、分庁舎の再整備において具体化することとなった。

平成30年1月 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会で報告
 令和元年9月 藤沢市議会定例会厚生環境常任委員会で報告

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

障がい者団体をはじめとする関係団体から要望のあった活動室等の機能を踏まえ、施設のバリアフリー対応等について意見聴取を行った。また、地域福祉計画推進委員会において、地域福祉プラザの整備に関する課題の共有を図った。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）】

「福祉団体の活動場所の整備・活動支援」に分庁舎再整備における福祉拠点整備を位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、多様な主体の活動拠点が整備されるとともに、地域福祉における担い手の育成が図られる。また、地域資源情報を集約し、福祉情報の配信を実施することで、様々な支援関係機関との連携による包括的な支援体制の充実が図られる。

2. 将来にわたる費用

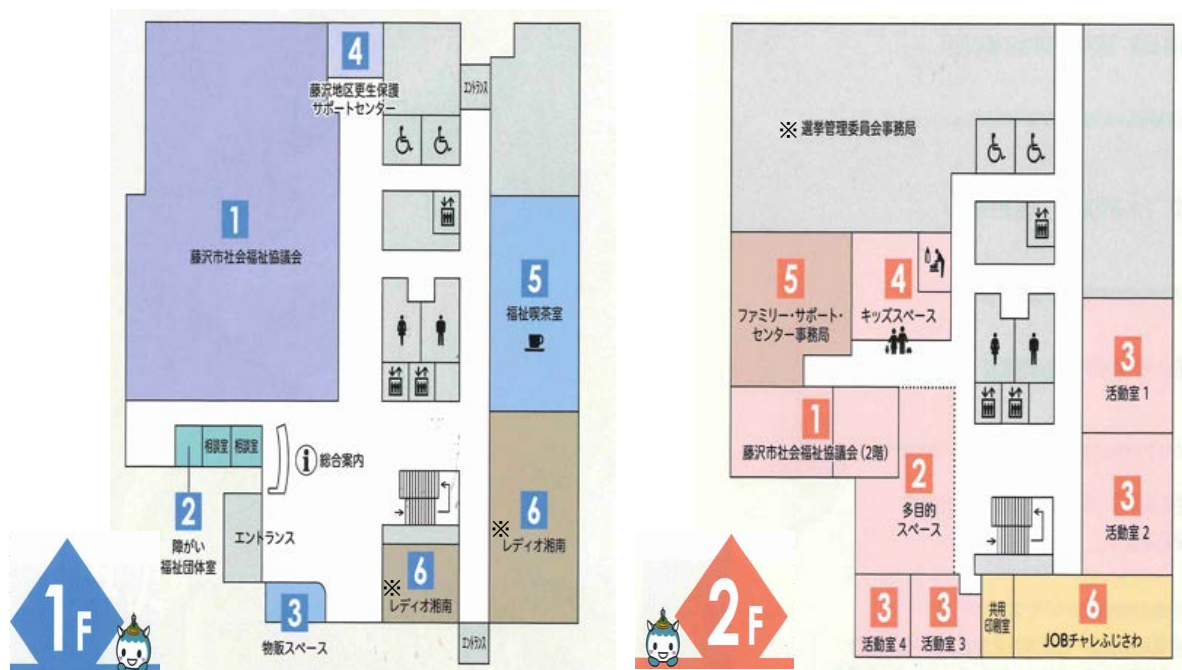
地域福祉プラザの運営に係る藤沢市社会福祉協議会職員の人件費及び福祉情報を配信するためのサイトの保守費用

【事業概要】

本市がめざす、地域住民や多様な主体の参加による、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、地域住民等のネットワークの拠点として、また、世代や属性を超えた総合支援拠点として藤沢市役所分庁舎1階及び2階において「地域福祉プラザ」の運営を行うにあたり、連携の中心となる藤沢市社会福祉協議会に対して、職員の人件費や事業経費を補助する。

1. 藤沢市社会福祉協議会が地域福祉プラザで実施する事業費の補助 91,295 千円
- (1) 職員人件費補助 85,018 千円
- (2) 地域福祉活動センターの運営 1,712 千円
福祉に係るボランティア団体の担い手育成を行う藤沢市社会福祉協議会の「ふじさわボランティアセンター」の機能拡充を行い、新たに「地域福祉活動センター」を組織し、ボランティア及び障がい者をはじめとする当事者会及び家族会等の団体支援事業を実施する。
- (3) 福祉情報配信の取組 4,231 千円
障がい者をはじめとする当事者会や福祉に係るボランティア団体等の活動情報や福祉行政に係る事業等の情報を配信する。
- (4) 社会参加スペースの運営 271 千円
既存の社会参加の機会において、その環境に配慮を要する者等を対象として、居場所の提供やボランティアや就労体験等の事業を実施する。
- (5) その他事務経費（役務費） 63 千円

【地域福祉プラザの配置図（市役所分庁舎）】



※ラジオ湘南及び選挙管理委員会事務局を除く

【地域福祉プラザの主な機能】

- 総合相談ほか地域福祉プラザの連携機能 藤沢市社会福祉協議会
- 障がい者の社会参加 福祉喫茶室、物販スペース、障がい福祉団体室、JOBチャレふじさわ
- 高齢者の社会参加 藤沢市老人クラブ連合会事務局（藤沢市社会福祉協議会内）
- 再犯防止の取組 藤沢地区更生保護サポートセンター、藤沢地区保護司会事務局（藤沢市社会福祉協議会内）
- 子育て支援機能 ファミリー・サポート・センター事務局、キッズスペース

（前年度の地域福祉推進事業費から分離した事業）

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
			91,295	91,295	R2年度新規

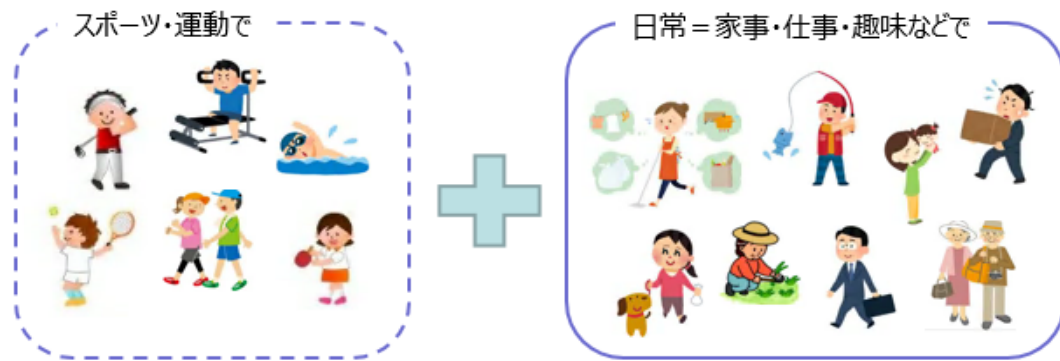
衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01	健康増進課				
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	86,014	6,488	2,441			77,085
令和元年度	96,368	7,242	2,441			86,685
対前年度	△ 10,354	△ 754	0			△ 9,600
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				831
	(国庫支出金)	地方創生推進交付金				4,339
	(国庫支出金)	国民健康・栄養調査委託金				1,318
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441

【事業概要】

藤沢市健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 1,040 千円
健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議
2. がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 72,158 千円
身体活動・運動、栄養・食生活、歯・口腔等の健康づくりに関する7分野の普及啓発、人材育成等の各種事業を実施する。
 - ・健康づくりに関する健康教育や健康相談の実施
 - ・保健医療センターの専門職による健康増進事業の実施
 - ・市民活動団体の育成及び健康づくり応援団事業の実施
 - ・健康づくりに関する普及啓発の実施
3. 健康増進法に基づく国民健康・栄養調査の実施 1,319 千円
4. 健康増進法に基づく受動喫煙防止対策及びタバコ対策事業の実施 2,432 千円
- (拡) 5. 健康寿命日本一をめざすリーディングプロジェクトの推進 9,065 千円
健康寿命のさらなる延伸に向け、健康増進計画（第2次）の中間評価において課題となった身体活動の促進を図るため、「（仮称）ふじさわ歩くプロジェクト」をスタートし、家事や仕事、趣味など日常生活のあらゆる行動も「運動」につながるという「気づき」を促すとともに、歩くことが楽しくなる環境づくりを展開する。



→ 先ずは歩こう

『(仮称)ふじさわ歩くプロジェクト』

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
75,576	79,586	96,368	86,014	337,544	

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03	健康増進課				
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	748,042	7,738				740,304
令和元年度	673,007	2,361				670,646
対前年度	75,035	5,377				69,658
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				7,738

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、国の補助による無料クーポン券の配布を継続するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。

- | | |
|---|------------|
| 1. 胃がん検診（実施期間4月～3月） | 145,877 千円 |
| ・40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。 | 57,160 千円 |
| (括) ・50歳以上の該当年齢の市民を対象に内視鏡検査を行う。 | 88,717 千円 |
| 自己負担額は3,000円（バリウムは70歳以上無料） | |
| 2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月） | 13,231 千円 |
| 40～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に採血による検診を行う。 | |
| 自己負担額は1,000円 | |
| 3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月） | 193,957 千円 |
| 20歳以上の女性市民を対象に細胞診検診を行う。 | |
| 自己負担額は2,000円（無料クーポン券対象の20歳、及び70歳以上は無料） | |
| 4. 乳がん検診（実施期間4月～3月） | 107,585 千円 |
| 40歳以上の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。 | |
| 自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（無料クーポン券対象の40歳は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料） | |
| 5. 肺がん検診（実施期間6月～10月） | 112,914 千円 |
| 40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。 | |
| 自己負担額は600円（70歳以上は無料） | |
| 6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月） | 48,125 千円 |
| 40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。 | |
| 自己負担額は600円（70歳以上は無料） | |
| 7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月） | 31,841 千円 |
| 50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。 | |
| 自己負担額は1,000円 | |
| 8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施 | 3,021 千円 |
| 9. がん検診デジタル読影の実施 | 60,841 千円 |
| 胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影において、デジタル読影を実施する。 | |
| 10. その他事務経費 | 30,650 千円 |
| 消耗品費、印刷製本費他 | |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
14,989	14,769	13,585	13,231	56,574	

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	224,958	0		149,100		75,858
令和元年度	339,370	18,000		210,500		110,870
対前年度	△ 114,412	△ 18,000		△ 61,400		△ 35,012
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				149,100

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、「藤沢市健康増進計画」に基づき、健康遊具を増設する。

また、土砂災害警戒区域内に位置する公園の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策工事及び工事実施に向けた設計委託を行う。

- 1. 公園施設の老朽化対策等 64,666 千円
 - (1) 委託料 4,638 千円
 - ・都市公園遊具点検業務委託（271公園）
遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。
 - (2) 工事請負費 13,266 千円
 - ・施設改修工事（長久保公園）
 - ・公園内健康遊具増設工事（烏森公園他5公園）
 - (3) 施設修繕費 29,766 千円
 - 劣化が進んでいる遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
 - (4) 役務費 13,315 千円
 - 公園の適正な維持管理を行うために、老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花であるフジについて、剪定等の管理を実施し、保護及び育成を図る。
 - (5) 事務経費 3,681 千円

- 2. 法面对策 160,292 千円
 - (1) 委託料 22,198 千円
 - ・法面予備設計委託（本在寺公園）
 - ・法面実施設計委託（御所ヶ谷緑地）
土砂災害警戒区域内の法面について、計画的に対策工事を進めるため、予備設計委託及び実施設計委託を行う。
 - (2) 工事請負費 138,094 千円
 - ・法面对策工事（大庭城址公園第2期工区）
土砂災害警戒区域内の法面について、対策工事を行う。

(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	224,958	0		149,100		75,858
補正額	23,562	4,500		0		19,062
補正後の額	248,520	4,500		149,100		94,920
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				4,500

【補正事業概要】

老朽化が進む公園施設について、適切な維持管理により公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、建物（管理棟・トイレ等）を対象に専門業者による点検を実施し、長寿命化計画の更新を行う。

また、土砂災害警戒区域内に位置する公園の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、専門業者による一次調査を行い、総合評価結果に基づく対策実施に向けた年次計画を策定する。

1. 公園施設の老朽化対策
 - ・公園施設長寿命化計画策定業務委託（21公園） 14,553 千円
2. 法面对策
 - ・北窪公園他8箇所法面調査業務委託 9,009 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
156,095	185,283	339,370	248,520	929,268	

総務費

事業名	市民活動支援施設運営管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 02	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	60,195				66	60,129
令和元年度	59,682				66	59,616
対前年度	513				0	513
特定財源の内訳	(その他)	光熱水費実費収入				60
	(その他)	その他雑入				6

【事業概要】

市民活動の自立を推進し、市民活動が活発に行われることを目的として、公益的な市民活動を行い、または行おうとする市民活動団体及び個人を対象に、市民活動の場の提供、情報提供、相談、人材育成等を行う。

- 1. 市民活動推進センター（本館）運営管理 45,163 千円
 - ・ 賃借料 21,376 千円
 - ・ 指定管理者による管理運営（指定管理料） 21,267 千円
 - ・ その他管理運営費（光熱水費、電信電話料等） 2,520 千円

- 2. 市民活動プラザむつあい（分館）運営管理 15,032 千円
 - ・ 指定管理者による管理運営（指定管理料） 14,903 千円
 - ・ その他管理運営費（電信電話料等） 129 千円



市民活動推進センター



市民活動プラザむつあい

市民活動団体の交流機会の開催「プラザdeカフェ」

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
59,331	59,124	59,682	60,195	238,332	

事業名	(新) ミライカナエル活動サポート事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 05	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,505					4,505
令和元年度	0					0
対前年度	4,505					4,505

【施策等を必要とする背景】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化等に起因するこれからの地域課題に対し、主体的に取り組む人材及び団体の育成が求められている。本事業は、従来の公益的市民活動助成事業及びまちづくりパートナーシップ事業提案制度を見直し、市民活動の継続性や発展性に重きを置き、団体の成長過程に応じた側面的な支援を実施するものである。

【提案に至るまでの経緯】

公益的市民活動助成事業及びまちづくりパートナーシップ事業の両制度が平成26年度に制度を変更してから5年が経過したことや市民活動推進計画の見直し時期となったため、市民活動推進委員会において審議を行った。

平成31年4月～10月 市民活動推進委員会において本事業の制度について審議（6回）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

学識経験者や市民活動関係者、事業関係者、市民公募等から構成される市民活動推進委員会で審議が行われた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【市民活動推進計画】

・市民活動推進計画（平成31年4月改定）において、活動資金や運営支援の充実を基本施策に位置づけ、地域課題解決型の市民活動団体の育成施策を実施する。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業は、市民活動の立ち上げ期から発展期まで段階的支援を行うことで、団体の成長を促し、市民活動団体の育成や自立が図られる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和2年度	4,505千円
令和3年度	8,705千円
令和4年度以降	10,705千円

【事業概要】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化を起因とする地域課題へ対応するため、叶えたい未来を想定し、その目的に向かって企画提案する市民活動団体に対し、立ち上げ期から発展期に至るまで、段階的に支援するミライカナエル活動サポート事業を行う。

(拡) 1. 市民活動団体の成長支援及び多様な主体との協働の推進 4,000 千円

市民活動団体の目標や成長度によって、市民活動への「きっかけづくり」から、現在及び将来課題を解決する「NPO等の成長支援」、「多様な主体の協働」まで段階に応じた3つのコースを設けるとともに、事業の提案期から実施期まで活動のサポートを行う。

・対象コース

コース名	支援内容	補助金 (上限)	団体数
① スタート支援コース	市民活動の立ち上げ	一般 200千円	4 団体
		ユース100千円	2 団体
② ステップアップ支援コース	運営基盤強化や事業発展	500千円	3 団体
③ 協働コース	行政との協働	1,500千円	2 団体
	行政以外との協働	1,000千円	1 団体

・事業実施へのサポート

コース	事業名	内容
①、②	伴走支援業務	事業の実効性や団体の継続性を高めるため、活動ビジョンの共有から事業の実施までを伴走する。
③	コーディネート業務	地域で活動する市民活動団体の意向や特性を踏まえ、協働先となる民間法人・行政とのマッチングや事業提案の調整を行う。

・積算内訳

内容	予算額	
① スタート支援コース	1,000千円	
② ステップアップ支援コース	1,500千円	
③ 協働コース (行政との協働)	0円	※
③ 協働コース (行政以外との協働)	0円	※
①、②伴走支援業務委託	1,000千円	
③ コーディネート業務委託	500千円	

※③協働コースの事業開始は令和3年度。令和2年度は審査選考を行う。

(新) 2. 団体の成長や協働を促進する講座及び講演会の開催 100 千円

事業の更なる発展を望む団体を対象に、協働の実践理解を深める講座や資金調達に関する講演会を開催する。

(新) 3. 新たな市民活動への参画を促進するワークショップの開催 405 千円

地域における現状や課題について共有し、実践に向けた洗い出しを行うワークショップを企画及び開催する。

(前年度の公益的市民活動助成事業費と市民協働推進関係費を見直し、統合した事業)

〔事業費 (事務事業中の重点事業分) 〕

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	事業費合計	備考
2,000	2,000	2,295	4,505	37,686	公益的市民活動助成事業費 市民協働推進関係費
9,021	7,967	9,898			

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	27,595	9,944				17,651
令和元年度	30,530	9,209				21,321
対前年度	△ 2,935	735				△ 3,670
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				9,944

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 23,391 千円

(単位：千円)

補助メニュー	団体数	予算額
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点	12	10,967
地域の縁側事業 「基本型」…誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	24 (5)	10,810
「特定型」…特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	7 (0)	
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚と地域住民による防犯活動の活発化を図る拠点	6 (0)	1,614

団体数のうち、()は新規団体の見込み数

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 4,204 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 107 千円
地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を支給する。(上限5,000円)
- (2) 地域の縁側活動支援事業 4,097 千円
地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
38,003	36,002	30,530	27,595	132,130	

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	4-3-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,003					2,003
令和元年度	1,576					1,576
対前年度	427					427

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、さまざまなまちづくり事業を行い、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 278 千円
 地区内の公園、小・中学校、特別支援学校及びボランティア団体への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。
 ・花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）
2. 交通不便地区解消検討事業 10 千円
 西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るためチラシを作成する。
 ・チラシ作成（消耗品費）
3. 六会人材センター推進事業 1,053 千円
 地域の人材発掘を行うとともにボランティア先とのコーディネート事業等を行い、住民相互のつながりを深め、地域活動の推進を図る。
 ・六会人材センター運営（委託料）
4. 六会まちおこし活動支援事業 662 千円
 地域の子どもから高齢者、障がいのある方まで楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い、活気あるまちづくりを目指す。
 ・六会日大前駅ロータリーにイルミネーションの設置（光熱水費・手数料）
 ・あいさつ啓発運動看板4カ所の修繕（施設修繕費）



花の植栽活動による美しいまちづくり事業



六会まちおこし活動支援事業
(イルミネーションの設置)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,534	1,224	1,576	2,003	6,337	

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	4-3-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,918					1,918
令和元年度	2,140					2,140
対前年度	△ 222					△ 222

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動とをつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。
 ・コーディネーター謝礼等、事業運営に関する経費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円
 子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。
 ・臨床心理士謝礼等、まちかど相談事業に関する経費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 8 千円
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。
 ・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。
 ・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）



まちかど相談事業
(高齢者困りごと相談)



民俗文化財等継承事業
(片瀬こま大会)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
3,204	2,524	2,140	1,918	9,786	

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	4-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	908					908
令和元年度	1,101					1,101
対前年度	△ 193					△ 193

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 歴史・文化継承事業 500 千円
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。
 明治地区の郷土の偉人である小笠原東陽の書物、書簡を調査し、その内容を記録して現代人にもわかりやすい形で報告書としてまとめることで、地域、次世代への継承を図る。
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）
 ・小笠原東陽に係る書物等資料の調査（報償金・消耗品費）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 92 千円
 自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、さまざまな分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民・学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。
 ・啓発グッズ、ポスター等（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育て支援充実事業 268 千円
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにここに、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。
 子育て世代の支援の一環として、明治地区内の子育て世代を対象に講演会を行う。
 ・子育て応援メッセ開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）
 ・講演会開催経費（報償金）
4. 明治地区健康体操推進事業 48 千円
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。
 ・チラシ作成（消耗品費）



明治地区マナーアップ推進事業
(マナーアップ街頭キャンペーン)



明治地区健康体操推進事業
(丸山公園健康体操)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,617	1,140	1,101	908	4,766	

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04	御所見市民センター				
指針体系コード	4-3-81	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	601					601
令和元年度	995					995
対前年度	△ 394					△ 394

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域資源を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 田園パーク構想推進事業

601 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートの整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の更なる定着及び新たな「御所見ブランド」の創出を目指す。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・環境整備に関するチラシの作成（印刷製本費）
- ・散策ルートの整備、御所見グルメのPR活動等（補助金）



花の植栽活動（少年の森）



御所見グルメPR活動

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
598	598	995	601	2,792	

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	4-3-91	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,416				375	1,041
令和元年度	694				337	357
対前年度	722				38	684
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				375

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 98 千円
 複数の地域団体が個別に行っている高齢者のための活動を対象者にわかりやすく周知するため、情報をまとめたリーフレットを作成し、配付する。
 ・リーフレット作成（印刷製本費）
2. 自然環境推進事業 307 千円
 地域と市が一体となり都市公園として整備した「いけのかしら公園」において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市の開催を支援する。
 環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象に、地区の自然にふれあいながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。
 また、健康の森にある竹炭祭の会場の整備を行う。
 ・遠藤朝市の実施（補助金）
 ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
 ・竹林整備（燃料費・手数料）
3. 遠藤魅力アップ推進事業 514 千円
 2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計12基）を設置する。
 また、史跡案内看板の維持補修を行う。
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）
 ・史跡案内看板の維持補修（施設修繕費）
4. 地域活動の広報充実事業 417 千円
 遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマとしたポスターを募集して「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。
 ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施に係る物品（報償金・消耗品費）
 ・コンクール優秀作品を使用したポスターの作成（印刷製本費）
5. 道路環境整備事業 80 千円
 交通安全・防犯の観点から地区内道路等について自治会ごとに点検を行い、必要に応じて注意喚起のための看板を設置する。
 ・安全看板、設置関係物品（消耗品費）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
244	892	694	1,416	3,246	

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	4-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,758					1,758
令和元年度	1,316					1,316
対前年度	442					442

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 150 千円
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 136 千円
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が一堂に会して行う、子育て応援事業を支援する。
 ・「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
3. 地産地消推進事業 160 千円
 商店街の活性化及び地産地消の推進に取り組むため、地元農家や飲食店等と協力し、地場産の野菜や果実を用いた食品を販売する事業を支援する。
 ・「長後を食べよう！」の実施（補助金）
4. 地域人材発掘・育成事業 49 千円
 地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題を解決するため、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換の場作り等に取り組む。
 ・人材発掘・育成に関する事業の実施（報償金・傷害保険料・損害保険料）
5. ちよご見守りネットワーク事業 146 千円
 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図る。
 ・「ちよご見守りネットワーク通信」の発行（印刷製本費）
6. 観光・歴史資源開拓事業 622 千円
 地区内の観光・歴史資源の開拓を行う。
 ・名所や旧跡への解説板設置、ふるさと観光マップ「長後めぐり」の発行等（施設修繕費・印刷製本費）
7. 交通手段支援事業 19 千円
 地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行う。
 ・住民ニーズの把握（消耗品費）
8. 花いっぱい運動推進事業 120 千円
 花があふれる地域づくり活動を行うため、花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等を行う事業を支援する。
 ・花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）

9. 地域活動支援事業

356 千円

防災・交通安全・防犯・生活環境衛生の知識の普及、並びに意識の高揚を図るために取り組む啓発活動の支援を行う。

- ・街頭キャンペーン等の実施（消耗品費）



健康づくり普及事業
(健康づくりに関する講座)



地域人材発掘・育成事業
(人材発掘・育成に関する事業)



観光・歴史資源開拓事業
(名所や旧跡への解説板設置)



交通手段支援事業
(市長へ提言書を提出)

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,541	1,395	1,316	1,758	6,010	

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07	辻堂市民センター				
指針体系コード	4-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,293					1,293
令和元年度	942					942
対前年度	351					351

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち”湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 辻堂交流事業 562 千円
 地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。
 ・伝統文化継承に関する講座講師謝礼（報償金）
 ・環境美化活動に関する用具、花苗等（消耗品費）
 ・チラシ作成（消耗品費）
 ・辻堂自歩道愛称看板設置（委託料）

2. 暮らし安心・安全事業 272 千円
 災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施する。
 ・防災に関する講演会講師謝礼（報償金）
 ・認知症に関する講演会講師謝礼（報償金）
 ・まちづくりに関する講演会講師謝礼（報償金）
 ・チラシ作成（消耗品費）

- (新) 3. 広報・啓発事業 459 千円
 辻堂への誇りや愛着を高めてもらうために、「辻堂プライド」という概念のもと、活動の周知及び参加を促す取組を実施する。
 ・子ども回覧板作成（消耗品費・印刷製本費）
 ・辻堂プライド啓発物品（消耗品費）



辻堂交流事業
(環境美化活動の実施)



暮らし安心・安全事業
(認知症に関する講演会)



広報・啓発事業
(子ども回覧板の作成)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
942	942	942	1,293	4,119	

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08	善行市民センター				
指針体系コード	4-3-121	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,156					1,156
令和元年度	1,211					1,211
対前年度	△ 55					△ 55

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 広報・地域活動ネットワーク構築事業 694 千円
 郷土づくり推進会議の活動を地区住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに周知・啓発を図る。
 ・地区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）
 ・地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 209 千円
 坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援する。
 ・地区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）
 ・地域移動支援情報リーフレットの作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 32 千円
 藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域におけるさまざまな福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行う。
 また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げていくことを推進していく。
 ・地区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 221 千円
 市民センター・公民館の改築、善行駅周辺のバリアフリー化、県立体育センターの再整備等のハード整備や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進する。
 ・地区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）
 ・地域活性化事業の周知ポスター等の作成（印刷製本費）
 ・朝市等の地域活性化事業の実施（補助金）



地域共生社会の構築事業
(終活セミナー)



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業
(善行マルシェ)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,513	1,098	1,211	1,156	4,978	

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	4-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	453					453
令和元年度	459					459
対前年度	△ 6					△ 6

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指して、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 健康なんでも相談事業 270 千円
 地域における健康長寿社会の実現に向けて、健康増進への意欲を高め、生き生き健康のまちづくりを推進するため、健康相談及び生活習慣病の予防や運動指導を行う。
 ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの person 費及び運営に関する経費（委託料）
 ・健康増進講習会の講師謝礼（報償金）
- 地域のゴミゼロ運動推進事業 160 千円
 地域内の3つの関係団体が連携しながら一緒に実施している地域の環境美化活動「ポイ捨て無くし隊」を支援し、参加者の拡充を図る。
 ・事業活動用消耗品等（補助金）
- 健康体操普及推進事業 23 千円
 健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及を図る。
 ・自主グループへのCDラジカセ等支援物品の購入（消耗品費）



健康なんでも相談事業
(健康なんでも相談会・健康測定)



健康なんでも相談事業
(健康なんでも相談会・医療講演会)



地域のゴミゼロ運動推進事業
(ポイ捨て無くし隊)



健康体操普及推進事業
(ラジオ体操)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
553	447	459	453	1,912	

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	4-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,270				1,270	
令和元年度	1,271				1,271	
対前年度	△ 1				△ 1	
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,270

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. ようこそ先輩 i n 湘南台事業 19 千円
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業「ようこそ先輩 i n 湘南台」を開催する。
 ・ ようこそ先輩 i n 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 93 千円
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。
 ・ ウォークイベント開催経費（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育てネットワーク事業 238 千円
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。
 ・ 湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 220 千円
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座「はじめよう！地域ボランティア塾」を開催する。
 ・ 地域サポーター養成講座開催業務委託（委託料）
5. 文化創造事業 700 千円
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。
 ・ 駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）



ようこそ先輩 i n 湘南台事業



文化創造事業
 ビック錠とその仲間たち・PART 3
 『湘南台グلمان祭』

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,241	1,301	1,271	1,270	5,083	

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	4-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,133					2,133
令和元年度	1,415					1,415
対前年度	718					718

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 764 千円
 学習・遊び・運動等を取り入れた地域のボランティアとの温かいふれあいを通じて豊かな感性を育むため、児童の放課後の居場所づくりを行う。
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。
 ・スタッフ謝礼、施設入場料、野外活動時の昼食、教材、チラシ等作成、交通費（報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料）
- 鶴（くぐい）まつり事業 430 千円
 地域活性化や地産地消を進めるため、鶴沼運動公園芝生広場において、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する地域住民主体のまつりの開催を支援する。
 ・チラシ、ポスター作成、会場運営費（印刷製本費・補助金）
- 認知症等対策事業 261 千円
 誰もが安心して住み続けることができる地域づくりを目指し、認知症等への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。
 ・講演会等講師謝礼、啓発物品、チラシ作成（報償金・消耗品費・印刷製本費）
- 歴史・文化継承事業 678 千円
 鶴沼に特化した歴史文化の資料に係る収集・調査並びに展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場として、鶴沼郷土資料展示室の企画運営を行う。また、既存資料等の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図る。
 ・鶴沼郷土資料展示室の運営（委託料）
 ・鶴沼郷土資料展示室の資料整理（報償金・消耗品費）



鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業
(さつま芋の苗植え)



鶴まつり事業

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
1,431	1,431	1,415	2,133	6,410	

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	4-3-161	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,587					2,587
令和元年度	1,390					1,390
対前年度	1,197					1,197

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 藤沢宿活性化事業

2,587 千円

藤沢宿の歴史的資源を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。また、歴史的まちなみを落書き等から防止するために実施したトランスボックスラッピングの再施工及び、「藤沢宿まっぷ」の増刷を行う。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。

- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
- ・トランスボックスラッピングの再施工（使用料）
- ・「藤沢宿まっぷ」の増刷（印刷製本費）



藤沢宿活性化事業（トランスボックスラッピング）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
2,591	2,233	1,390	2,587	8,801	

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	4-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,278					2,278
令和元年度	2,657					2,657
対前年度	△ 379					△ 379

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. マナーアップ啓発事業 477 千円
 自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方等のマナー向上を目指し、ポイ捨て等禁止看板の作製及びスタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。
 ・啓発看板の作製等、スタントマン謝礼（消耗品費・報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 358 千円
 あいさつ運動の充実を図るため、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。
 ・啓発物品の作製等、コンクール記念品及び審査員謝礼（消耗品費・報償金）
3. 地域防災力強化事業 146 千円
 地域防災力の強化を図るため、地区内の公共施設等に防災啓発看板を設置するとともに防災関連講座を開催する。また、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。
 ・啓発看板の作製等、防災関連講座物品及び電波利用料（消耗品費・負担金）
4. 村岡美化活動事業 150 千円
 美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。
 ・講習会指導謝礼、ごみ袋の購入（報償金・消耗品費）
5. 歴史継承事業（史跡案内板設置事業から改称） 395 千円
 地域の歴史的資産を継承していくため、今昔探訪ウォーキング等の事業を実施するとともに、歴史ガイドマップを増刷・配布する。
 ・ウォーキング事業用物品、歴史ガイドマップの増刷（消耗品費・印刷製本費）
6. 地域情報発信事業（高齢者等見守り事業から改称） 400 千円
 地区内の住民等に対し、生活に役立つ地区内情報を提供するため、村岡地区便利帳を増刷・配布する。
 ・村岡地区便利帳の増刷（印刷製本費）
7. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 352 千円
 まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。
 ・パトロール携行グッズ、キャンペーン物品（消耗品費）



マナーアップ啓発事業
(スタントマンによる自転車交通安全教室)



村岡あいさつ運動事業
(ポスター・標語コンクール)



地域防災力強化事業
(災害ボランティアコーディネーター養成講座)



村岡美化活動事業
(寄せ植え講習会)



歴史継承事業
(今昔探訪ウォーキング)



地域情報発信事業
(村岡地区便利帳)



犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 (村岡わんわんパトロール)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
2,709	2,574	2,657	2,278	10,218	

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	85,266			61,800	23,466	0
令和元年度	1,166,908			838,900	279,827	48,181
対前年度	△ 1,081,642			△ 777,100	△ 256,361	△ 48,181
特定財源の内訳	(地方債)	善行市民センター改築事業債				61,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				23,466

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

平成30年度から3カ年度で進めている改築工事（第1期工事）の3年目として、旧市民センターの解体工事を行う。また、第2期工事に向けて埋蔵文化財試掘調査を行う。

1. 事業費

- (1) 改築工事（平成30年度～令和2年度の継続費） 81,000 千円
旧市民センターの解体
- (2) 工事監理委託（平成30年度～令和2年度の継続費） 1,516 千円
- (3) 埋蔵文化財試掘調査委託 2,750 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
工事請負費	189,371	1,099,966	81,000	1,370,337
工事監理委託費	3,030	18,761	1,516	23,307

<スケジュール概略>

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
改築工事（第1期）			改築工事（第2期）
(市民センター棟・地域利用倉庫建設、西側駐車場整備、旧市民センター解体)			(健康プラザ棟建設)
市民センター棟供用開始★		埋蔵文化財試掘調査	健康プラザ棟供用開始★



解体予定の旧善行市民センター（手前）



善行市民センター（南側）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
79,982	227,465	1,166,908	85,266	1,559,621	

総務費

事業名	辻堂市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,773,479			1,322,500	450,979	
令和元年度	262,739			197,000	65,739	
対前年度	1,510,740			1,125,500	385,240	
特定財源の内訳	(地方債)	辻堂市民センター改築事業債				1,018,400
	(地方債)	消防施設整備事業債				304,100
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				450,979

【事業概要】

辻堂市民センター・公民館は、昭和53年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点から、南消防署辻堂出張所は、より迅速な出動態勢の確立などの観点から、ともに移転し、合築により建て替えを行う。

平成30年度に完了した改築設計に基づき、令和元年度から3カ年度で進める改築工事の2年目として、市民センター・公民館及び消防出張所の建設工事を行う。

1. 事業費

(1) 改築工事（令和元年度～令和3年度の継続費）	1,733,272 千円
(2) 工事監理委託（令和元年度～令和3年度の継続費）	30,207 千円
(3) 電柱移設負担金	10,000 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 3階建て
- (2) 延床面積 市民センター・公民館 4,059.74㎡
消防出張所 1,091.22㎡
- (3) 付帯施設 テニスコート2面、駐車場（公用車含む21台分）、
駐車場（消防出張所用含む62台分）、バイク・スクーター置場（8台分）

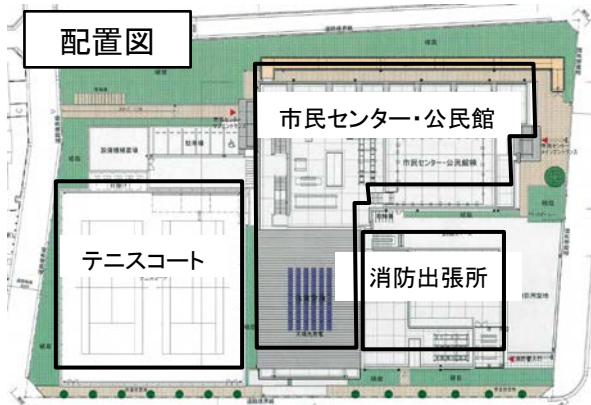
<継続費年割額>

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
工事請負費	16,714	1,733,272	1,123,324	2,873,310
工事監理委託費	301	30,207	19,586	50,094

<スケジュール概略>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基本構想	基本・実施・解体設計			建設工事・テニスコート整備		
		既存建物解体工事				★ 供用開始



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
561,312	96,995	262,739	1,773,479	2,694,525	

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01	北部環境事業所				
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	819,525	160,065		499,100	159,660	700
令和元年度	974,208	147,029		646,700	178,887	1,592
対前年度	△ 154,683	13,036		△ 147,600	△ 19,227	△ 892
特定財源の内訳	(国庫支出金)	廃棄物処理施設整備交付金				160,065
	(地方債)	焼却施設整備事業債				499,100
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				159,660

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、藤沢市焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行い、専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。藤沢市北部環境事業所土地利用履歴調査の結果報告に基づき、土壌分析を行う。また、石名坂環境事業所の整備に向け、土壌汚染の有無を確認するため地歴調査を行う。

1. 工事請負費 761,616 千円
 - ・藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事 761,616 千円

期間 平成30年度から令和4年度
 総額 11,383,578千円 (契約金額)
 敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日
 令和2年度は、建設工事に着手する。

2. 委託料 57,209 千円
 - ・藤沢市北部環境事業所新2号炉設計・施工監理業務委託 44,820 千円

期間 平成30年度から令和4年度
 総額 180,360千円 (契約金額)
 設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等
 - ・藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事土壌分析業務委託 12,389 千円

分析対象項目：鉛及びその化合物、調査地点：25地点 (予定)

3. 役務費 669 千円
 - ・クローズドコンテナ装置点検手数料 122 千円
 - ・石名坂環境事業所地歴調査手数料 547 千円

4. 一般廃棄物中間処理施設整備事業事務経費 31 千円

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業に関するスケジュール

事業名称	主な内容	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	~	R24年度
建設工事		H30年2月 契約								
既設解体工事	旧2号炉解体		■■■■							
建設工事	新2号炉建設				■■■■					
試運転	プラント単体 総合試運転						■■■■			
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事						■■■■			
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等							■■■■		
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理	H30年3月 契約	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■	■■■■		

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	819,525	160,065		499,100	159,660	700
補正額	38,841	0		0	38,841	0
補正後の額	858,366	160,065		499,100	198,501	700
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				38,841

【補正事業概要】

平成28年度策定の「藤沢市焼却施設整備基本計画」に基づき、石名坂環境事業所の新1号炉について、令和9年度の稼働を目標とした大規模整備を行うために、石名坂環境事業所整備基本構想の策定を行う。

1. 石名坂環境事業所整備基本構想策定委託【継続費】 38,841 千円

(1) 委託内容

- ・施設規模の設定及びごみ処理計画の見直し
- ・耐震劣化診断調査
- ・施設整備概算事業費の算出
- ・施設整備方法の選定
- ・施設整備スケジュール 等

(2) 期間

契約締結の日から2022年（令和4年）3月15日まで

(3) 継続費年割額

(単位：千円)

	2年度	3年度	合計
石名坂環境事業所整備基本構想策定委託	38,841	67,848	106,689

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
34,455	195,421	974,208	858,366	2,062,450	

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01	学校施設課				
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,880			0	22,880	
令和元年度	131,456			87,900	43,556	
対前年度	△ 108,576			△ 87,900	△ 20,676	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				22,880

【事業概要】

仮設校舎について、賃貸借期間の満了に伴い、継続使用が不要となったため解体を行う。

1. 仮設校舎解体費 22,880 千円

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	22,880	0	0	0	22,880	
補正額	589,202	38,836	4,119	413,700	132,547	
補正後の額	612,082	38,836	4,119	413,700	155,427	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	公立学校施設整備費負担金				12,463
		子ども・子育て支援整備交付金				8,239
		学校施設環境改善交付金				18,134
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				4,119
	(地方債)	公立保育園整備事業債				190,700
		放課後児童クラブ整備事業債				14,000
		大規模改造事業債				209,000
(その他)	公共施設整備基金繰入金				132,547	

【補正事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。また、近隣施設である浜見保育園及びよつば児童クラブについても、施設の老朽化や津波避難対策に課題があるため、複合化により一体整備し、あわせて近隣住民を含めた津波避難対策の強化を図る。

1. 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費】 569,916 千円
2. 鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理委託【継続費】 18,950 千円
3. 電波障害調査委託 336 千円

〈継続費年割額〉

(単位：千円)

	2年度	3年度	4年度	合計
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）	569,916	1,354,957	25,141	1,950,014
鵜南小学校等改築工事（第一期工事）に伴う工事監理委託	18,950	45,743	655	65,348

〈スケジュール〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R2	鵜南小学校等改築工事 (第一期工事)【継続費：1年目】 【屋内運動場棟・保育園棟建設】											
R3	鵜南小学校等改築工事 (第一期工事)【継続費：2年目】 【屋内運動場棟・保育園棟建設】											
								屋内運動場棟 及び 保育園棟完成		屋内運動場棟 及び 保育園棟使用開始		
												【旧屋内運動場等解体】
R4	鵜南小学校等改築工事（第一期工事）【継続費：3年目】 【旧屋内運動場等解体】											

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
8,522	74,822	131,456	612,082	826,882	

事業名	六会中学校屋内運動場改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	41,767	13,922		25,000	2,845	0
令和元年度	601,064	125,680		366,000	100,873	8,511
対前年度	△ 559,297	△ 111,758		△ 341,000	△ 98,028	△ 8,511
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				13,922
	(地方債)	大規模改造事業債				25,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				2,845

【事業概要】

新屋内運動場が完成したため、旧屋内運動場等の解体工事を実施する。

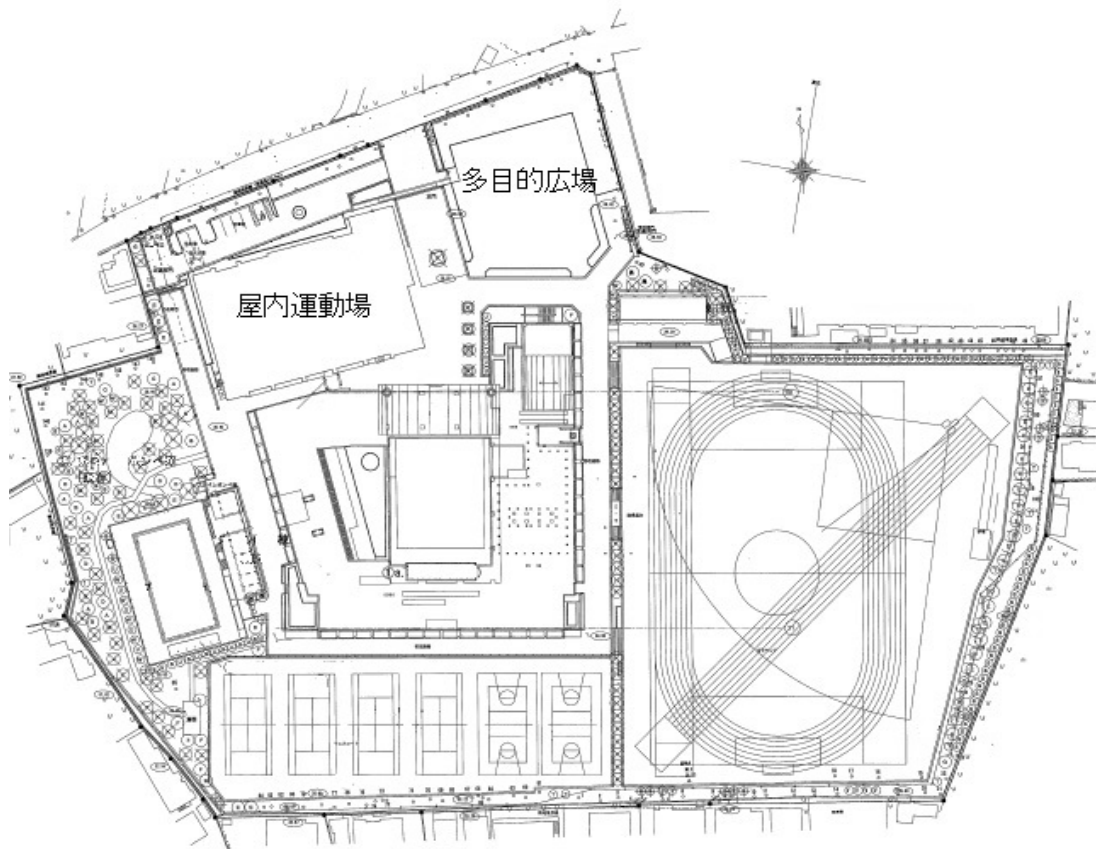
1. 屋内運動場等解体工事 41,767 千円

事業名	六会中学校屋内運動場改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	41,767	13,922		25,000	2,845	
補正額	53,515	0		36,700	16,815	
補正後の額	95,282	13,922		61,700	19,660	
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				36,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				16,815

【補正事業概要】

教育環境の向上を図るため、旧屋内運動場跡地に多目的広場を整備する。

- 1. 多目的広場整備工事 48,950 千円
- 2. 事後家屋調査委託 4,565 千円



【六会中学校配置図】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
44,135	311,395	601,064	95,282	1,051,876	

総務費

事業名	公共施設再整備関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02	企画政策課				
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,500				5,500	
令和元年度	5,500				5,500	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				5,500

【事業概要】

旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の敷地を一体的に活用し、周辺地区で賃借している施設及び当該地域に不足している行政サービス機能を含めた複合施設としての再整備を行う。

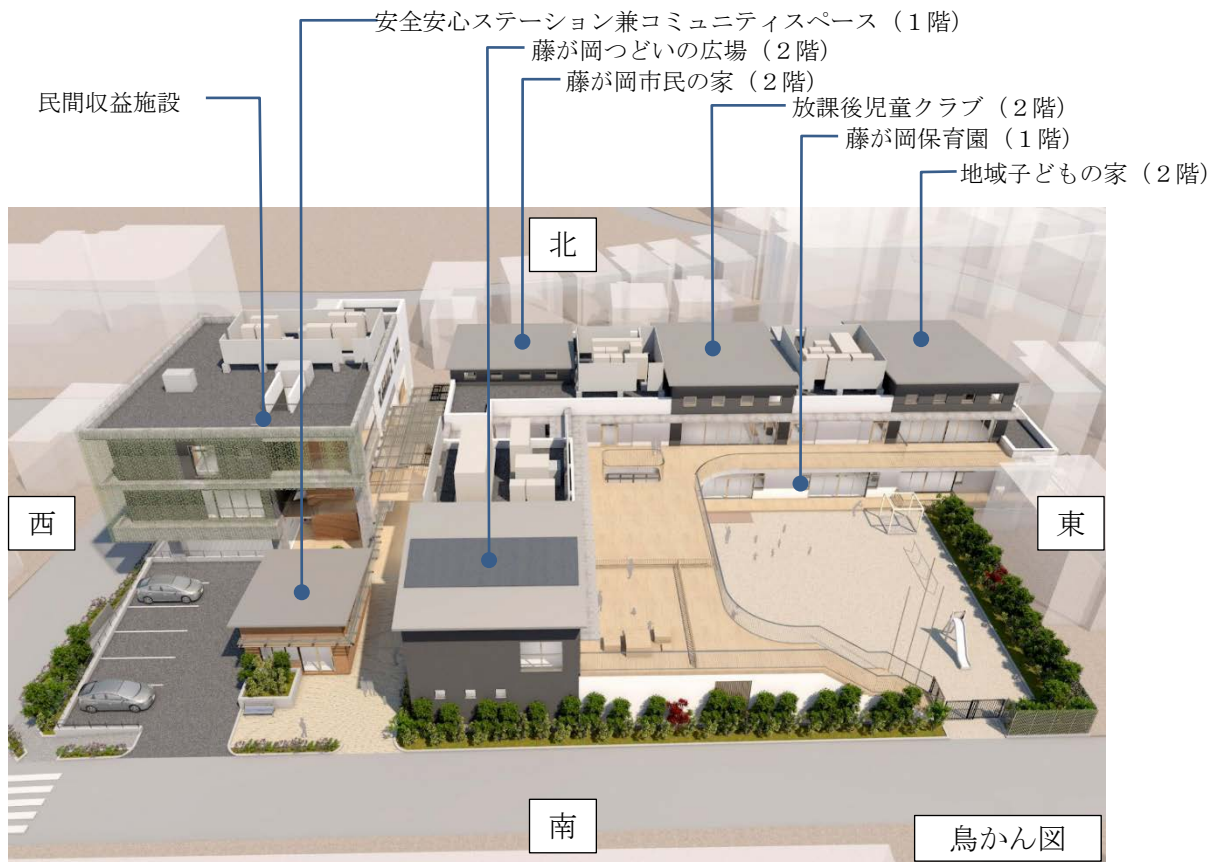
本再整備にあたっては、民間事業者の資金、運営能力及び技術力などのノウハウ等を導入し、運営方法を含め、より効果的かつ効率的なサービスの提供が可能となるPFI事業として構築することにより財政支出の削減及び平準化を図る。

1. 藤が岡二丁目地区再整備PFI事業モニタリング業務 5,500千円

PFI事業として整備するにあたり、要求水準書、提案書及び事業契約書に従って整備されていることを確認するため、建設期間におけるモニタリング業務を専門業者に委託する。

施設供用開始は令和3年4月予定

(藤が岡保育園については、令和3年5月に新園舎への移転・供用開始を予定)



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
	5,400	5,500	5,500	16,400	

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	5-1-111	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,017,487	156,040	2,010	410,900	16,780	431,757
令和元年度	815,666	35,810	0	527,000	11,005	241,851
対前年度	201,821	120,230	2,010	△ 116,100	5,775	189,906
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				156,040
	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				2,010
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				410,900
	(その他)	藤沢駅北口交通広場再整備工事負担金				16,780

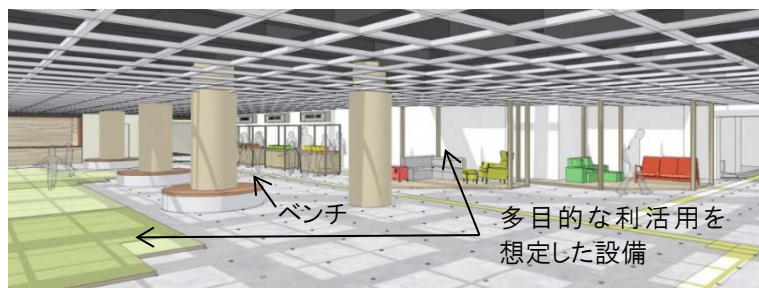
【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備について、現在実施中の藤沢駅北口交通広場再整備工事の完成を目指すとともに、引き続き藤沢駅南北自由通路の拡幅に向けた基本設計を実施する。また、藤沢駅東西地下通路再整備工事に着手する。

あわせて、整備が完了した藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ等を活用した、にぎわい創出に係るエリアマネジメント運営支援等、各プロジェクトの推進を図る。

- 1. 委託料 43,835 千円
 - ・ 藤沢駅周辺地区再整備に伴う推進支援業務委託
 - ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備に関する設計検証業務委託 等
 - 2. 工事請負費 683,050 千円
 - ・ 藤沢駅北口交通広場再整備工事【継続費】
 - ・ 藤沢駅東西地下通路再整備工事【継続費】
 - 3. 負担金 282,463 千円
 - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金【継続費】
 - ・ 藤沢駅周辺地区エリアマネジメント運営支援負担金 等
 - 4. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 8,139 千円
- <継続費年割額> (単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
藤沢駅北口交通広場再整備工事	-	327,783	87,007	-	414,790
藤沢駅東西地下通路再整備工事	-	-	596,043	1,014,885	1,610,928
藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金(小田急)	46,585	7,590	15,703	-	69,878



<藤沢駅東西地下通路(広場空間)のリニューアルイメージ>
 (3の事業の一部は令和元年度6月補正で債務負担行為を設定)
 (この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

【事業費(事務事業中の重点事業分)】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
666,956	1,183,253	815,666	1,017,487	3,683,362	

土木費

事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-1-121	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	121,156	0		0		121,156
令和元年度	174,020	17,535		92,500		63,985
対前年度	△ 52,864	△ 17,535		△ 92,500		57,171

【事業概要】

本市の都市拠点の一つに位置づけられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されており、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、地権者をはじめとする関係者ととも、本地区のまちづくりの検討を進めている。今後も引き続き、本市の新たな活力創造の場を創出する都市拠点としてふさわしいまちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき地区内の浸水対策を行う。

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| 1. 健康と文化の森地区まちづくり | | 83,919 千円 |
| ・まちづくり事業化等推進委託 | 56,430 千円 | |
| ・境界測量委託 | 10,835 千円 | |
| ・地質調査委託 | 16,654 千円 | |
| 2. 健康と文化の森地区浸水対策 | | 37,237 千円 |
| ・雨水排水管築造工事 | 34,685 千円 | |
| ・仮設調整池維持管理費 | 2,552 千円 | |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
51,319	39,007	174,020	121,156	385,502	

土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	5-1-131	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	20,099	500		12,700		6,899
令和元年度	112,718	40,290		42,200		30,228
対前年度	△ 92,619	△ 39,790		△ 29,500		△ 23,329
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				500
	(地方債)	道路整備事業債				12,700

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関協議及び事業化に向けた検討を行う。また、歩行者等の安全性向上を図るため、長後725号線の道路北側の歩道整備に向け、長後市民センター東側区間における一部の土地について用地取得等を行う。

1. 高倉下長後線整備事業 586 千円
 - ・委託料（埋蔵文化財予備調査）

2. 長後725号線歩道整備事業 19,291 千円
 - ・役務費（不動産鑑定・分筆登記） 825 千円
 - ・委託料（移転補償費算定） 7,128 千円
 - ・工事請負費 3,476 千円
 - ・公有財産購入費（用地） 6,293 千円
 - ・補償補填及び賠償金（移転補償） 1,569 千円

3. 長後地区整備事業事務経費 222 千円



事業位置図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
75,556	24,845	112,718	20,099	233,218	

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	5-1-141	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
	5-1-151	重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	435,687	61,154	5,900	220,000		148,633
令和元年度	729,967	90,584	110,000	341,000		188,383
対前年度	△ 294,280	△ 29,430	△ 104,100	△ 121,000		△ 39,750
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				61,154
	(県支出金)	県立体育センター西側昇降機建設負担金				5,900
	(地方債)	道路整備事業債				220,000

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、無電柱化、善行駅周辺地区の道路のバリアフリー化、藤沢本町駅周辺の道路詳細設計等を行う。

1. 道路の新設改良事業 295,711 千円
 - (1) 戸中橋線（工事、補償）
 - (2) 藤沢駅辻堂駅線（工作物等調査、工事、補償）
 - (3) 藤沢652号線（詳細設計、駅自由通路基本設計負担金）
 - (4) 六会554号線（測量、工事【第1期・第2期】）
 - (5) 宮原百石線（埋蔵文化財調査、工事）
 - (6) 高倉遠藤線（工事）

2. バリアフリー化事業 73,300 千円
 - (1) 善行駅周辺地区
教育センター南通り線（工事）
善行12号線他（測量）
県立スポーツセンター（旧県立体育センター）西側昇降機（建物等調査、補償）

3. 無電柱化事業 44,000 千円
 - (1) 藤沢394号線外1路線（建物等調査、工事）

4. その他の事業 10,499 千円
 - (1) 藤沢287号線（用地取得、補償）

5. 市道新設改良事務経費 12,177 千円
 - (1) 旅費、需用費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金

<継続費>

(1) 六会554号線道路改良工事（第1期） （単位：千円）			
年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	51,064	5,700	56,764
(2) 六会554号線道路改良工事（第2期） （単位：千円）			
年割額	令和2年度	令和3年度	合計
	37,315	33,599	70,914
(3) 藤沢394号線外1路線道路改良工事 （単位：千円）			
年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	15,290	40,000	55,290

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	事業費合計	備考
	予算額	予算額	予算額	予算額		
藤沢652号線	456,387	124,074	31,350	76,683	688,494	
バリアフリー事業費	244,513	255,578	323,891	73,300	897,282	

事業名	村岡公民館改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 03 説明 01			村岡公民館		
指針体系コード	5-1-161	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	2,141				0	2,141
補正額	33,754				33,754	0
補正後の額	35,895				33,754	2,141
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				33,754

【補正事業概要】

村岡公民館は、昭和41年に旧耐震基準で建築され、その後増改築した施設のため、老朽化とバリアフリー環境の改善等が必要なことから、藤沢市公共施設再整備基本方針<第2次藤沢市公共施設再整備プラン>に基づき複合施設として移転し、再整備を行う。

平成31年3月に策定した「村岡公民館等再整備基本構想」における基本理念及び基本方針に基づき、基本・実施設計委託を令和2年度から4年度までの継続事業で実施するとともに、その他必要な調査を行う。

1. 事業費

- (1) 擁壁調査 492 千円
- (2) 基本・実施設計委託【継続費】 24,000 千円
- (3) 地質調査委託 9,262 千円

2. 継続費年割額

(単位：千円)

	2年度	3年度	4年度	合計
村岡公民館改築事業 基本・実施設計委託	24,000	47,874	72,028	143,902

3. スケジュール

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
擁壁調査	用地買戻し(予定)			
基本設計	実施設計			建設工事着手
地質調査	内容精査・報告等		工事費等予算計上	



【公民館再整備予定地】

(令和2年度予算額35,895千円は、補正前当初予算額2,141千円と6月補正額33,754千円の合算額)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
0	11,947	1,703	35,895	49,545	

総務費

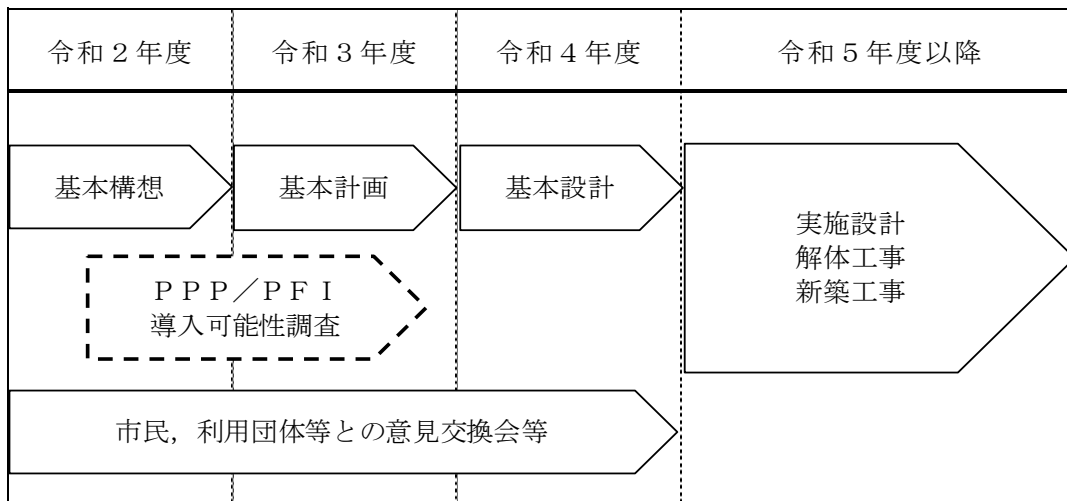
事業名	市民会館整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	5-1-171	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	21,462				20,350	1,112
令和元年度	5,242				0	5,242
対前年度	16,220				20,350	△ 4,130
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				20,350

【事業概要】

老朽化した市民会館の建て替えに向け、基本構想の策定を行う。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 市民会館等基本構想策定検討委員会報酬 | 1,112 千円 |
| 2. 市民会館等基本構想策定業務委託料 | 20,350 千円 |

市民会館等再整備 事業スケジュール (案)



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
		5,242	21,462	26,704	R元年度から重点事業

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	23,666	3,200				20,466
令和元年度	60,816	0				60,816
対前年度	△ 37,150	3,200				△ 40,350
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				3,200

【事業概要】

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

1. 負担金補助及び交付金 10,826 千円
 - ・ 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費 180千円
 - ・ 地域提案型交通システム導入支援補助（善行地区・六会地区） 3,034千円
 - ・ ノンステップバス導入補助 5,600千円
 - ・ 福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）導入補助 2,000千円
 - ・ 総合都市交通計画研修負担金 12千円

2. 委託料 9,746 千円
 - ・ 藤沢市交通実態分析等業務委託 9,746千円

平成30年度に実施された第6回東京都市圏パーソントリップ調査の集計データを分析し、課題点等を整理することで、本市の現況交通実態を今後の都市交通計画等のための基礎的資料としてとりまとめる。

3. 総合交通体系推進業務事務経費 3,094 千円

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	23,666	3,200				20,466
補正額	17,732	0				17,732
補正後の額	41,398	3,200				38,198

【補正事業概要】

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

1. 委託料 17,732 千円

(1) 藤沢市地域公共交通検討他業務委託

地域公共交通の導入検討が進められている長後地区において、地域住民が主体となり運行する乗合タクシーの住民の需要、運行ルート及び事業性の検討等を行うとともに、交通渋滞や公共交通の利便性低下などの交通課題がある辻堂地区の改善策の検討を行う。また、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用した公共交通利用転換事業について、二酸化炭素削減の効果測定を行う。

(2) いずみ野線延伸地域における交通施設規模検討等業務委託

いずみ野線延伸時の新駅として想定されるB駅の交通広場について、駅利用者の推計等を基にした施設規模の検討及び地域住民への情報提供や機運の醸成を目的としたいずみ野線A駅周辺まちづくり連絡会の資料作成等の運営支援を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
49,990	38,850	60,816	41,398	191,054	

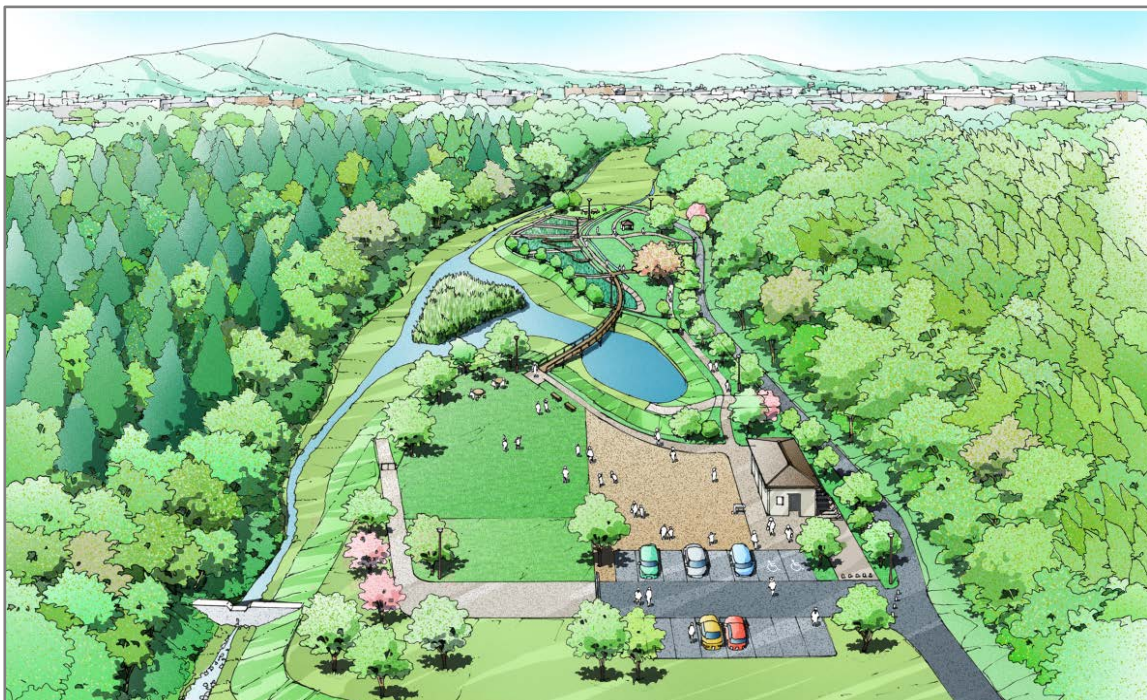
土木費

事業名	健康の森保全再生整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 05	西北部総合整備事務所				
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	49,013					49,013
令和元年度	7,166					7,166
対前年度	41,847					41,847

【事業概要】

市内三大谷戸の一つである健康の森（遠藤笹窪緑地）の貴重な谷戸環境を保全しつつ、地域活性化に資する施設として、（仮称）遠藤笹窪谷公園の整備を行う。

- | | | |
|----------------------|-----------|-----------|
| 1. （仮称）遠藤笹窪谷公園の整備 | | 40,680 千円 |
| ・地質調査委託 | 3,487 千円 | |
| ・地耐力調査委託 | 387 千円 | |
| ・建物新設工事に伴う設計委託 | 8,206 千円 | |
| ・汚水排水管築造工事 | 28,600 千円 | |
| 2. 健康の森の里山保全再生に向けた取組 | | 6,430 千円 |
| ・市民活動団体等からの提案活動交付金 | 2,500 千円 | |
| ・施設修繕費 | 1,300 千円 | |
| ・樹林地管理作業 | 2,630 千円 | |
| 3. 健康の森保全再生整備事業事務経費 | | 1,903 千円 |



（仮称）遠藤笹窪谷公園のイメージ図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
36,090	27,757	7,166	49,013	120,026	

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04	みどり保全課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,809				5,086	3,723
令和元年度	6,088				5,086	1,002
対前年度	2,721				0	2,721
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				5,086

【事業概要】

藤沢市環境基本計画に位置づく事業として策定した藤沢市生物多様性地域戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等を対象に自然保護意識の高揚、普及啓発を図る。

また、ヒートアイランド現象の緩和、みどり豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発の建物緑化事業を推進する。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業 | 7,306 千円 |
| ・生物多様性普及啓発印刷物作成 | 347 千円 |
| ・生物多様性普及啓発講座 | 150 千円 |
| ・長久保公園管理棟劣化診断業務委託 | 3,226 千円 |
| ・ビオトープ維持管理作業等 | 3,151 千円 |
| ・自然環境実態調査（継続調査） | 181 千円 |
| ・調査箇所のカルテ作成 | 100 千円 |
| ・乾燥標本室維持管理 | 151 千円 |
| 2. 建物緑化事業 | 1,503 千円 |
| ・建物緑化への助成 | 1,200 千円 |
| 建物緑化助成事業交付金 | |
| ・緑のカーテン普及啓発 | 303 千円 |
| 緑のカーテン用絵袋種子（ゴーヤ等）の配布 | |



生物多様性普及啓発講座（裏門公園・野鳥観察及び園内見学会）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
9,351	10,217	3,707	7,306	30,581	

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	33,052				31,450	1,602
令和元年度	36,754				30,450	6,304
対前年度	△ 3,702				1,000	△ 4,702
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				31,450

【事業概要】

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化に対応するため、住宅用等太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 環境に優しいエネルギーシステム普及促進 23,800 千円
再生可能エネルギー及び新エネルギーへの転換を促進するため、太陽光発電システム又はエネファームの設置者に費用の一部を補助し、両システムを同時に設置する場合は補助額を増額する。
 - ・住宅用太陽光発電 1kW当たり15千円で上限額50千円 7,500 千円
 - ・エネファーム 1件当たり50千円 12,500 千円
 - ・両システム同時設置 1件当たり50千円 3,500 千円
 - ・共同住宅、自治会館及び町内会館用太陽光発電 300 千円
1kW当たり100千円で上限額300千円

2. 雨水貯留槽普及促進 450 千円
水資源の循環利用を促進するため、雨水貯留槽の購入者に費用の一部を補助する。
 - ・雨水貯留槽購入者への補助金 1件当たり本体価格の1/2で上限額15千円

3. 電気自動車普及促進 4,000 千円
電気自動車の普及促進に向け、電気自動車の導入者に費用の一部を補助する。
 - ・電気自動車導入者への補助金 1台当たり100千円

4. 定置用リチウムイオン蓄電池普及促進 2,500 千円
エネルギーの効率的な利用を促進するため、蓄電池の設置者に費用の一部を補助する。
 - ・蓄電池設置者への補助金 1件当たり50千円

5. 燃料電池自動車普及促進 700 千円
燃料電池自動車の普及促進に向け、燃料電池自動車の導入者に費用の一部を補助する。
 - ・燃料電池自動車導入者への補助金 1台当たり350千円

6. 地球温暖化対策関係団体等との連携 33 千円
地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。

7. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進
茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。

8. 地球温暖化対策関係事務経費 1,569 千円
講師・委員謝礼、消耗品費、旅費ほか

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	33,052				31,450	1,602
補正額	2,500				2,500	0
補正後の額	35,552				33,950	1,602
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				2,500

【補正事業概要】

温室効果ガス削減の促進を図るため、クリーンエネルギーの発電が可能な住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム（エネファーム）の同時設置者に対しては補助額50,000円を増額している。これに加え、定置用リチウムイオン蓄電池を同時設置した場合は、さらに補助額を増額し、災害対応も見据えた再生可能エネルギーの普及促進を図る。

1. 補助金 2,500 千円
 住宅用太陽光発電システム、エネファーム、定置用リチウムイオン蓄電池の同時設置者に対して、補助額50,000円を増額する。

$$50,000円 \times 50件 = 2,500,000円$$

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
0	0	0	0	0	

土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	484	130				354
令和元年度	1,262	126				1,136
対前年度	△ 778	4				△ 782
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				130

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの進捗管理 95 千円
 藤沢市住宅マスタープランに基づき、各課との連携を図り事業の進捗管理を行う。また、藤沢市居住支援協議会の運営及び団地再生に向けた地域と連携した取組を実施する。
 ・旅費、消耗品等

重点施策－1 居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援 重点施策－2 空き家の適正管理の促進と利活用の推進 重点施策－3 市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進 重点施策－4 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 389 千円
 本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための入居支援事業を行う。
 ・高齢者円滑入居支援事業業務委託 289 千円
 ・公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
6,177	7,183	1,262	484	15,106	

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 02			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,388	450				2,938
令和元年度	15,869	5,455				10,414
対前年度	△ 12,481	△ 5,005				△ 7,476
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				450

【事業概要】

藤沢市空き家対策基本方針に基づき、空き家の適正管理の促進、特定空き家の認定と措置及び空き家の利活用の推進などの空き家対策を行う。

1. 空き家の適正管理の促進 150 千円
 広報やホームページ等を活用し、空き家の適正管理に関する意識啓発を行う。また、空き家の損壊状況や周囲への衛生上の影響を現地にて調査し、空き家所有者等に対して、実態に即した助言・指導を行う。
 - ・ 訪問等調査に係る旅費 60 千円
 - ・ 空き家対策に関する研修会参加負担金 90 千円

2. 特定空き家の認定及び特定空き家審査会の開催 424 千円
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空き家を特定空き家として認定し、所有者等に対し法に基づく指導を行い是正を促す。
 - ・ 特定空き家審査会委員報酬 285 千円
 - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 139 千円

3. 空き家の利活用の推進 1,853 千円
 藤沢市空き家利活用マッチング制度、藤沢市空き家利活用事業補助金制度の実施により、空き家の利活用の推進を図る。
 - ・ 空き家利活用事業補助金 1 件 1,000 千円
 - ・ 空き家利活用事業審査会委員報酬 127 千円
 - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 185 千円
 - ・ 空き家移動相談会・利活用セミナー広告料 541 千円

4. 空き家対策関係事務経費 961 千円

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 02			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	3,388	450				2,938
補正額	6,904	0				6,904
補正後の額	10,292	450				9,842

【補正事業概要】

藤沢市空き家対策基本方針に基づき、空き家の適正管理の促進、特定空き家の認定と措置及び空き家の利活用の推進などの空き家対策を行う。

1. 藤沢市空家等対策協議会委員報酬 711 千円
令和元年度に実施した「空き家の全戸調査」において判明した空き家の実態に応じて、これまでの施策の見直しや新たな施策の検討を行う。
2. 空家等対策計画策定支援業務委託 6,193 千円
計画的に空き家の適正管理の促進及び利活用の推進に取り組む。加えて空き家の発生予防を図ることにより、「藤沢市住宅マスタープラン」に定めた、持続的・循環可能な住宅ストックの利活用と再生を推進する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
12,354	9,516	15,869	10,292	48,031	

商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	41,162					41,162
令和元年度	40,967					40,967
対前年度	195					195

【事業概要】

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官連携（市内企業・起業家等と市内4大学・近隣大学等の連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 25,945 千円
 産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。
 - ・湘南ビジネスコンテスト事業
 - ・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンターの運営）
 - ・創業機運醸成フォーラム事業
 - ・スタートアップ・ツーリズム事業（創業関連施設の見学等）
 - ・海外事業展開等支援事業
 - ・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など
2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,723 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。
3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 4,081 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/m²）
4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 663 千円
 コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性やシニア世代の事業者の賃借料は45%以内）
5. ポストインキュベーション支援事業 750 千円
 市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
39,669	40,752	40,967	41,162	162,550	

商工費

事業名	ロボット産業推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 07 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	32,259		8,884			23,375
令和元年度	32,117		1,334			30,783
対前年度	142		7,550			△ 7,408
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				8,884

【事業概要】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの普及啓発等を図るとともに、市内企業のロボット産業への参入を支援する。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 25,264 千円
 地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等をより一層充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
- ロボット産業に対する参入支援・人材育成 3,490 千円
 地域経済団体等と連携し、市民等を対象に先端的なロボットに関する基調講演などを行う「ふじさわロボットフォーラム」、市内企業等を対象にロボット産業に関する理解を深めることを目的とした「藤沢ロボット産業研究会」、子どもたちがモノづくりの楽しさを体験し、ロボットのメカニズムを通して工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- ロボット産業推進事業補助金 2,114 千円
 市内中小企業のロボット産業への参入、及びロボットに関する研究開発の促進を図るため、ロボットの試作開発等に要する経費に対し助成を行う。
- 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 1,391 千円
 行政が抱えるさまざまな課題を把握し、その課題を解決するために適したロボット（AIなど要素技術を含む）を実証的に活用することで、ロボットの利活用における先進的な取組を行う。



(ロボテラスにおけるドローン体験イベント)
 [事業費(事務事業中の重点事業分)]



(本庁舎における草刈りロボットの実証実験)

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 見積額	事業費合計	備考
25,127	21,973	32,117	32,259	111,476	

商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-4-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	18,315					18,315
令和元年度	18,315					18,315
対前年度	0					0

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、指導事業及び商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援のほか、「ふじさわ元気バザール」事業及び「まちゼミ」事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 10,595 千円
 商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組に対し、専門家派遣により事業の企画・実施・効果検証までの一連を支援するとともに、販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。
2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円
 地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の産業振興を目指す「ふじさわ元気バザール」事業に対し事業費の一部を助成する。
3. まちゼミ事業 1,000 千円
 商店街を中心とする地域商業の活性化に向け、地域住民とのコミュニケーションの場から、地域コミュニティの核となる商店街の構築と集客力向上を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会が実施する「まちゼミ」事業に対し事業費の一部を助成する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
17,415	18,415	18,315	18,315	72,460	

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-4-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,833		21,910			923
令和元年度	25,161		24,160			1,001
対前年度	△ 2,328		△ 2,250			△ 78
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				21,910

【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

1. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 688 千円
 - ・ 景観形成事業
 委 託 先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会
 委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。

2. 援農ボランティア養成講座の開催 100 千円
 - 期 間：4～12月
 - 対 象 者：援農ボランティア活動を希望する市民 40人程度

3. 新規就農者に対する支援 21,910 千円
 - ・ 農業次世代人材投資資金等の交付 21,750 千円
 次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。
 対 象 者：経営開始から5年以内で50歳未満の独立自営就農者
 支援内容：年間最大150万円の補助金を交付
 - ・ 新規就農指導員謝礼 160 千円
 農業次世代人材投資資金交付対象者に対し支援を行う「サポート体制」の活動に参加する農業者に対し、謝礼を支払う。

4. 農業後継者研修受入支援事業 90 千円
 - 農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う団体に対し補助金を交付する。
 対 象 者：藤沢市農業経営士協議会
 支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付

5. 担い手育成支援事業事務経費 45 千円
 - ・ 旅費、消耗品費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-4-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	22,833		21,910			923
補正額	2,355		0			2,355
補正後の額	25,188		21,910			3,278

【補正事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者を育成するため、経営を継承する農業後継者及び農福連携を行う農業者に対する支援を行う。

1. 農業後継者支援事業（補助率1/2以内、上限1,500千円/件） 1,815千円
 農業後継者が、経営を継承していくために必要な施設の整備等に対し、補助金を交付する。
 - ・ミニバックホー導入事業 979千円
 - ・ビニールハウス改修事業 836千円
2. 農福連携促進事業（補助額3,000円以内/日） 540千円
 福祉施設と受委託契約等を交わし障がい者等の受入を行う農業者に対し、委託料の一部を補助する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
24,240	22,190	25,161	25,188	96,779	

商工費

事業名	藤沢ものづくりブランド応援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 05 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-4-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,615					2,615
令和元年度	2,756					2,756
対前年度	△ 141					△ 141

【事業概要】

藤沢商工会議所が実施する市内中小企業を対象とした展示会共同出展支援事業に対して、市が出展料、装飾費用、事務経費の一部を補助する。

このことにより、多くの来場者が集う展示会において一定のブース面積や優位なエリアを確保することができ、販路拡大及び本市の「ものづくりのまち」としてのブランド価値の向上を図るもの。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 藤沢ものづくりブランド応援事業補助金 | 2,615 千円 |
| ・補助対象者 | 藤沢商工会議所 |
| ・対象展示会 | 出展効果及び出展業種を勘案し、年2回出展 |
| ・出展事業者数 | 1展示会当たり8者 |
| ・補助対象経費 | |
| 出展料 | 出展料の最大3分の2以内 1,900 千円 |
| 装飾費用 | 共同出展にかかる装飾費用 600 千円 |
| 事務経費 | 藤沢商工会議所の事務経費に対して2分の1を補助 115 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	事業費合計	備考
		2,756	2,615	5,371	R元年度から重点事業

5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直しを行いながら進めます。

- ① 六会地区まちづくり事業
- ② 片瀬地区地域まちづくり事業
- ③ 明治地区まちづくり事業
- ④ 御所見地区地域まちづくり事業
- ⑤ 遠藤まちづくり推進事業
- ⑥ 長後地域活性化事業
- ⑦ 辻堂地区地域まちづくり事業
- ⑧ 善行地区まちづくり事業
- ⑨ 湘南大庭地域まちづくり事業
- ⑩ 湘南台地域まちづくり事業
- ⑪ 鵜沼地区まちづくり事業
- ⑫ 藤沢地区まちづくり事業
- ⑬ 村岡いきいきまちづくり事業



六会地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

素的なふるさと 六会

まちづくり事業

1 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

地区内の公園，小・中学校，特別支援学校，花のボランティア団体等への花の植栽活動の支援を行い，自然とのふれあいを深めるとともに美しいまちづくりを進めます。

また，近隣の人々が共同作業をすることで，地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配付による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭・風景の写真展」の開催
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) ボランティア団体「六会グリーンクラブ」の支援

2 交通不便地区解消検討事業

地域住民への周知及び利用者拡大を図る西俣野地区で運行する予約型乗合タクシー「おでかけ六会」をサポートします。

3 六会人材センター推進事業

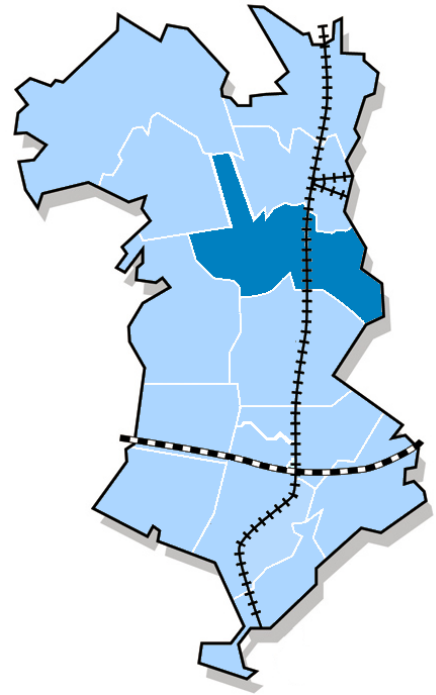
地域の人材発掘を行うとともに，地域のまちづくり活動を推進するため，ボランティアと依頼団体とのコーディネート事業等を行います。

- (1) 地域の人材発掘
- (2) コーディネート事業

4 六会まちおこし活動支援事業

駅前空間の賑わいやまちの美化向上のため，12月から1月にかけて六会日大前駅東口ロータリーにイルミネーションを設置します。さらに，地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を検討し，六会地区のまちおこしを図っていきます。

- (1) イルミネーション点灯式及びコンサートの開催
- (2) 活気あるまちづくりに寄与するイベント等の支援の検討



5 公園提案事業

地区内には28の公園があります。立地条件・規模・利用者の状況等それぞれ特徴がありますが、子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊び、憩うことができる公園にするため、地域の要望（自治会・町内会、公園愛護会連絡協議会等）も踏まえ多方面から検討し、地域の特性を生かした提案をします。

- (1) 地区内の公園に関するニーズ調査の検討
- (2) 実効性のある公園改善提案の検討

6 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川両岸の美化を維持しつつ、市に提出した「引地川の環境改善に関する提言」のフォローをします。

- (1) 引地川両岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 引地川、一色川両岸の美化活動をするボランティア団体「引地川・一色川さわやかクラブ」の支援
- (3) 引地川の環境改善提言のフォロー

7 踏み切り安全対策事業

六会日大前駅南側踏切の問題は、地区の長年の課題です。六会349号線（駅前東口ロータリーから六会2号踏切付近まで）のバリアフリー化工事にあわせて張出歩道を廃止しました。それに伴う駅南側踏切付近の歩車道の安全性について機会を捉えて検証を行います。

- (1) 駅南側踏切付近の歩車道の安全性について

8 居場所づくり事業

子どもや子育て世代など誰もが集える場所づくりを検討します。

長期的に取り組む地域課題等

六会地区の地域資源を生かした魅力の向上や地域活性化に向けた取組を実施しているが、「素的なふるさと六会」を目指し継続的な事業とするために、住民参加の裾野を拡げ、つながりやいきがいを創出する仕組みづくりが課題となっております。

片瀬地区地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

まちづくり事業

1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える人材・情報バンクセンターを設置するとともに専属のコーディネーターを配置し、人と団体と情報とを結びつける業務などを実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) コーディネーターによる相談対応、コーディネート
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント開催）

2 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し、地域ボランティア・地域包括支援センターなどが連携し実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

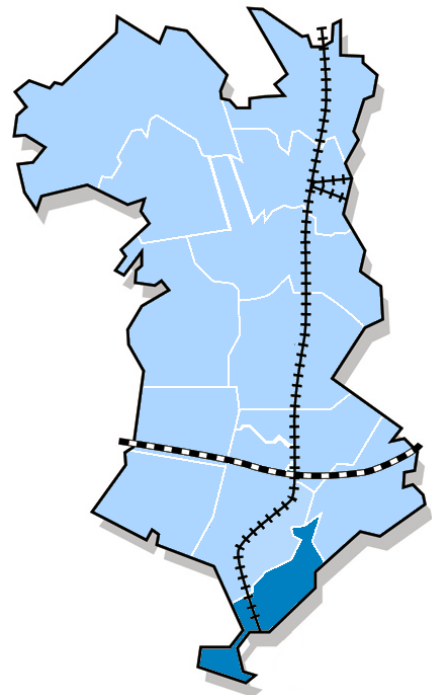
3 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど、地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動の支援を実施します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の開催
- (2) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業の実施

4 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地であり、約1年開催が延期予定となった東京2020オリンピック



ク・パラリンピック競技大会のセーリング会場にもなる片瀬・江の島地域としてふさわしい景観の確保並びに環境の浄化を図るため、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア活動を支援します。

5 江の島道の整備事業

旧江の島道を歴史探訪の道としての史跡周辺の整備を実施した。また、歴史継承のための周知及び有効活用についての検討を実施します。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の整備
- (2) 江の島道の周知と有効活用

6 (仮称) 子ども関係団体による意見交換会事業

青少年を対象とした事業実施団体間の情報や活動の連携を図り、青少年事業の活動充実を目指すため、意見交換会を実施します。

- (1) 子ども関係団体による意見交換会の実施
- (2) 事業展開及び課題解決のサポート

7 ボランティアセンター事業

人と人とのつながりを助け、支えあう地域の実現を図ることを目的に、地域福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」の充実に向けた取組を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり、かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

8 公民館活用事業

公民館事業の活性化及び公民館の有効活用の推進を図るため、地域の皆さんの意見や要望を公民館評議員会と協力して公民館運営に反映させ、さらに公民館と地域活動の連携を促進させ、課題の把握と解決の検討を実施します。

- (1) 公民館事業と各地域団体事業の計画を効率的で効果的にするための調整
- (2) 各種イベントの実施が一目でわかるような情報集約とその表示の検討
- (3) 公民館施設のメンテナンス必要箇所抽出とその改修の提言

9 地域広報事業

多くの人々が交流し、地域の魅力にあふれるまちの実現を図るため、広報紙及び片瀬地区ポータルサイトによる地域活動等情報の発信・広報を実施します。

- (1) 広報紙「片瀬・江の島まちづくり通信」の発行
- (2) 片瀬地区ポータルサイトの充実
- (3) 地域情報の整理と共有の推進

10 青少年居場所事業（平成23年度～平成30年度実施）

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、片瀬しおさいセンターでの青少年の居場所づくり・対話・見守りを実施しました。

- (1) 公民館を利用した青少年の居場所の確保
- (2) 青少年を見守るボランティアの配置

11 まちかどミニベンチ設置事業（平成29年度実施）

ふれあいのあるやさしいまちづくりを目指し、ニーズを把握してまちかどの小さなスペースを活用したミニベンチの設置を進めました。

- (1) ミニベンチ設置場所の調査・検討・土地所有者等調整
- (2) ミニベンチの設置

長期的に取り組む地域課題等

片瀬・江の島地域には、少子超高齢化が進んでいることでの課題、歴史ある旧道や昔からの狭い道路が現在も生活道路や通学路として使われていることでの課題、また、全国有数の観光地として多くの観光客が訪れる地であるとともに、住民の生活地として両立するための安全・安心や環境面での問題点など、地域の特色ゆえに浮彫になってくる日常生活での課題が数多くあります。これらのうち、ひとつの地域団体による活動では対応が困難な地域課題について、片瀬地区郷土づくり推進会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）が検討し、まちづくり事業として事業化したものも多くあります。

一方では、市、県、関係機関や団体等の動向を見据えていく必要がある地域課題、並びに、片瀬山市民の家再整備を踏まえた公的資産の有効活用、地域の居場所のあり方、廃屋への対応、より身近な高齢者相談窓口、生活支援ボランティアの推進、ひとり暮らし高齢者・障がい児者の見守りや移動手手段の課題、また、約1年開催が延期予定となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場となる地元地域として、地域の魅力や特色を来訪者や転入者も含めた次世代へ継承するなど、長期的に取り組んでいく必要のある地域課題があることも、片瀬地区郷土づくり推進会議として認識をしています。

なお、今後も地区集会等の機会を捉えて、引き続き地域課題を集約していき、片瀬地区郷土づくり推進会議が中心となって、地域としての取組を検討していきたいと考えております。

明治地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

まちづくり事業

1 歴史・文化継承事業

明治地区には、「耕余塾」、「旧三觜八郎右衛門家住宅」などの歴史・文化資産が数多くあります。それらを活用して明治地区の歴史文化を広く周知し、次世代へ伝えていくための活動を推進します。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) 歴史・文化資産の調査及び活用

2 明治地区マナーアップ推進事業

歩行喫煙・自転車交通・ごみのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組・活動を実施し、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上の呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターの掲示

3 子育て支援充実事業

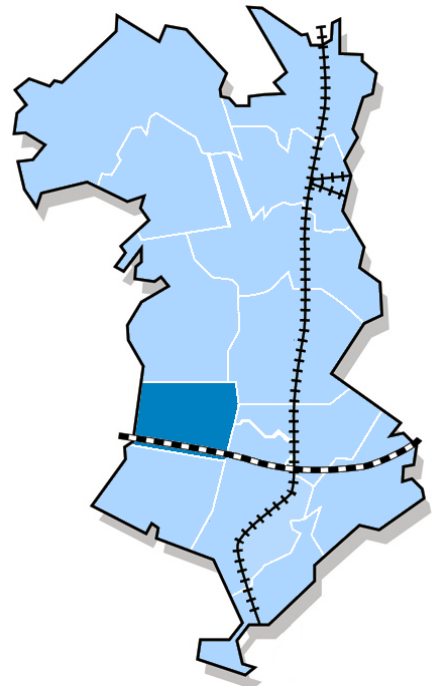
新たなマンションの建設等に伴い、増加している子育て世代に必要な情報の提供を行うとともに、地域の子育て環境の充実を図るため、子育てグループや子育て支援団体が連携した事業を行います。

- (1) 明治発！子育て応援メッセの開催及び子育て支援事業の充実
- (2) 地区内子育て支援グループの交流促進

4 明治地区健康体操推進事業

明治地区内住民の健康維持と住民同士の交流を促進し、健康でいきいきと生活できる環境づくりを目指し、健康体操の普及を図ります。

- (1) 自治会・町内会及び老人会等と連携した参加者の促進
- (2) 地区内で実施されている健康体操の案内
- (3) 健康体操を広めるため「健康体操サポーター講習会」の実施



(4) 健康体操を実施している団体や健康体操サポーターに必要な支援の実施

5 避難行動要支援者支援体制推進事業

自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するため、自治会・町内会等との協力体制を強化するとともに、地区民生委員との連携等を図ります。

- (1) 避難行動要支援者支援体制の構築
- (2) 自治会・町内会、自主防災会と民生委員等との連携

6 小・中学生地域活動参加促進事業

地域の自然、景観、歴史、文化を継承し、地域アイデンティティを受け継ぐ、地域における将来の担い手を育成するため、小・中学生の地域活動への参加を促進します。

- (1) 地域団体等の活動、事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携

7 大学生と小・中学生の交流促進事業

地域の未来を担う人材を育成するため、小・中学生を対象に、大学生ボランティア等と地域団体の協働による講座、事業等を開催するなど、世代を超えた交流と学習機会を創出します。

8 道路バリアフリー化促進事業

だれもが安全に道路を利用できるよう、地区内の主要な道路のバリアフリー化について検討し、必要に応じて担当部署に要望していきます。

9 子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

子どもの安全を守るため、不審者情報をパトロール団体等が共有し、効果的に巡回を行う等対応する仕組みを構築します。

- (1) 不審者情報を共有するネットワークの構築並びに効果的な巡回の調整
- (2) 子どもへの声かけ等、抑止効果を高める活動の実施
- (3) こどもウルトラ見守りチャレンジの実施

長期的に取り組む地域課題等

大型商業施設の進出や圏央道の開通による通過交通の増加等により、地区内で、土、日、祝祭日を中心に慢性的な交通渋滞が発生している現状があります。

御所見地区地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見

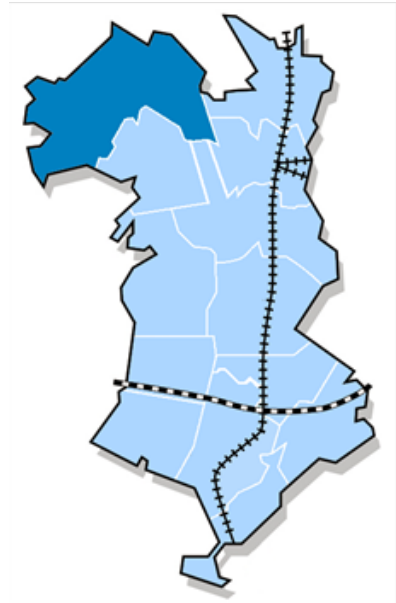
まちづくり事業

1 田園パーク構想推進事業

「少年の森」と、隣接する「健康の森」を結ぶことにより北部観光の振興拠点とすることの検討を進めるとともに、富士山・大山を望む観光ルートや荒廃農地利用について庁内関係課との協議を進めます。また、地区の農畜産物の付加価値を高め、「御所見ブランド」の創出を目指します。

さらに、れんげの里、花桃、彼岸花、ざる菊などの地域を彩る花々を中心に、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備や高齢者が活躍できる場の提供を、地域団体やボランティアと協働して進めます。

- (1) 「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- (2) 地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- (3) 地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出



2 情報発信推進事業

地域の歴史、身近な話題など地域に密着した情報を提供するとともに、地域の魅力を外部に発信していきます。

- (1) ホームページによるリアルタイムな情報提供と発信
- (2) 広報誌等による地域情報の提供

長期的に取り組む地域課題等

「少年の森」を地域の拠点施設として位置づけていますが、青少年健全育成施設であることから、その活用においては管理主体との調整が必要となります。

従来の青少年健全育成施設の機能に加えて、外部からの誘客施設、中高年者も自然に触れ、憩える施設とすることを目指し、具体化に向け関係課と協議を進めます。また、「御所見ブランド」としての地元食材を使用した料理の提供や、高齢者の智慧を活用した伝統的工芸品の復活・販売により自主運営できる施設の建設なども視野に入れた周辺整備についても、更に研究を進めることが必要です。

遠藤まちづくり推進事業

まちづくりのテーマ

新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

まちづくり事業

1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

地域団体やボランティア団体と行政とが連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、健康づくりや交流事業を通じた見守り活動の推進と居場所づくり、地域人材の育成に向け高齢者見守りネットワーク体制を構築し、支えあう地域社会づくりを推進します。

2 自然環境推進事業

地域の資産である健康の森や小出川などの良好な自然を保全し、郷土愛あふれる地域づくりを推進するため関係団体や学校、慶應義塾大学、行政等と連携し、清掃活動や自然体験学習等を通して、意識啓発と保全活動に取り組む人材の育成を図ります。

3 遠藤魅力アップ推進事業

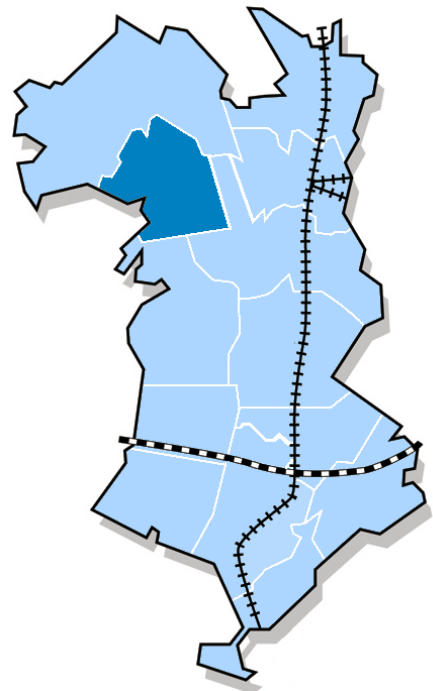
健康の森や小出川に残る良好な自然や史跡、果樹園等を巡る散策路（フットパスネットワーク）の整備を推進し、自然や農業、お祭りなどの地域資源を結び、関係団体や関係機関と連携して地域の魅力を高める取り組みを進め、観光や農業の振興を図ります。

4 地域活動の広報充実事業

「遠藤まちづくりニュース」等の広報紙について地域活動の紹介やイベント情報を充実し、豊富な内容にするとともに、ホームページを活用した地域イベント情報の積極的な発信や、慶應義塾大学との情報連携を推進するなど、各種媒体を用いた効果的な地域情報の提供と地域のPRに取り組めます。

5 避難行動要支援者支援体制整備事業

「避難行動要支援者」をはじめ避難支援を要する全ての人が、災害時に近隣住民が声をかけあい、支えあい、手を差し伸べることで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、関係団体と連携し避難行動要支援者支援体制の構築に向け、自治会への支援を推進します。



6 道路環境整備事業

歩行者及び車両が安全に通行できる，安全安心な道路環境を推進するため，地域と行政が一体となって地区内の狭あい道路など交通危険箇所の改良整備を進めます。

また，地区内の交通不便地域の解消に向け，調査研究を進めます。

7 魅力と活力あふれるまちづくり推進事業

「藤沢市都市マスタープラン」や「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき，今後予定される新たなまちづくりの方向性について，地域団体や関係機関，慶應義塾大学や行政等と連携し，地区の将来的発展を見据えた土地利用や交通，景観等について検討し，都市拠点機能や観光拠点機能を高め，魅力と活力あふれるまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

8 伝統文化継承事業

遠藤地区には，本市の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」や「焼き米搗き唄・臼引き唄」があり，地域に伝わる貴重な文化資源となっています。これらの民俗芸能を次世代に引き継ぎ，歴史や文化を語り継ぐことで郷土に対する愛着を深めていくことが大切です。そのため，子ども達の体験や学習の場，民俗芸能保存団体の活躍の場を広げ，広報活動に積極的に取り組むことで，担い手の育成と伝統文化の継承に向けた支援を図ります。

長期的に取り組む地域課題等

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについては，都市拠点として都市機能の充実を図り，地域活力を高める重要な事業であり，地域が行政と連携協力し長期的に取り組む課題となっています。

超高齢化社会が進行するなかで，誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう，地域資源のつながりと連携を深め，住民一人一人が互いに支えあう地域社会の実現が，長期的に取り組む課題となっています。

長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

地域活性化事業

1 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるため、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施します。

(1) 健康づくりに関する講座の実施

2 長後すくすく応援事業

子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が一堂に会する長後版の子育てメッセを開催し、親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の提供、意見交換等、地域で子育てを支援していく体制を推進します。

(1) 「長後子育てメッセ」の実施

3 地産地消推進事業

地産地消の推進を通して地域全体の活性化を図るため、地元農家や商店街等と協力して開催する地場産の野菜や果実を販売する地産地消推進イベントの実施に対して支援を行います。

(1) 地産地消推進イベント「長後を食べよう！」の実施

4 地域人材発掘・育成事業

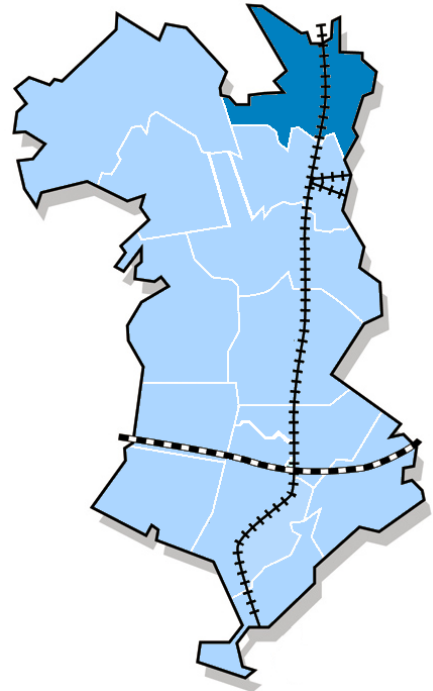
地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題を解決するため、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換の場作り等に取り組みます。

(1) 人材発掘・育成に関するイベントの実施

5 ちよご見守りネットワーク事業

住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図ります。

(1) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）と連携した、見守り・声かけなどの推進



6 観光・歴史資源開拓事業

郷土愛の醸成を図るため、地区内の観光・歴史資源の開拓を行います。

- (1) 名所や旧跡への解説板の設置
- (2) ふるさと観光マップ「長後めぐり」の発行等

7 交通手段支援事業

地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の導入に向けた取組を行います。

- (1) 対象自治会との意見交換会の実施等

8 花いっぱい運動推進事業

花があふれる地域づくりのため、公共的な場所に設置された花壇等の管理やイベント活動に対して支援を行います。

- (1) 花フェスタの開催、花の広場の定例作業
- (2) 長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇・プランターへの植栽等

9 長後子ども安全ネットワーク事業

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心とした子どもを見守るネットワークの強化と情報交換等を行い、防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

- (1) 安全安心ネットワーク会議の開催
- (2) 安全パトロールの実施

10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換、防犯パトロールなど地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

- (1) 今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等

長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し、慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、狭あいな生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤整備の不足を解消する取組が課題となっています。

また、長後駅入口交差点から長後市民センターに至る市道長後725号線の歩道整備により、地域の住民が安全に通行できる環境整備を進めることが急務となっています。

都市基盤整備以外の課題としては、地域コミュニティの高齢化・希薄化が進む中、次世代を担う人材の発掘や育成による地域活動の活性化への取組が必要となっています。

歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ” 湘南辻堂 ”

まちづくり事業

1 辻堂交流事業

地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するため、事業を実施します。

- (1) みんなで美化キャンペーン
(辻堂駅南海岸線周辺の除草、花苗植栽等)
- (2) 辻堂朝市
(地産地消の取組)
- (3) 伝統文化継承講座
(地区に伝わる伝統文化についての情報発信等)

2 暮らし安心・安全事業

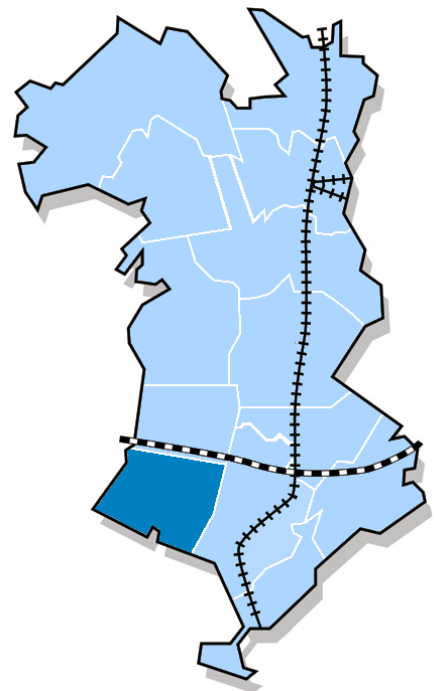
地域住民の不安解消、健康増進等を目的として、地域団体の活動を支援します。

- (1) 防災啓発事業
(災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災対策講演会の実施)
- (2) 辻堂グリーン回廊ウォーキング
(地域の名所旧跡や自然環境を周遊するグリーン回廊の周知と健康増進)
- (3) 認知症理解促進事業
(認知症に関する知識や理解を深め、地域で見守ることをめざした講座等の実施)
- (4) マナーアップ活動
(地域住民や来訪者、観光客のマナーの向上を図るキャンペーン等の実施)
- (5) 子どもの見守り
(地域で子どもを見守る環境づくりや見守りボランティアの育成)

3 広報・啓発事業

辻堂への誇りや愛着を高めてもらうために、「辻堂プライド」という概念のもと、活動の周知及び参加を促す取組を実施します。

- (1) 子ども回覧板事業
(子どもの目線から辻堂地区の魅力を発掘し、作成した記事を地域で回覧)



(2) 辻堂プライド啓発

(辻堂への誇り・愛着の醸成及びまちづくりへの積極的参加を促す取組)

長期的に取り組む地域課題等

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

道路や公園といった地域資源に対する意見や要望等については、講座や勉強会などを通して理解を深めるとともに、要望書や提言書としてまとめていきたいと考えます。

善行地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

まちづくり事業（平成30年度委員改選に伴い事業再編）

1 広報・地域活動ネットワーク構築事業

郷土づくり推進会議の活動を地区内に周知するとともに、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援し、周知・啓発を図ります。

- (1) 地域団体の様々な活動を発信する広報紙の発行等
- (2) 地域で行う様々な事業に対する支援

2 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業

坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援します。

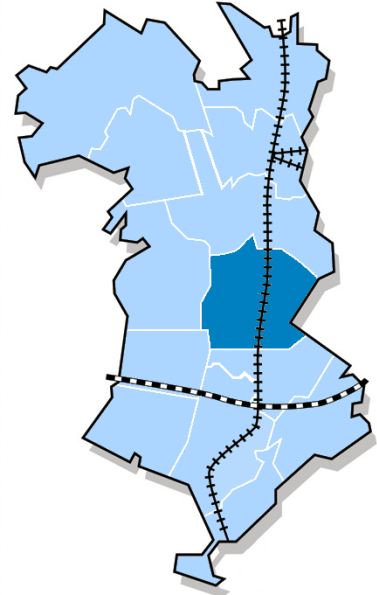
- (1) 特定非営利活動法人のりあい善行の運行に係る情報発信の支援
- (2) 善行西部地区における交通不便解消・高齢者等の移動支援（既存バス路線の改良）についての検討及び交通事業者との調整

3 地域共生社会の構築事業

藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域における様々な福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行います。また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げていくことを推進します。

4 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業

平成29年度までの「活気ある地域づくり事業」を発展的に整理・統合し、市民センター・公民館の改築、善行駅周辺のバリアフリー化、県立体育センターの再整備等のハード整備などを好機と捉え、善行地区の活性化を図るための取組を支援・推進します。



長期的に取り組む地域課題等

藤沢型地域包括ケアシステムの推進に伴い、地域で安全に安心して暮らせるよう、セーフティネットの構築に向けた取組を具体的に進めるとともに、地域の幅広い主体と連携して地域活性化に向けた取組を着実に進めていくことが求められています。また、地域のまちづくりの拠点となる善行市民センター・公民館については、第2期工事（健康プラザ棟建設）への円滑な移行に向けた準備を進めます。

湘南大庭地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

まちづくり事業

1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 地区住民の生活習慣，食事，運動などの改善を図るため，健康寿命を延ばすイベントや講演会の開催及び協力といった取組
- (2) 地区住民にとって身近な施設を利用した，健康に関する専門機関との連携による「健康相談事業」の実施

2 地域のゴミゼロ運動推進事業

地域の環境美化に取り組んでいるポイ捨て無くし隊は，地区内4小学校と石川小学校の子ども達を中心に多くのボランティアによって，道路・公園のポイ捨てゴミを無くす清掃活動を行っています。この活動への参加者の拡充を図り，地域が一体となった活動を推進します。

- (1) 年間5回実施するポイ捨て無くし隊活動を支援

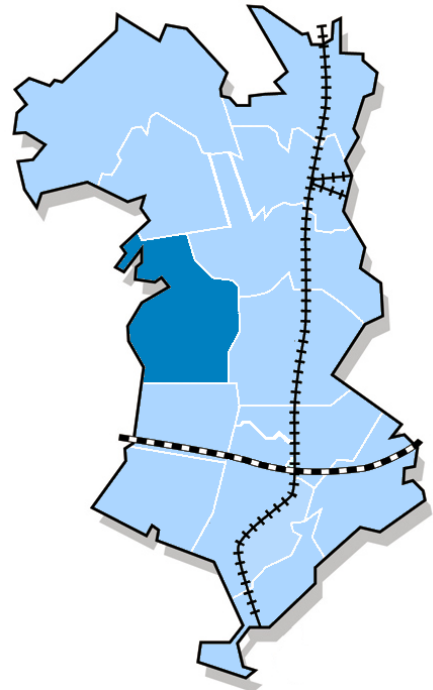
3 健康体操普及推進事業

地区住民の高齢化に伴い，高齢者の自立した生活を支えるため，ラジオ体操を中心とした「健康体操普及推進事業」を進め，地区内の公園での朝の体操風景が日常化することで，参加者同士が顔見知りになり，人と人とのつながりによる健康づくりのまちを目指します。

4 まちづくり課題解決事業

「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」のまちづくりを目指し，10年後，20年後のまちのイメージを描きつつ，「高齢者支援」，「子ども・子育て育成支援」，「コミュニティ活動の活性化」の3つのテーマを中心とする課題を解決する方策を検討し事業化に取り組みます。

また，既存の都市基盤のポテンシャルを生かしながら再生・再編を進めていくため



地域の多様な主体（住民・行政・大学・事業所など）と連携し、地域の課題解決に向けた取組を推進します。

長期的に取り組む地域課題等

自治会の役員のみ手がない、世代交代ができない、事業の継続が困難になっているなどコミュニティ活動の活性化が課題となっています。急速に進む高齢化を踏まえて、高齢者が地域の中で支援されるとともに、支援する側の中心となって、子ども・子育て育成支援や高齢者の見守りなどを含めたコミュニティ活動に取り組むことができるように、先進事例の調査・研究を行いながら具体的方向性と地区の社会資源を生かした事業化を検討していきます。

湘南台地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台

まちづくり事業

1 ようこそ先輩 in 湘南台事業

地区内の中学生の職業意識を育てることを目的に、主に湘南台中学校を卒業し様々な分野で活躍する先輩を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

(1) 「ようこそ先輩 in 湘南台」の開催

2 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地の利用や下土棚遊水地の上部利用計画が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

(1) 「レインボータウンわくわくマップ」の更新

(2) 緑の回遊路を発信するウォークイベントの開催

(3) 「花のまち湘南台」に向けた写真展の開催

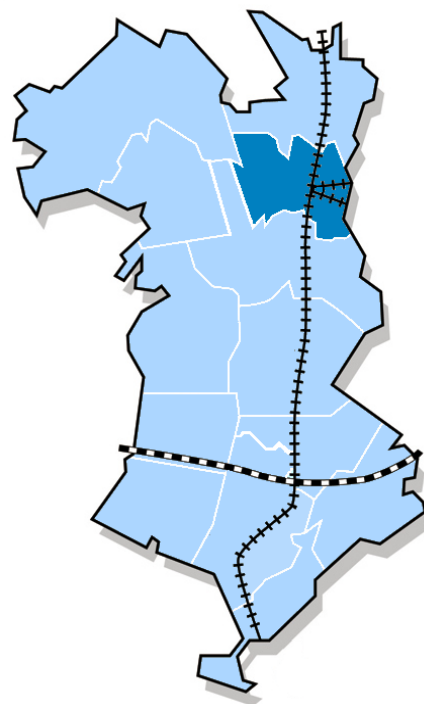
3 子育てネットワーク事業

地区内に住む多くの子育て世代のために、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行います。

(1) 「湘南台子育て応援メッセ」の開催

4 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動が行われ、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が課題となっているため、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座「はじめよう！地域ボランティア塾」を開催し、地域を担う人材の育成を行うとともに、地域活動への参加を促進することにより、地域の活性化を進めます。



- (1) 地域サポーター養成講座「はじめよう！地域ボランティア塾」の開催
- (2) 地域サポーター養成講座「はじめよう！地域ボランティア塾」修了者の地域活動参加の促進

5 文化創造事業

地区の地域性や特性を生かし、人が集い活気にあふれる新たな魅力づくりを推進します。その中心的な取組として、多目的イベントを開催するなど、湘南台駅地下イベント広場を有効活用することにより、まちの活力創出を進めます。

- (1) 駅地下イベント広場での多目的イベントの開催
- (2) 駅地下イベント広場での展示ギャラリー機能の充実
- (3) 湘南台地区のマスコットキャラクター「ゆめまる・ゆめみん」の着ぐるみの活用

長期的に取り組む地域課題等

湘南台地区は、交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念されています。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。満足度の高いまちづくりを推進し、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土とするために、地域特性を生かした文化の創造や地域人材の育成と活用、地域コミュニティの充実などが湘南台地区の課題です。

鵜沼地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵜沼

まちづくり事業

1 鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業

2013年（平成25年）4月から鵜沼市民センターにおいて小学生の放課後の居場所として、鵜沼元気塾を開始。2016年（平成28年）4からは地区北部への拡大を図り、鵜沼元気ひろばを開始。地域の協力スタッフとの学習や交流を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

- (1) 学校の宿題等の学習
- (2) 地域スタッフの企画による工作や遊び、音楽等
- (3) 夏季野外活動などの体験学習

2 鵜まつり事業

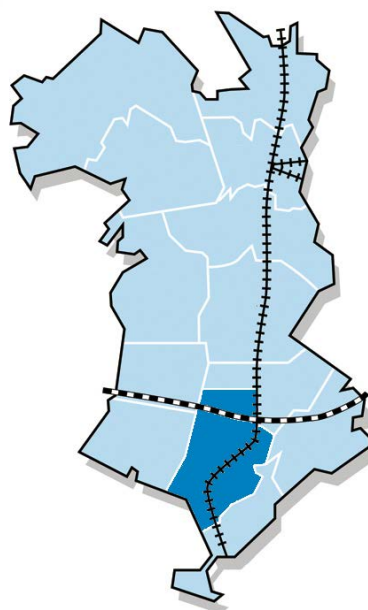
2009年（平成21年）から鵜沼のまちおこしとして鵜沼運動公園芝生広場で開催。地元の魚、野菜、雑貨、鵜沼魚醤を使った創作料理や、鵜沼公民館を中心に活動するサークルのステージ出演、フリーマーケット等、参加者全員で盛り上げ、地域のおまつりとして定着しています。※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催中止。

3 認知症等啓発事業

地域において認知症等への理解を深めるために講座や講演会を開催するなど、認知症等の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

4 歴史・文化継承事業

鵜沼郷土資料展示室において、鵜沼に特化した歴史文化の資料収集及び調査とその展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場を提供しています。また、既存資料の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図るものです。



長期的に取り組む地域課題等

鵜沼地区では、これまでのまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路の問題や地域を支える地域団体、ボランティア等の担い手づくり（人材の発掘や育成）などの課題解決に向け、事業に取り組んでいきます。

歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

まちづくり事業

1 藤沢宿活性化事業

藤沢地区には、旧東海道藤沢宿周辺を中心に、神社仏閣や史跡、蔵などの歴史的資源が数多くあります。このような歴史的資源を活用した地域イベント等を実施する活動を支援するとともに、より多くの方々が藤沢宿を訪れることによって、地区ににぎわいをもたらし、藤沢宿のさらなる活性化を図ります。

- (1) 藤沢宿まつりへの支援
- (2) トランスボックスラッピングの維持管理
- (3) 藤沢宿のPR

2 交通安全対策事業

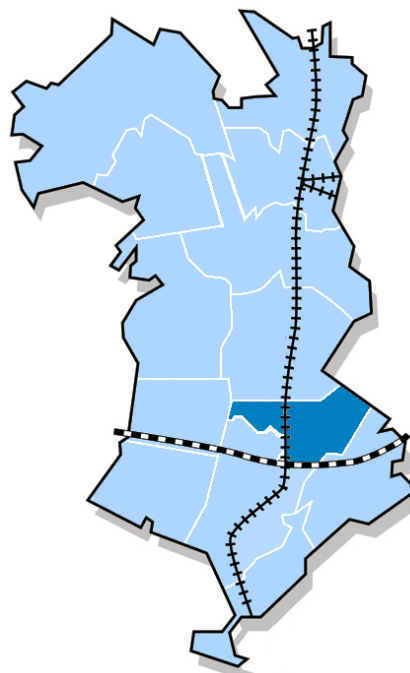
藤沢地区は、JR・小田急線藤沢駅、小田急線藤沢本町駅周辺に通勤、通学あるいは買い物を目的とした自動車・バイク・自転車が集まるとともに、地区内を国・県道等の幹線道路が通過するなど、交通事故が発生しやすい道路環境となっています。

こうしたことから、地域の交通事故発生場所の調査結果を活用し、藤沢東部・西部地区交通安全対策協議会等との連携により、地域住民への交通事故防止の意識啓発を図ります。

3 子どもの見守り活動事業

学校・家庭・地域の連携を図り、学校登下校時の子どもの見守り活動や、いきいき・のびのびとした地域交流ができる安全・安心・快適な環境づくりを進めます。

- (1) 関係団体による情報交換会の開催
- (2) 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化



長期的に取り組む地域課題等

今後取り組む予定の地域課題としては、小田急線藤沢本町駅周辺の利便性の向上を図るため、藤沢本町駅周辺事業についてさらなる取組を検討します。

また、高齢者や障がい者が暮らしやすいまちとなるよう、地域生活改善事業についてさらなる取組を検討します。

なお、今後検討が予定される市への提言事項としては、緑地など、地域環境の向上を図ることを目的に、(仮称)大清水浄化センター周辺環境整備事業、公共施設のあり方検証事業などがあります。

村岡いきいきまちづくり事業

まちづくりのテーマ

ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか

まちづくり事業

1 マナーアップ啓発事業

一人ひとりの日ごろの気遣いや心がけにより，日常生活を送るうえでの迷惑行為をなくし，快適な生活環境を確保するために，自転車の安全な乗り方，ごみやたばこのポイ捨て，ペットの正しい飼い方などのマナーやモラルの向上に向けた事業を実施します。

- (1) ごみやたばこのポイ捨て，ペットのフンの放置，落書き禁止看板の配布・設置
- (2) 自転車交通安全教室等の実施

2 村岡あいさつ運動事業

子どもたちの健やかな成長につながる，安全・安心な地域づくりを進めるため，学校・家庭・地域が一体となって，声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ，根付かせていきます。

- (1) 登下校時にあわせた声掛け・あいさつ活動の実施
- (2) ポスター・標語コンクールの実施

3 地域防災力強化事業

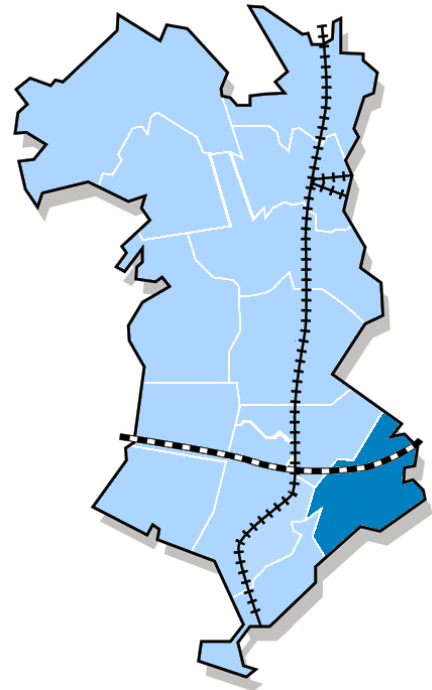
地域防災力の強化を図るため，啓発看板の設置などにより地域防災情報の見える化を進めるとともに，地域防災に関わる人材の育成とすそ野の拡大に向けた取組や，災害ボランティアコーディネーター養成講座などを通じた災害時のボランティア受入能力の向上に向けた取組を進めます。

- (1) 海拔表示看板の設置
- (2) 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催
- (3) 小学校高学年児童を対象とした防災講座の開催

4 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりを進め，美しく住みよい地域社会を築き，生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 地区年末一日清掃の実施
- (2) 緑豊かな環境づくりの推進を目的とした講習会等の開催



5 歴史継承事業

地域の歴史的財産や自然的資源の素晴らしさと魅力を、より多くの方々に知っていただくため、名所・史跡の所在を示した史跡案内板の設置を進めたほか、地域の歴史や魅力を盛り込んだパンフレットの配布などを通じて、郷土愛あふれる「輝ら里 むらおか」の実現を目指します。

- (1) 史跡案内板の設置
- (2) パンフレット「歴史ガイドマップ」の配布
- (3) 今昔探訪ウォーキングの実施

6 地域情報発信事業

高齢者のみならず、地区内にお住いのすべての方々が安心して暮らすことができる地域づくりに向けて、きめ細かな地区内情報の発信を進めます。

- (1) 広報誌「村岡地区便利帳」の配布

7 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に、安全・安心なまちづくりを進めるため、住民参加型の防犯活動を推進します。

- (1) わんわんパトロールの推進（愛犬の散歩時に携行する防犯啓発物品の配布等）

8 自治会加入促進事業

自治会・町内会の様々な活動は、防犯・防災などに大きな力を発揮することから、自治会・町内会への加入促進を図り、地域の連帯と助け合いの精神を醸成します。

- (1) 自治会・町内会未加入世帯に対し、加入促進リーフレットを配布

長期的に取り組む地域課題等

（仮称）村岡新駅の設置及び新駅周辺地区のまちづくり、県道横浜藤沢線の川名以南の延伸が長期的課題となっています。

また、村岡公民館等再整備事業については、令和2年度から設計業務に着手していくこととなりますが、適切な進捗管理のもと円滑な事業の推進を図ります。

いずれも、地域の皆さんとの情報共有と共通理解のもとに計画を進めていくことが不可欠であることから、時期をとらえての説明会の開催など、情報提供の機会を充実していきます。

藤沢市市政運営の総合指針2020
—郷土愛あふれる藤沢をめざして—
事業集
(令和2年度版)

企画政策部 企画政策課

〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1

電話 0466(25)1111 (代表) 内線 2175

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>